

**OLYMPUS®**



**OLYMPUS Studio**

**取扱説明書**

# はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## ご注意

- ・本ソフトウェアおよび本書の内容の一部または全部を複製することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止されています。また、無断転載は固くお断りいたします。
- ・本ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、および第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- ・本ソフトウェアは、指定された動作条件以外では使用できません。
- ・本ソフトウェアの仕様および本書の内容については、予告なく変更することがあります。最新の情報はオリンパスホームページ (<http://www.olympus.co.jp>) をご覧ください。

© 2003-2004 OLYMPUS CORPORATION

## 商標について

- ・Macintosh は Apple Computer Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Windows® は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Adobe® および Adobe Photoshop® は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- ・その他本書に記載されている会社名および製品名はその会社の商標または登録商標です。

## 動作環境について

- ・OLYMPUS Studio は次の動作環境でご使用ください。

### Macintosh

OS	Mac OS 9.1 ~ 9.2.2、Mac OS X 10.1.3 ~ 10.3 (IEEE1394 (FireWire) / USB1.1 / USB2.0 接続)
CPU	Power PC G3 以降 (G4 以降を推奨)
RAM	アプリケーション用に 128MB 以上 (Mac OS X: 256MB 以上を推奨)
ハードディスク容量	100MB 以上 (インストール時)
コネクタ	IEEE1394 (FireWire) ポート (IEEE1394 (FireWire) 接続) USB ポート (USB 接続) 標準装備ポートのみ対応
モニタ	800 × 600 ドット以上、32,000 色以上 (1,677 万色を推奨)、マルチモニタ環境に対応

### Windows

OS	Windows Me/2000/XP (IEEE1394 接続) Windows 98SE/Me/2000/XP (USB1.1 接続) Windows 2000/XP (USB2.0 接続)
ブラウザ	Internet Explorer 6 Service Pack 1 以降
CPU	Pentium II 以上 (Pentium III 以上を推奨)
RAM	128MB 以上 (256MB 以上を推奨)
ハードディスク容量	100MB 以上 (インストール時)
コネクタ	IEEE1394 ポート (IEEE1394 接続) USB ポート (USB 接続)
モニタ	800 × 600 ドット以上、65,536 色以上 (1,677 万色を推奨)、マルチモニタ環境に対応

# INDEX

## 「OLYMPUS Studio とは？」

P.12

OLYMPUS Studio の機能とその特長について説明します。

## 「OLYMPUS Studio のワークフロー」

P.14

OLYMPUS Studio の活用方法について説明します。

## 「OLYMPUS Studio を構成するウィンドウ」

P.18

ブラウズウィンドウ、画像編集ウィンドウ、カメラコントロールウィンドウの概要と、それぞれのウィンドウの関係を説明します。

## 「OLYMPUS Studio の起動」

P.24

OLYMPUS Studio の起動方法について説明します。

## 「ブラウズウィンドウ」

P.33

ブラウズウィンドウの3つの表示モードについて、それぞれの表示モードでの画像の表示・分類などの操作、ライトボックスモードの利用方法など、ブラウズウィンドウの機能について説明します。

## 「画像編集ウィンドウ」

P.136

RAW 現像設定、画像サイズ変更、歪み補正、回転・反転、明るさ・コントラスト変更など、画像編集ウィンドウの機能について説明します。

## 「カメラコントロールウィンドウ」

P.200

パソコン制御での写真撮影操作、撮影設定内容の変更・カメラへの反映操作など、カメラコントロールウィンドウの機能について説明します。

## 「ファームウェアのアップデート」

P.247

OLYMPUS E-System のファームウェアのアップデートを行う操作について説明します。

## 「OLYMPUS Studio の環境設定」

P.251

表示ファイル種類の選択、スライドショー表示の間隔設定、マルチモニタの設定、分類チェックマークのカスタマイズなど、各ウィンドウで共通となる操作環境の設定について説明します。

## 「その他」

P.271

OLYMPUS Studio のメニュー一覧、用語解説、索引、お問い合わせ窓口を記載しています。

# 本書の見方

メニューバーの操作を表します。

## 画像の E-mail 送信

### 画像を送信メールに添付する

1 ブラウズウィンドウで、メールに添付する画像を選択する。

2 [ツール] メニューから [E-mail 送信] を選択する。

または、ツールバーの [E-mail 送信] アイコンをクリックする。

[E-mail 送信] ダイアログが表示されます。



ダイアログおよびウィンドウなどの画面は、Macintosh 版を例として使用しています。Windows 版とボタンの表記など異なる場合がありますが、置き替えてご覧ください。

ただし、表示内容が大きく異なる場合は、並列して載せています。

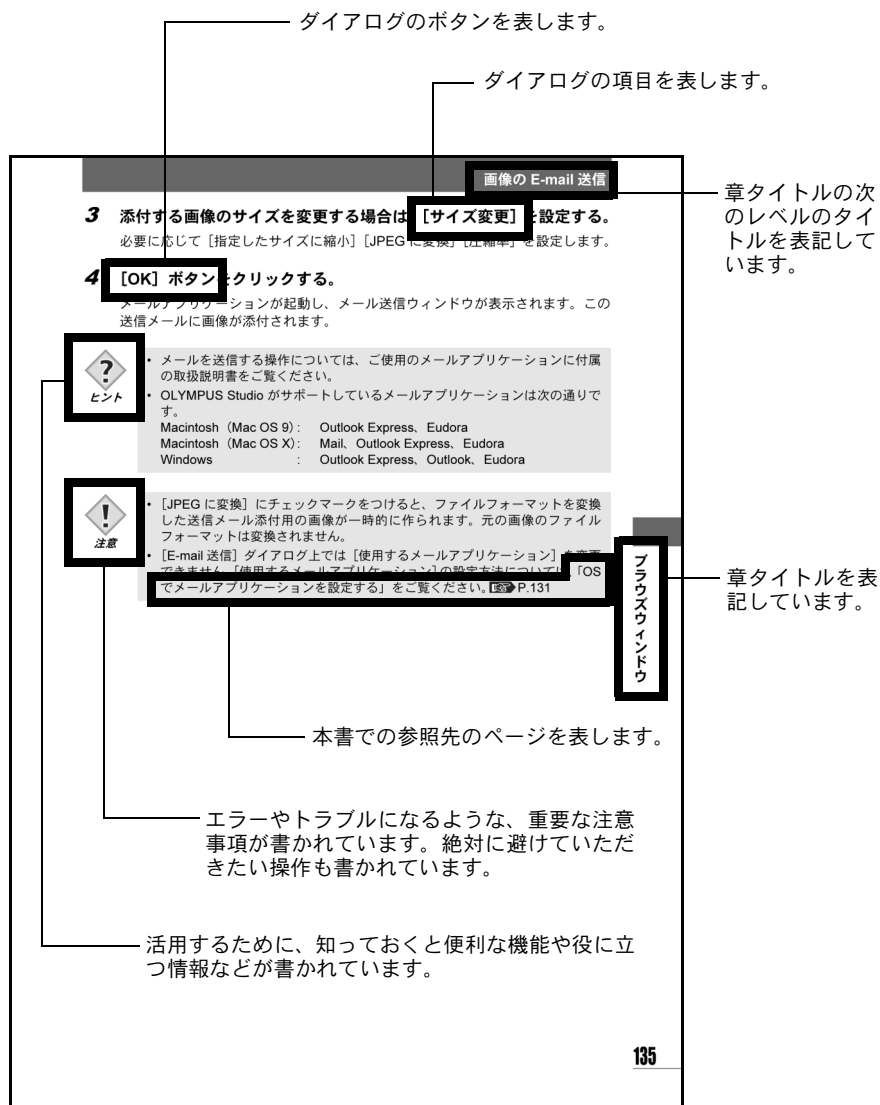
ブラウズウィンドウ

項目	内容
サイズ変更	添付する画像のサイズを変更したい場合に必要に応じて項目を設定します。
指定したサイズに縮小	添付する画像のサイズを縮小したい場合にチェックマークを付け、サイズを入力します。
JPEG に変換	添付する画像のファイルフォーマットを JPEG に変換したい場合にチェックマークを付けます。
圧縮率	添付する画像のファイルフォーマットを JPEG に変換する場合、または現在の JPEG 画像のサイズを変更したい場合、ファイルの圧縮率を [高画質] [標準画質] [低画質] から選択します。
使用するメールアプリケーション	OS で設定されているメールアプリケーションが表示されます。
[キャンセル]	画像の添付を中止し、[E-mail 送信] ダイアログを閉じます。
[OK]	設定した条件で画像を送信メールに添付します。

ダイアログの設定項目を説明します。

ダイアログのボタンを表します。





このページは説明のためのサンプルです。実際のページの説明とは異なる場合があります。

## ●ヘルプについて

ヘルプ情報は以下の操作で表示することができます。

- 各ダイアログの「？」ボタン (Macintosh)、「ヘルプ」ボタン (Windows) をクリックする。
- 各ウィンドウの「ヘルプ」メニューから「OLYMPUS Studio ヘルプ」を選択する。

# 目次

はじめに .....	2
INDEX .....	3
本書の見方 .....	4
ヘルプについて .....	5
目次 .....	6
<b>OLYMPUS Studio とは？</b> .....	<b>12</b>
<b>OLYMPUS Studio のワークフロー</b> .....	<b>14</b>
<b>OLYMPUS Studio を構成するウィンドウ</b> .....	<b>18</b>
各ウィンドウの関係 .....	18
ブラウズウィンドウ .....	19
ブラウズモード .....	19
ビューモード .....	20
ライトボックスモード .....	21
画像編集ウィンドウ .....	22
カメラコントロールウィンドウ .....	23
<b>OLYMPUS Studio の起動</b> .....	<b>24</b>
カメラとパソコンを接続する .....	24
OLYMPUS Studio を起動する .....	26
Macintosh .....	26
Windows .....	26
OLYMPUS Studio を終了する .....	27
Macintosh .....	27
Windows .....	27
カメラをパソコンから取り外す .....	28
OLYMPUS Studio を自動起動する .....	30
<b>ブラウズウィンドウ</b> .....	<b>33</b>
ブラウズウィンドウの起動と終了 .....	33
Macintosh .....	33
Windows .....	33
画像の取り込み .....	34
取り込みダイアログについて .....	34
カメラから取り込む .....	36

メディアから取り込む .....	39
<b>画像の表示 .....</b>	<b>42</b>
ブラウズモード .....	42
ビューモード .....	44
ライトボックスモード .....	46
ツールバーの機能 .....	48
表示モードの切り替え .....	50
<b>サムネイル表示エリアの操作 .....</b>	<b>51</b>
サムネイル枠 .....	51
サムネイル一覧を表示する .....	53
サムネイル枠の表示項目を設定する .....	53
サムネイルの表示順を設定する .....	54
サムネイルの表示サイズを設定する .....	54
<b>全画面表示／スライドショー表示 .....</b>	<b>55</b>
全画面表示する .....	55
スライドショーを表示する .....	58
<b>マルチモニタで表示する .....</b>	<b>59</b>
<b>画像の回転 .....</b>	<b>60</b>
<b>分類チェックマークを使う .....</b>	<b>62</b>
分類チェックマークを付ける .....	62
絞り込み表示する .....	64
<b>コレクション領域を使う .....</b>	<b>66</b>
画像を振り分ける .....	68
振り分けた画像の確認と保存 .....	70
確認する .....	70
保存する .....	72
<b>画像比較エリアを使う .....</b>	<b>74</b>
画像比較エリアについて .....	74
画像比較エリアに画像を表示する .....	77
画像をドラッグ＆ドロップする .....	77
画像をダブルクリックする .....	78
[選択で追加] チェックボックスを使う .....	79
[一度に追加] チェックボックスを使う .....	79
[次の画像を追加] ボタンを使う .....	80
画像比較エリアから画像を削除する .....	81
<b>画像情報の表示 .....</b>	<b>82</b>
プロパティ領域を表示する .....	82
コメントを編集する .....	86
撮影日時を編集する .....	87
<b>RAW 現像 .....</b>	<b>88</b>
<b>登録アプリケーションの起動 .....</b>	<b>93</b>
<b>フォルダ・ファイルの操作 .....</b>	<b>94</b>
フォルダを新規作成する .....	94
ファイルを新規サブフォルダに移動する .....	95
ファイル名・フォルダ名を変更する .....	96

ファイル名を一括変更する .....	98
命名規則について .....	98
ファイルをコピーする .....	103
画像をコピーする .....	104
ファイルを移動する .....	105
ファイルフォーマットを変換する .....	106
フォルダのショートカットを作成する .....	109
ショートカット領域からショートカットを削除するには .....	110
ショートカットの名前を変更するには .....	110
<b>画像の検索 .....</b>	<b>111</b>
<b>画像の削除 .....</b>	<b>113</b>
<b>画像の印刷 .....</b>	<b>114</b>
印刷の種類 .....	114
[印刷] ダイアログ .....	116
プリンタの設定 .....	118
Macintosh .....	118
Windows .....	119
フォト印刷 .....	120
インデックス印刷 .....	124
コンタクトシート印刷 .....	128
<b>画像の E-mail 送信 .....</b>	<b>131</b>
OS でメールアプリケーションを設定する .....	131
Macintosh (Mac OS 9) .....	131
Macintosh (Mac OS X) .....	132
Windows .....	133
画像を送信メールに添付する .....	134
 <b>画像編集ウィンドウ .....</b>	 <b>136</b>
<b>画像編集ウィンドウの起動と終了 .....</b>	<b>136</b>
Macintosh .....	136
Windows .....	137
<b>画像編集ウィンドウ .....</b>	<b>138</b>
ツールバーの機能 .....	140
<b>画像を開く .....</b>	<b>142</b>
<b>画像の表示 .....</b>	<b>145</b>
画像表示ウィンドウの画像を拡大／縮小、移動する .....	145
ナビゲータを表示する .....	148
RGB / 座標情報を表示する .....	149
プロパティを表示する .....	150
<b>画像の編集 .....</b>	<b>151</b>
画像処理バーと画像処理パレット .....	151
画像処理バーの操作 .....	153
RAW 現像設定 .....	155
サイズ変更 .....	158
歪み補正 .....	159

シェーディング補正 .....	160
ノイズリダクション .....	161
フィルタ .....	162
回転・反転 .....	164
トーンカーブ .....	165
明るさ・コントラスト .....	166
ガンマ補正 .....	167
カラーバランス .....	168
シャープネス .....	169
色相・彩度・明度 .....	170
テキスト挿入 .....	171
トリミング .....	174
赤目補正 .....	176
<b>設定内容の保存／読み込み .....</b>	<b>177</b>
画像処理ファイルを保存する .....	177
画像処理ファイルを読み込む .....	179
<b>バッチ処理（一括編集処理） .....</b>	<b>181</b>
<b>IPTC 情報の編集 .....</b>	<b>185</b>
選択した画像の IPTC 情報を表示・編集する .....	185
[一般] タブを表示、編集するには .....	188
[キーワード] タブを表示、編集するには .....	189
[カテゴリー] タブを表示、編集するには .....	190
[作成元] タブを表示、編集するには .....	191
IPTC 情報を別の画像に適用する .....	192
<b>登録アプリケーションの起動 .....</b>	<b>193</b>
<b>画像の保存 .....</b>	<b>194</b>
上書き保存 .....	194
別名で保存 .....	194
すべて保存する .....	198

## カメラコントロールウィンドウ

200

PC マスターモード .....	200
カメラマスターモード .....	200
<b>カメラコントロールウィンドウの起動と終了 .....</b>	<b>201</b>
Macintosh .....	201
Windows .....	202
<b>カメラコントロールウィンドウ .....</b>	<b>204</b>
プレビュー領域の操作 .....	207
プレビュー情報領域について .....	209
<b>撮影する .....</b>	<b>210</b>
PC マスターモードとカメラマスターモード .....	210
PC マスターモードで撮影する .....	213
カメラマスターモードで撮影する .....	216
複数のカメラを接続して撮影する .....	218
ファイル名を設定する .....	219

命名規則について .....	219
<b>カメラの設定 .....</b>	<b>221</b>
設定値一覧 .....	221
基本設定項目 .....	221
詳細設定項目 .....	222
基本設定項目を設定する .....	224
設定値を変更する .....	226
詳細設定項目を設定する .....	227
設定値を変更する .....	236
詳細設定項目をカメラコントロールウィンドウに表示する .....	238
撮影設定／カメラ設定を保存する .....	239
保存した設定用ファイルを使用してカメラの設定を 一括変更するには .....	240
<b>インターバル撮影をする .....</b>	<b>242</b>
<b>その他の設定 .....</b>	<b>245</b>
 <b>ファームウェアのアップデート .....</b>	 <b>247</b>
 <b>OLYMPUS Studio の環境設定 .....</b>	 <b>251</b>
OLYMPUS Studio の環境設定を行う .....	251
[一般] タブを設定する .....	253
[ブラウズ] タブを設定する .....	255
[全画面表示] タブを設定する .....	257
[分類チェックマーク] タブを設定する .....	260
[カラーマネージメント] タブを設定する .....	263
OS のプロファイル設定を確認する .....	263
画像をモニタに表示するときに使用するプロファイルの設定を 確認する .....	263
画像を印刷するときに使用するプロファイルの設定を確認する .....	266
[カラーマネージメント] タブの設定 .....	269
 <b>その他 .....</b>	 <b>271</b>
<b>メニュー一覧 .....</b>	<b>271</b>
ブラウズウィンドウ .....	271
[ファイル] メニュー .....	271
[編集] メニュー .....	272
[表示] メニュー .....	273
[ツール] メニュー .....	275
[ヘルプ] メニュー .....	275
画像編集ウィンドウ .....	276
[ファイル] メニュー .....	276
[編集] メニュー .....	277

[表示] メニュー .....	278
[画像] メニュー .....	279
[ツール] メニュー .....	280
[ウィンドウ] メニュー .....	281
[ヘルプ] メニュー .....	281
カメラコントロールウィンドウ .....	282
[ファイル] メニュー .....	282
[編集] メニュー .....	282
[表示] メニュー .....	283
[カメラ] メニュー .....	284
[ツール] メニュー .....	285
[ヘルプ] メニュー .....	285
<b>用語解説 .....</b>	<b>286</b>
<b>索引 .....</b>	<b>288</b>
<b>お問い合わせ窓口 .....</b>	<b>302</b>

# OLYMPUS Studio とは？

OLYMPUS Studio は、プロカメラマンのワークフローをサポートするためのオンラインパズデジタルカメラ専用のソフトウェアです。

ここでは、OLYMPUS Studio の特長的な機能について紹介します。

## ■ OLYMPUS Studio でカメラをコントロール

パソコンから操作して撮影およびカメラの設定を行う PC マスターモードと、カメラから操作して撮影・設定を行うカメラマスターモードが用意されています。どちらのモードも撮影した画像は直接パソコンに保存されます。

詳しい説明・操作については→「カメラコントロールウィンドウ」P.200

## ■ OLYMPUS Studio で画像を取り込み／表示

撮影済みの画像をパソコンに取り込んで表示します。カメラとパソコンをケーブルで接続して画像を取り込んだり、カードリーダーなどを利用してカードから画像を取り込んだりできます。

詳しい説明・操作については→「画像の取り込み」P.34

## ■ OLYMPUS Studio で画像を選定

膨大な数の画像の分類や絞り込みなど、選定作業に便利な表示モードや機能が用意されています。

絞り込み作業のための「分類チェックマーク」、画像を詳細に比較する「画像比較エリア」、画像を振り分ける「コレクション領域」など、画像選定作業を強力にサポートします。

詳しい説明・操作については→「ブラウズウィンドウ」P.33

## ■ OLYMPUS Studio で画像を編集

画像編集のための機能やツールが用意されています。

RAW データを加工する「RAW 現像設定」と「高速な RAW 現像」、サイズ変更やトリミング、明るさ補正、カラーバランス補正、シャープネス補正などを行う「画像処理パレット」、複数の画像に画像編集を同時に行う「バッチ処理」などの編集機能があります。

また、登録アプリケーションとして Photoshop などのソフトウェアを登録しておくことで、OLYMPUS Studio から別のソフトウェアを起動して画像編集を行うことができます。

詳しい説明・操作については→「画像編集ウィンドウ」P.136



## ■ OLYMPUS Studio で画像を管理／印刷／E-mail 送信

取り込んで編集を行った画像をフォルダに分類して管理します。フォルダの新規作成や画像の移動、複数ファイル名の一括変更といった操作も行うことができます。印刷フォーマットは、「フォト印刷」「インデックス印刷」「コンタクトシート印刷」の3種類が用意されています。

OLYMPUS Studio から画像をメールに添付して送信することもできます。

詳しい説明・操作については→「フォルダ・ファイルの操作」P.94

「画像の印刷」P.114

「画像のE-mail 送信」P.131

## ■ OLYMPUS Studio でファームウェアをアップデート

カメラとパソコンを接続してインターネットに接続し、OLYMPUS E-System のボディ、レンズ、フラッシュ等のファームウェアのアップデートを行うことができます。

詳しい説明・操作については→「ファームウェアのアップデート」P.247

## ■ OLYMPUS Studio をカスタマイズ

OLYMPUS Studio の各ウィンドウで共通の操作環境を設定します。分類チェックマークをお好みの色やデザインに設定するなど、カスタマイズが可能です。

詳しい説明・操作については→「OLYMPUS Studio の環境設定」P.251

# OLYMPUS Studio のワークフロー

プロカメラマンのワークフローは状況によって多様に変化します。OLYMPUS Studio は、デジタルカメラで撮影するプロカメラマンのデジタルワークを強力にサポートします。たとえば撮影方法としてカメラとパソコンをケーブルで接続し、カメラのシャッターボタンを押して撮影する方法以外に、パソコンの画面で撮影ボタンをクリックして撮影する方法があります。どちらも撮影した画像は、直接パソコンに転送されます。また画像の選定についても、数百枚から数十枚に、そして数枚へと絞り込んでいく方法は一つではありません。千枚単位の画像を効率的に「分類する」、「比較する」、「振り分ける」などの選定方法が用意されています。

## 撮影／取り込み

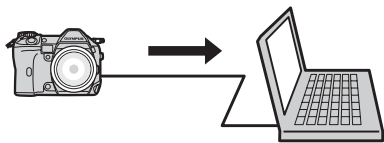
カメラとパソコンをケーブルで接続してパソコンに取り込む



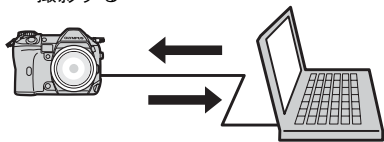
画像を保存したメディアをカードリーダー等に入れて、パソコンに取り込む

カメラのシャッターボタンを押して撮影する

撮影した画像は直接パソコンに保存される



パソコンからコントロールして撮影する



撮影した画像は直接パソコンに保存される

- ・カメラとパソコンを USB ケーブルや IEEE1394 (FireWire) ケーブルで接続します。
- ・撮影した画像をパソコンに取り込みます。

## カメラの設定

OLYMPUS Studio のカメラコントロールウィンドウで、カメラの設定を変更します。

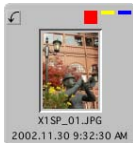
表示／選定

## 表示／選定

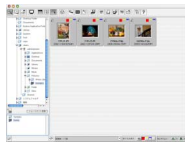
取り込んだ画像はブラウザウィンドウで表示します。必要に応じて画像の選定作業を行います。画像を選定するための表示モードや便利な機能が用意されています。  
選定を行わず、すぐに画像編集することもできます。

## ●分類チェックマークで画像进行分类する

画像に分類チェックマークを付けて、同一の分類チェックマークごとに絞り込み表示します。



赤の分類チェック  
マークを付ける



赤の分類チェック  
マークの画像のみ  
表示

画像  
編集

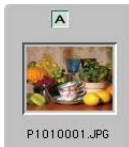
## ●画像比較エリアで画像を比較する

表示モードをライトボックスモードにして、画像比較エリアで複数の画像を並べて比較します。



## ●コレクション領域で画像を振り分ける

コレクション領域 A、B に画像を振り分けます。



コレクション領域 A  
に振り分ける



## OLYMPUS Studio による画像編集

画像編集ウィンドウで、画像編集を行います。



16 項目の編集処理が用意されています。

- RAW データは、RAW 現像設定で加工することができます。
- バッチ処理で複数画像に対して複数の画像編集を一括して行うことができます。
- 編集した設定内容を専用ファイルに保存して、管理・活用することができます。

保存／  
印刷

再度  
選定

画像編集ウィンドウで Photoshop などの登録アプリケーションを起動します。  
または、画像を保存後、その画像を登録アプリケーションで開くように設定できます。

## 登録アプリケーションによる画像編集

Photoshop など画像編集用のソフトウェアをあらかじめ登録アプリケーションとして登録しておくと、OLYMPUS Studio から起動して、編集することができます。

ブラウズウィンドウで、登録アプリケーションを起動することができます。

## 選定

必要であれば、画像編集後のデータをブラウズウィンドウでさらに選定します。

- 分類チェックマークで画像进行分类
- 画像比較エリアで画像を比較
- コレクション領域で画像を振り分け

## 保存／印刷

### 保存

- フォルダを新規作成して、画像を管理します。

ブラウズ  
ウィンドウ



フォルダ

選択した画像を新規フォルダに移動して保存できます。

- ファイル名を一括変更します。連番でファイル名を付けるなど、管理面でサポートします。
- ファイルフォーマットを一括変換できます。

### 印刷

3種類の印刷フォーマットが指定できます。



フォト印刷



インデックス印刷



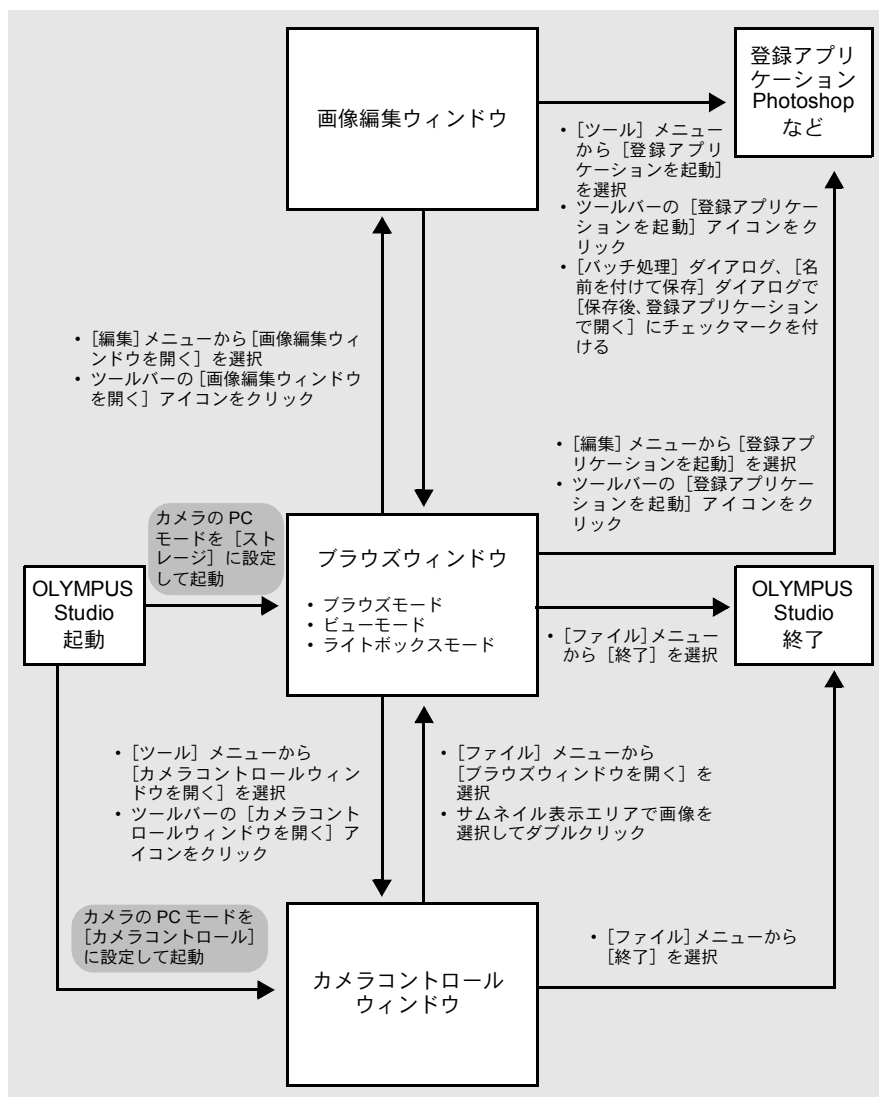
コンタクトシート  
印刷

# OLYMPUS Studio を構成するウィンドウ

OLYMPUS Studio には、ブラウズウィンドウ、画像編集ウィンドウ、カメラコントロールウィンドウの3つのウィンドウがあります。

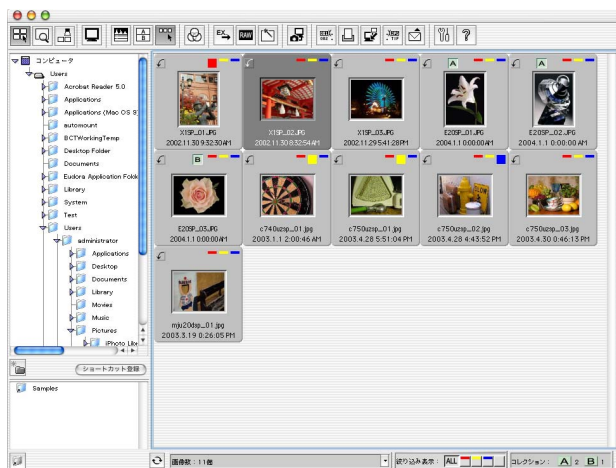
ここでは、それぞれのウィンドウの概要と機能を説明します。

## 各ウィンドウの関係



ブラウズウィンドウでは、フォルダツリーで選択しているフォルダ内の画像ファイルを表示します。ブラウズウィンドウには、ブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードの3種類の表示モードがあります。

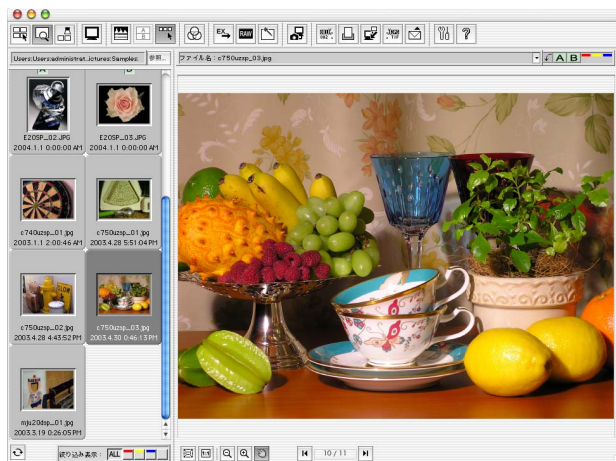
フォルダを選択すると、そのフォルダ内に保存されている画像をサムネイルで一覧表示します。撮影した画像を全て一度に表示して確認する場合などに利用します。また、画像に分類チェックマークを付けてグループに分け、同一の分類チェックマークが付いた画像だけをサムネイル表示エリアに表示することができます。



プロパティ領域を表示して、画像の撮影情報やヒストグラムを確認できます。

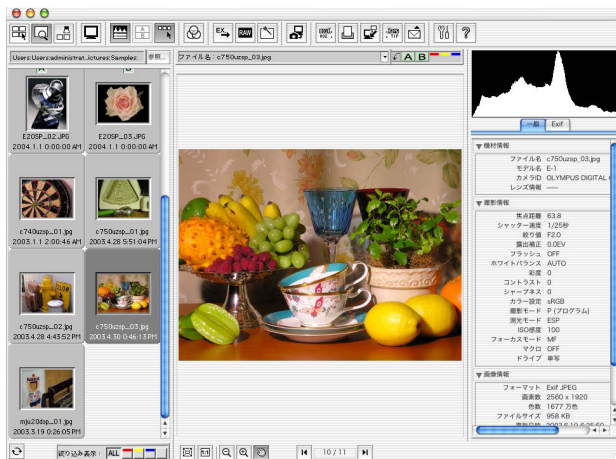
## ●ビューモード

サムネイル表示エリアから選択した画像を拡大して表示します。個々の画像を確認する場合などに利用します。



プロパティ領域を表示して、画像の撮影情報やヒストグラムを確認できます。

### プロパティ領域表示時

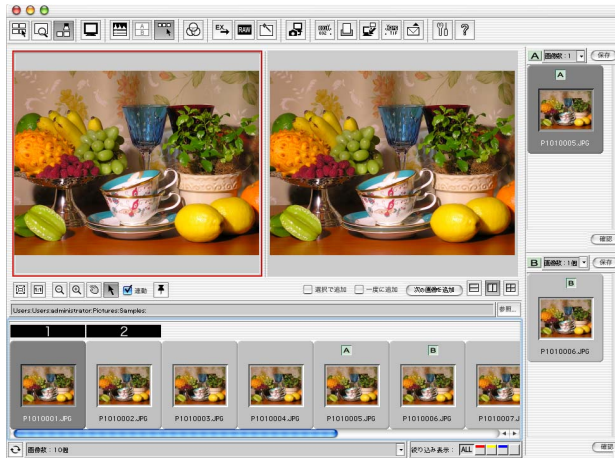




## ● ライトボックスモード

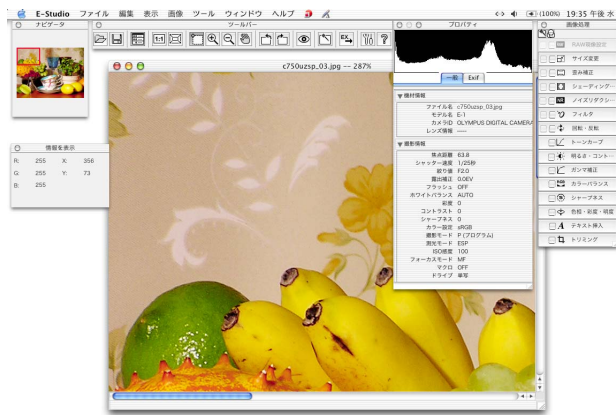
サムネイル表示エリアから選択した複数の画像を画像比較エリアに並べて表示します。類似した画像を比較・検討する場合などに利用します。

選定した画像は A と B のコレクション領域に振り分けて一時的に保存し、あとで別のフォルダにまとめて保存することができます。



## 画像編集ウィンドウ

画像編集ウィンドウでは、画像の編集を行います。RAW 現像設定やサイズ変更、トリミング、明るさ補正、カラーバランス補正、シャープネス補正など多様な画像編集が用意されています。画像処理バーの編集項目をクリックすると、画像処理パレットが表示されます。編集作業は画像処理パレットで行います。バッチ処理を利用すると、複数の画像に対して一括して編集を行うことができます。



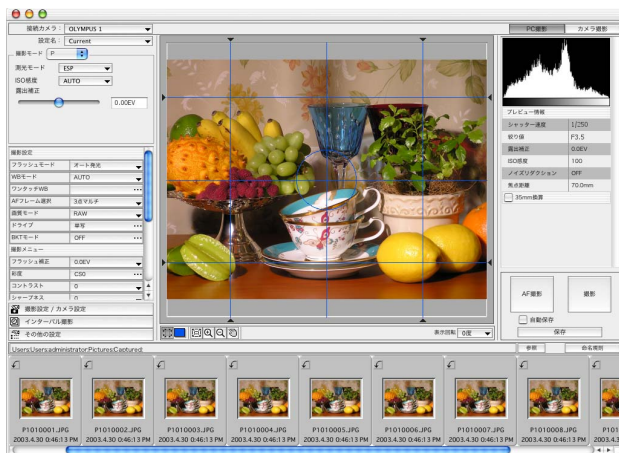
あらかじめ登録されている別の画像編集用アプリケーションソフトウェアを起動し、画像を編集することもできます。登録アプリケーションの起動は、画像編集ウィンドウの他、ブラウズウィンドウでも可能です。

# カメラコントロールウィンドウ

カメラコントロールウィンドウでは、PC マスターモードとカメラマスターモードを切り替えて撮影を行います。

PC マスターモードでは、カメラコントロールウィンドウの [AF 撮影] [撮影] ボタンをクリックして撮影します。撮影した画像は直接パソコンに保存されます。また、カメラコントロールウィンドウに表示されているカメラの設定内容をウィンドウ上から変更することができます。

カメラマスターモードでは、撮影および設定内容の変更はカメラから操作して行います。ただし、撮影した画像は直接パソコンに保存されます。



# OLYMPUS Studio の起動

## カメラとパソコンを接続する

カメラの画像を取り込んだり、カメラの設定をパソコン上から行う場合は、あらかじめ USB ケーブルまたは IEEE1394 (FireWire) ケーブルでカメラとパソコンを接続しておきます。すでにパソコンに保存した画像を OLYMPUS Studio で閲覧・編集を行う場合は、必要ありません。



### 1 カメラのモードを設定する。



1 カメラのパワースイッチを ON の位置にして、電源を入れる。

2 メニューボタンを押す。


液晶モニタにメニューが表示されます。

3 十字ボタンの  を繰り返し押して  を選択し、 を押す。


4  を繰り返し押して [PC モード] を選択し、 を押す。


5   を押して [ストレージ] または [カメラコントロール] を選択する。

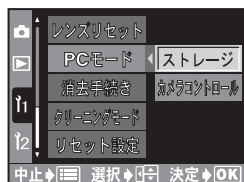
ブラウザウィンドウを起動して、カメラから画像を取り込む場合は、[ストレージ] に設定します。

 「画像の取り込み」 P.34

カメラコントロールウィンドウを起動して、撮影やカメラの設定をパソコンから行う場合や、ファームウェアのアップデートを行う場合は、[カメラコントロール] に設定します。

 「カメラコントロールウィンドウの起動と終了」 P.201

 「ファームウェアのアップデート」 P.247



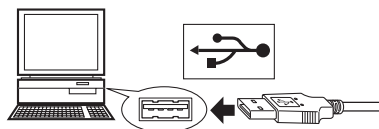
6 [OK] を押す。

カメラのモードが設定されます。

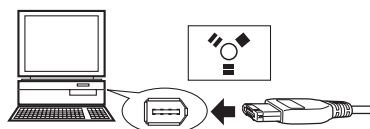
### 2 カメラのパワースイッチを OFF の位置にして、電源を切ります。

### 3 パソコンの端子にケーブルを差し込みます。

USB ケーブルの場合

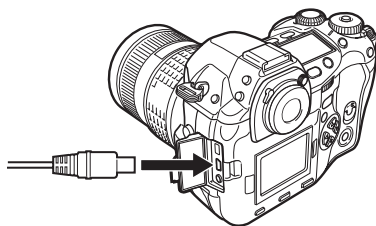


IEEE1394 (FireWire) ケーブルの場合

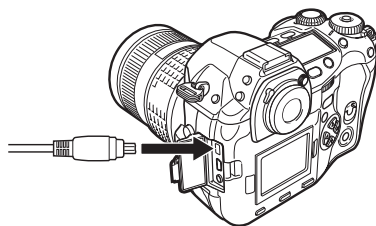


## 4 カメラの端子にケーブルを差し込みます。

USB ケーブルの場合



IEEE1394 (FireWire) ケーブルの場合



## 5 カメラのパワースイッチを ON の位置にして、電源を入れる。

パソコンがカメラを認識します。




注意

- カメラとの通信中は、他の USB、IEEE1394 デバイスの取り付け／取り外しをしないでください。カメラの故障や OLYMPUS Studio の不具合の原因となります。



ヒント

- カメラとパソコンを接続してカメラの電源を入れたときに、自動的に OLYMPUS Studio が起動するように設定することができます。  
 「OLYMPUS Studio を自動起動する」 P.30
- カメラとパソコンの接続方法については、ご使用のカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。
- カメラのモード設定方法については、ご使用のカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

# OLYMPUS Studio を起動する

OLYMPUS Studio を起動してブラウズウィンドウまたはカメラコントロールウィンドウを表示します。

## ● Macintosh

### ブラウズウィンドウを表示する場合

- OLYMPUS Studio をインストールしたフォルダ内の [OLYMPUS Studio] を開き、[OLYMPUS Studio] をダブルクリックする。
- デスクトップ上の [OLYMPUS Studio] アイコンをダブルクリックする。(Mac OS 9 のみ)

### カメラコントロールウィンドウを表示する場合

- OLYMPUS Studio をインストールしたフォルダ内の [OLYMPUS Studio] を開き、[OLYMPUS Studio Camera Control] をダブルクリックする。
- デスクトップ上の [OLYMPUS Studio Camera Control] アイコンをダブルクリックする。(Mac OS 9 のみ)

## ● Windows

### ブラウズウィンドウを表示する場合

- タスクバーの [スタート] メニューから [プログラム – OLYMPUS Studio – OLYMPUS Studio] を選択する。
- デスクトップ上の [OLYMPUS Studio] アイコンをダブルクリックする。

### カメラコントロールウィンドウを表示する場合

- タスクバーの [スタート] メニューから [プログラム – OLYMPUS Studio – OLYMPUS Studio カメラコントロール] を選択する。
- デスクトップ上の [OLYMPUS Studio カメラコントロール] アイコンをダブルクリックする。

# OLYMPUS Studio を終了する

ブラウズウィンドウまたはカメラコントロールウィンドウを閉じて、OLYMPUS Studio を終了します。

## ● Macintosh

- 1 ブラウズウィンドウの [ファイル] メニューから [終了] を選択する。  
またはカメラコントロールウィンドウの [ファイル] メニューから [カメラコントロールウィンドウの終了] を選択する。

ブラウズウィンドウまたはカメラコントロールウィンドウが閉じます。

## ● Windows

- 1 ブラウズウィンドウまたはカメラコントロールウィンドウの [ファイル] メニューから [終了] を選択する。

ブラウズウィンドウまたはカメラコントロールウィンドウが閉じます。



注意

### OLYMPUS Studio の終了手順 (Mac OS X の場合)

- ブラウズウィンドウ、カメラコントロールウィンドウとも、[OLYMPUS Studio] メニューから [OLYMPUS Studio を終了] を選択する。
- カメラコントロールウィンドウの [ファイル] メニューから [カメラコントロールウィンドウを終了] を選択する。

# カメラをパソコンから取り外す

カメラとパソコンを接続してOLYMPUS Studioを起動していた場合は、OLYMPUS Studioを終了後にカメラをパソコンから取り外します。

**1 カメラのカードアクセスランプが点滅していないことを確認する。**

**2 パソコン上で「ハードウェアの取り外し」を行う。**

必ず、以下の操作を行ってください。

## Macintosh

デスクトップ上の [NO\_NAME] (Mac OS X) または [名称未設定] (Mac OS 9) のアイコンをゴミ箱にドラッグする。

接続ケーブルを抜く前に再度、カメラのカードアクセスランプが点滅していないことを確認する。

## Windows Me/2000/XP

パソコン画面右下のタスクバーに表示されている [ハードウェアの取り外し] アイコンをクリックし、表示されるメッセージを選択します。

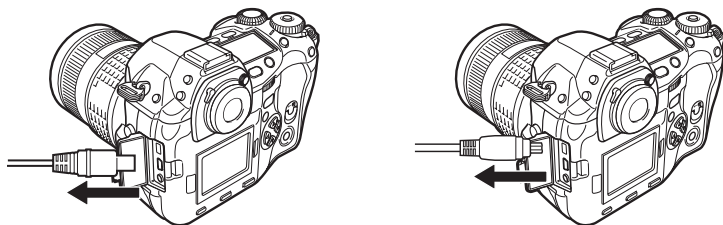
- ・「ハードウェアの取り外し」をクリックした際、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラの画像データを読み込み中でないことを確認し、USB ケーブルを抜いてください。

## Windows 98 SE

マイコンピュータの中の [リムーバブルディスク] 上で右クリックし、[取り出し] を選択する。

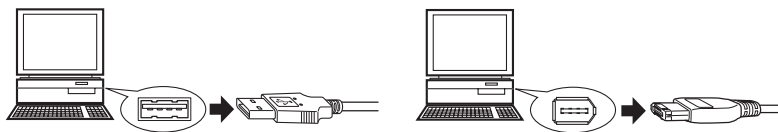
接続ケーブルを抜く前に再度、カメラのカードアクセスランプが点滅していないことを確認する。

**3 カメラから接続 USB ケーブルまたは IEEE1394 (FireWire) ケーブルを抜く。**





#### 4 パソコンから USB ケーブルまたは IEEE1394 (FireWire) ケーブルを抜く。



#### 5 カメラの電源を OFF にする。



注意

- カメラの電源を OFF にする前に、必ずパソコン上で「ハードウェアの取り外し」を行ってください。「ハードウェアの取り外し」を行わないでカメラの電源を OFF にすると、画像データが失われる場合があります。
- 「ハードウェアの取り外し」を行った際、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラの画像データを読み込み中でないことを確認し、USB/IEEE1394 (FireWire) ケーブルを外してください。

# OLYMPUS Studio を自動起動する

自動起動を設定すると、カメラとパソコンを接続して電源を ON にしたとき、自動的に OLYMPUS Studio を起動することができます。

起動時に表示されるウィンドウは、カメラの PC モード設定によって異なります。

- PC モード設定が [ストレージ] のとき：  
ブラウズウィンドウと [取り込み] ダイアログが表示されます。
- PC モード設定が [カメラコントロール] のとき：  
カメラコントロールウィンドウが表示されます。

自動起動の設定は、環境設定で行います。🔍「OLYMPUS Studio の環境設定」P.251

## 1 あらかじめ、OLYMPUS Studio で自動起動を設定しておく。

すでに設定済みの場合は、この操作は必要ありません。

### 1 ブラウズウィンドウ、画像編集ウィンドウ、カメラコントロールウィンドウで [ツール] メニューから [環境設定] を選択する。

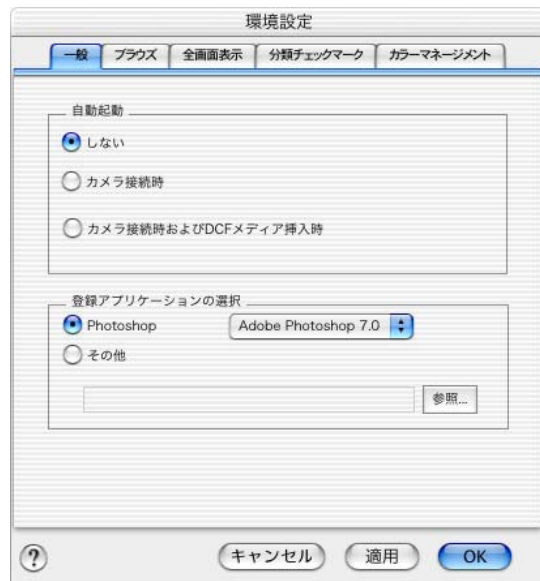
[環境設定] ダイアログが表示されます。

#### [環境設定] ダイアログ



## 2 「一般」タブをクリックする。

### 「環境設定」ダイアログ 「一般」タブ



☞ 「「一般」タブを設定する」P.253

## 3 「自動起動」の「カメラ接続時」をクリックする。

画像が保存されたメディアを、パソコンに挿入したときも OLYMPUS Studio を自動起動したい場合は、[カメラ接続時および DCF メディア挿入時] を選択します。

## 4 「OK」ボタンをクリックする。

自動起動が設定され、「環境設定」ダイアログが閉じます。

自動起動の設定後、OLYMPUS Studio を終了します。

## 2 カメラの電源を ON にする。

## 3 カメラのモードを「ストレージモード」または「カメラコントロールモード」に設定する。

## 4 USB ケーブルまたは IEEE1394 (FireWire) ケーブルでパソコンとカメラを接続する。

☞ 「カメラとパソコンを接続する」P.24

OLYMPUS Studio が起動し、ブラウズウィンドウまたはカメラコントロールウィンドウが表示されます。



ヒント

- 自動起動の [カメラ接続時および DCF メディア挿入時] を選択すると、DCF (Design rule for Camera File system) 準拠で記録されたメディア (コンパクトフラッシュカードや xD ピクチャーカードなどの記録媒体) をパソコンに挿入したときも自動的に OLYMPUS Studio が起動します。この場合は必ずブラウズウィンドウと [取り込み] ダイアログが表示されます。



注意

- 自動起動の初期設定は OFF に設定されています。ON に設定しないと、パソコンとカメラを接続して電源を入れても OLYMPUS Studio は自動起動しません。  
Windows XP の場合、ストレージモードのカメラを接続したり、メディアを挿入すると、自動起動の設定に関わらず [自動再生] ダイアログが表示されます。一覧から [OLYMPUS Studio] を選択して [OK] ボタンをクリックすると、ブラウズウィンドウが表示されます。
- Windows XP の場合、[カメラ接続時および DCF メディア挿入時] は淡色表示され、選択できません。
- カメラとパソコンの接続方法およびパソコンへのメディア挿入方法については、ご使用のカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。
- カメラのモード設定方法については、ご使用のカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

# ブラウザウィンドウ

## ブラウザウィンドウの起動と終了

ブラウザウィンドウでは、画像のパソコンへの取り込みや、取り込んだ画像の表示を行います。ここでは、ブラウザウィンドウの起動と終了方法について説明します。

### ● Macintosh

#### 起動する

- 1 OLYMPUS Studio をインストールしたフォルダ内の [OLYMPUS Studio] を開く。[OLYMPUS Studio] アイコンをダブルクリックする。  
または、デスクトップ上の [OLYMPUS Studio] アイコンをダブルクリックする。

ブラウザウィンドウが表示されます。

#### 終了する

- 1 [ファイル] メニューから [終了] を選択する。

Mac OS X の場合は、[OLYMPUS Studio] メニューから [OLYMPUS Studio を終了] を選択します。

### ● Windows

#### 起動する

- 1 タスクバーの [スタート] メニューから [プログラム - OLYMPUS Studio - OLYMPUS Studio] を選択する。  
または、デスクトップ上の [OLYMPUS Studio] アイコンをダブルクリックする。


ブラウザウィンドウが表示されます。

#### 終了する

- 1 [ファイル] メニューから [終了] を選択する。



ヒント

- カメラをパソコンに接続したり、メディアをパソコンに挿入したときに、ブラウザウィンドウが自動的に起動するように設定することができます。  
 「OLYMPUS Studio を自動起動する」 P.30

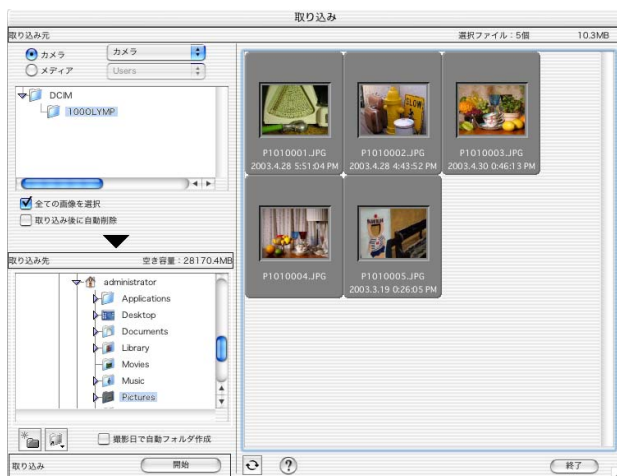
# 画像の取り込み

カメラまたはメディア内の画像をパソコンに取り込みます。画像の取り込みはブラウザウィンドウの「取り込み」ダイアログで行います。  
ここでは、カメラから画像を取り込む場合とメディアから画像を取り込む場合について説明します。

## 取り込みダイアログについて

カメラから画像を取り込む場合も、メディアから画像を取り込む場合も、「取り込み」ダイアログで設定します。


「取り込み」ダイアログ



項目	内容
取り込み元	
カメラ	取り込み元を「カメラ」に指定します。複数のカメラを接続している場合は、右側のプルダウンリストから取り込み元のカメラ番号を選択します。
メディア	取り込み元を「メディア」に指定します。複数のメディアをパソコンに挿入している場合は、右側のプルダウンリストから取り込み元のメディアを選択します。
フォルダツリー	取り込み元のカメラまたはメディアのツリーが表示されます。画像の取り込み元を指定します。
全ての画像を選択	チェックマークを付けると、サムネイル表示エリアに表示されているすべての画像が選択状態になります。

取り込み後に自動削除	チェックマークを付けると、画像がパソコンに取り込まれた後、取り込み元の画像が自動的に削除されます。
画像枚数、ファイルサイズ表示	サムネイル表示エリアで選択している画像の数とファイルサイズの合計が表示されます。
サムネイル表示エリア	フォルダツリーで選択したフォルダ内の画像を一覧表示します。

## 取り込み先


フォルダツリー	取り込み先のツリーが表示されます。画像の取り込み先を選択します。
[フォルダの新規作成]	フォルダツリーで選択したドライブまたはフォルダ内に新しいサブフォルダを作成します。
[ショートカット参照]	登録してあるショートカットの一覧を表示する場合にクリックします。一覧から選択すると、フォルダツリーの選択位置がショートカットのリンク先に移動します。  「フォルダのショートカットを作成する」P.109
撮影日で自動フォルダ作成	チェックマークを付けると、フォルダツリーで選択したフォルダ内に撮影日の名前のついたサブフォルダを自動的に作成して、撮影日別に取り込みます。

## 取り込み

[開始]	画像の取り込みを開始します。
[再読み込み]	取り込み元のフォルダの画像を再度読み込んで、サムネイル表示エリアの表示を更新します。
[終了]	[取り込み] ダイアログを閉じます。



ヒント


- カメラをパソコンに接続したときや、メディアをパソコンに挿入したときにブラウズウィンドウの[取り込み]ダイアログが自動的に起動するように設定することができます。「OLYMPUS Studio を自動起動する」P.30

## カメラから取り込む

USB ケーブルまたは IEEE1394 (FireWire) ケーブルでパソコンと接続したカメラから画像を取り込みます。接続できるカメラはオリンパス製のみです。

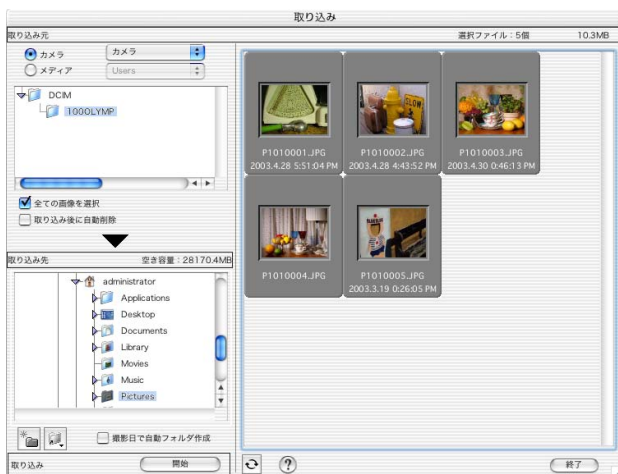
カメラのモード操作およびカメラとパソコンの接続／取り外し方法については、「OLYMPUS Studio の起動」をご覧ください。P.24

- 1** カメラの電源を ON にし、カメラの PC モードを [ストレージモード] に設定する。
- 2** USB ケーブルまたは IEEE1394 (FireWire) ケーブルで、カメラとパソコンを接続する。
- 3** ブラウズウィンドウの [ツール] メニューから [画像の取り込み] を選択する。  
または、ツールバーの [画像の取り込み] アイコンをクリックする。

 「画像の表示」P.42

[取り込み] ダイアログが表示されます。

### [取り込み] ダイアログ



- 4** [取り込み元] から [カメラ] をクリックする。

カメラを複数接続している場合は、プルダウンリストから取り込み元のカメラ番号（[カメラ # 1]、[カメラ # 2]、…）を選択します。

取り込み元のフォルダツリーに [DCIM] フォルダ内のサブフォルダの一覧が表示されます。



## 5 取り込み元のフォルダツリーから取り込む画像の入ったフォルダを選択する。

ウィンドウ右側のサムネイル表示エリアにフォルダ内の画像が一覧表示されます。



- フォルダツリーで [DCIM] フォルダを選択すると、DCIM フォルダ内の全サブフォルダの内容が、サムネイル表示エリアに表示されます。

## 6 サムネイル表示エリアで取り込む画像を選択する。

[全ての画像を選択] にチェックマークを付けると、サムネイル表示エリアに表示されているすべての画像が選択されます。

複数の画像を同時に取り込むときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- Macintosh (Mac OS 9) : [Shift] キー
- Macintosh (Mac OS X) : [Shift] または [Command] キー
- Windows : [Ctrl] キー

## 7 取り込み先のフォルダツリーから取り込み先のフォルダを選択する。

## 8 [開始] ボタンをクリックする。

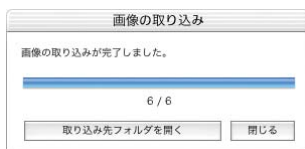
画像の取り込みが開始すると、[画像の取り込み] ダイアログが表示されます。

### [画像の取り込み] ダイアログー取り込み中



画像の取り込みが終了すると、以下のダイアログが表示されます。

### [画像の取り込み] ダイアログー取り込み終了



[取り込み先フォルダを開く] ボタンをクリックすると、[取り込み] ダイアログが閉じて、ブラウザウィンドウのサムネイル表示エリアに取り込んだフォルダ内の画像が表示されます。



注意

- 画像の取り込み中は、カメラの電源を切ったり、カメラのカードカバーを開けたり、接続ケーブルを外したりしないでください。カメラの故障や OLYMPUS Studio の不具合の原因となります。
- カメラと通信中は、デバイスの取り付け／取り外しをしないでください。カメラの故障や OLYMPUS Studio の不具合の原因となります。
- 取り込み先のフォルダに同名のファイルが存在する場合は、[上書き] ダイアログが表示されます。[上書き] ダイアログでは画像の取り込み方法を以下から選択します。
  - [スキップ] : 画像を取り込まずに次の画像から取り込みを続けます。
  - [上書き] : 画像を取り込んで上書きします。
  - [連番を付加] : ファイル名の後ろに連番を付けて別名で取り込みます。
  - [全てに適用] : 以降の同名ファイルに対して、選択した取り込み方法と同様の処理をして取り込みます。



ヒント

- オリンパス製の USB および IEEE1394 (FireWire) ストレージクラス対応のカメラを接続している場合は、[カメラ] と [メディア] のどちらも取り込み元として指定することができます。

# メディアから取り込む

メディアから画像をパソコンに取り込みます。

## 1 メディアをパソコンに挿入する。

メディアの挿入方法については、ご使用のカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

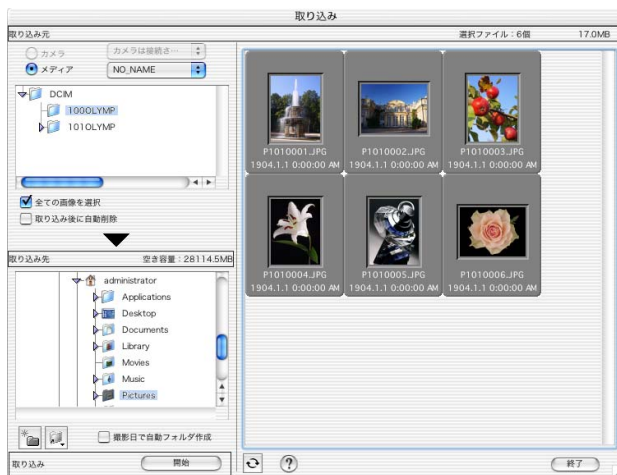
## 2 ブラウズウィンドウの[ツール]メニューから[画像の取り込み]を選択する。

または、ツールバーの[画像の取り込み]アイコンをクリックする。

🖼️「画像の表示」P.42

[取り込み] ダイアログが表示されます。

[取り込み] ダイアログ



## 3 [取り込み元] から [メディア] をクリックする。

複数のメディアを挿入している場合は、プルダウンリストから取り込み元のドライブ名を選択します。

プルダウンリストには、DCF (Design rule for Camera File system) 準拠で記録されたメディアが挿入されているドライブのみが表示されます。

## 4 取り込み元のフォルダツリーから取り込む画像の入ったフォルダを選択する。

ウィンドウ右側のサムネイル表示エリアにフォルダ内の画像が一覧表示されます。

## 5 サムネイル表示エリアで取り込む画像を選択する。

[全ての画像を選択] にチェックマークを付けると、サムネイル表示エリアに表示されているすべての画像が選択されます。

複数の画像を同時に取り込むときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- Macintosh (Mac OS 9) : [Shift] キー
- Macintosh (Mac OS X) : [Shift] または [Command] キー
- Windows : [Ctrl] キー

## 6 取り込み先のフォルダツリーから取り込み先のフォルダを選択する。

## 7 [開始] ボタンをクリックする。

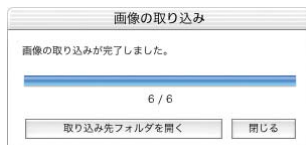
画像の取り込みが開始すると、[画像の取り込み] ダイアログが表示されます。

### [画像の取り込み] ダイアログー取り込み中



画像の取り込みが終了すると、以下のダイアログが表示されます。

### [画像の取り込み] ダイアログー取り込み終了



[取り込み先フォルダを開く] ボタンをクリックすると、[取り込み] ダイアログが閉じて、ブラウザウィンドウのサムネイル表示エリアに取り込んだフォルダ内の画像が表示されます。



注意

- 取り込み先のフォルダに同名のファイルが存在する場合は、[上書き] ダイアログが表示されます。[上書き] ダイアログでは画像の取り込み方法を以下から選択します。  
 [スキップ] : 画像を取り込まずに次の画像から取り込みを続けます。  
 [上書き] : 画像を取り込んで上書きします。  
 [連番を付加] : ファイル名の後ろに連番を付けて別名で取り込みます。  
 [全てに適用] : 以降の同名ファイルに対して、選択した取り込み方法と同様の処理をして取り込みます。

# 画像の表示

ブラウズウィンドウには「ブラウズモード」、「ビューモード」、「ライトボックスモード」の3種類の表示モードがあります。ブラウズウィンドウの起動時は、ブラウズモードで表示されます。

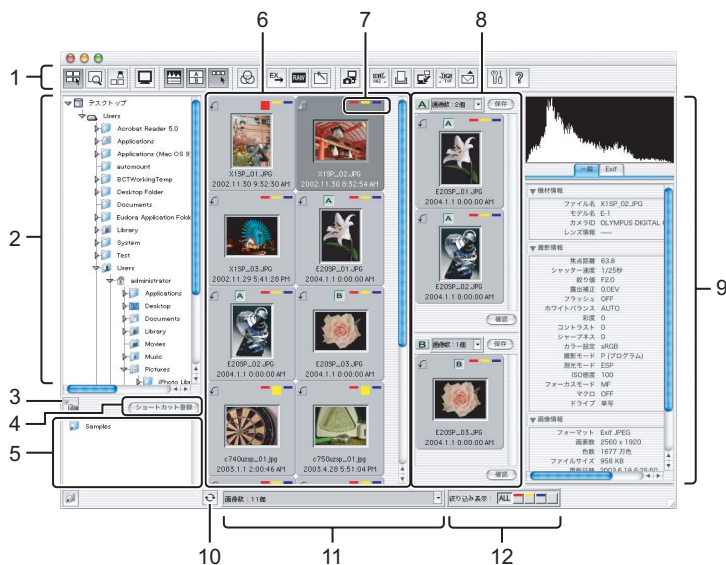
ここでは、表示モード別にブラウズウィンドウの各部名称とその機能について説明します。

## ブラウズモード

複数の画像の閲覧や管理に適した表示モードです。

フォルダツリーから表示したい画像が保存されているフォルダを選択すると、サムネイル一覧形式で画像が表示されます。サムネイル表示エリアで画像を選択すると、プロパティ領域に選択した画像の撮影情報や画像情報が表示されます。また、画像に分類チェックマークを付けてグループに分け、同一の分類チェックマークが付いた画像だけをサムネイル表示エリアに表示することができます。

### ブラウズモード



番号	項目	内容	参照頁
—	メニューバー	ブラウズウィンドウで使用するメニューが表示されます。ブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードとも共通です。	P.271
1	ツールバー *1	各ボタンで、表示モードの切り替えや印刷などを行います。ブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードとも共通です。	P.48
2	フォルダツリー	パソコン上のドライブおよびフォルダがツリー表示されます。	P.53
3	[フォルダの新規作成]	フォルダツリーで選択したドライブまたはフォルダ内に新しいサブフォルダを作成します。	P.94
4	ショートカット登録	フォルダツリーに表示されているフォルダのショートカットを作成します。	P.109
5	ショートカット領域 *1	[ショートカット登録] ボタンで作成したショートカットが表示されます。	P.109
6	サムネイル表示エリア	フォルダツリーで選択したフォルダ内の画像を一覧表示します。	P.53
7	分類チェックマーク	[赤] [黄] [青] のアイコンをクリックして、画像をグループに分けます。同一の分類チェックマークが付いた画像だけをサムネイル表示エリアに表示することができます。	P.62
8	コレクション領域 *1	サムネイル表示エリアから選択した画像を一時的に保存するための領域です。AとBのコレクション領域があり、コレクション領域別に画像を確認しながら振り分け、別のフォルダへまとめて保存することができます。	P.66
9	プロパティ領域 *2	画像のヒストグラム、シャッター速度などの撮影情報、撮影日時などの画像情報を表示します。	P.82
10	[再読み込み]	選択しているフォルダの画像を再度読み込んで、サムネイル表示エリアの表示を更新します。	—
11	ステータスボックス	サムネイル表示エリアの画像に関する情報（画像数またはファイルサイズ）が表示されます。プルダウンリストで表示項目を切り替えます。	—
12	絞り込みパレット *1	分類チェックマークにしたがってサムネイル表示エリアの画像の表示／非表示を切り替えます。チェックマークの組み合わせでいろいろなパターンの絞り込み表示ができます。	P.64

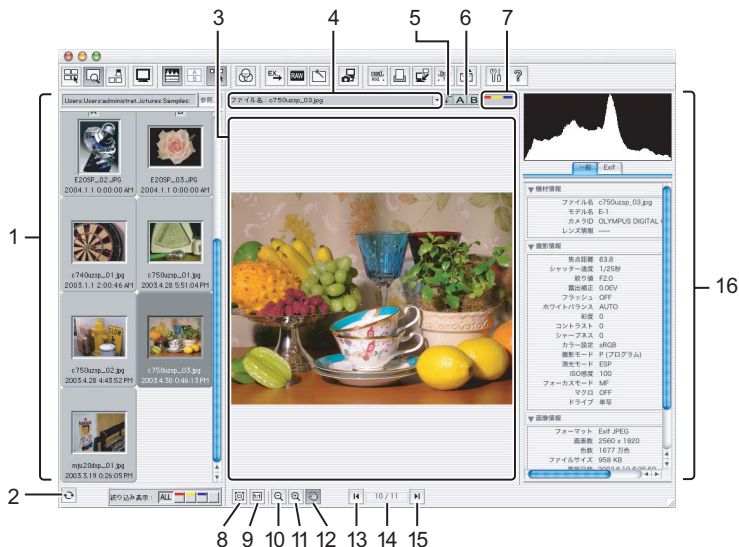
\*1 [表示] メニューで表示／非表示の切り替えができます。

\*2 [ファイル] メニューで表示／非表示の切り替えができます。

# ビューモード

画像を拡大表示して細部を確認したいときに適した表示モードです。  
単画像表示エリアにサムネイル表示エリアで選択した画像を表示します。

## ビューモード



番号	項目	内容	参照頁
1	サムネイル表示 エリア	選択したフォルダ内の画像を一覧表示します。フォルダのパス名がエリア上部に表示されます。	P.53
2	[再読み込み]	選択しているフォルダの画像を再度読み込んで、サムネイル表示エリアの表示を更新します。	—
3	単画像表示エリア	サムネイル表示エリアで選択した画像が表示されます。	—
4	ステータス ボックス	単画像表示エリアに表示されている画像に関する情報（ファイル名、撮影日時、表示位置、または表示倍率）が表示されます。プルダウンリストで表示項目を切り替えます。	—
5	回転	画像を左または右方向に 90 度回転させます。	P.60



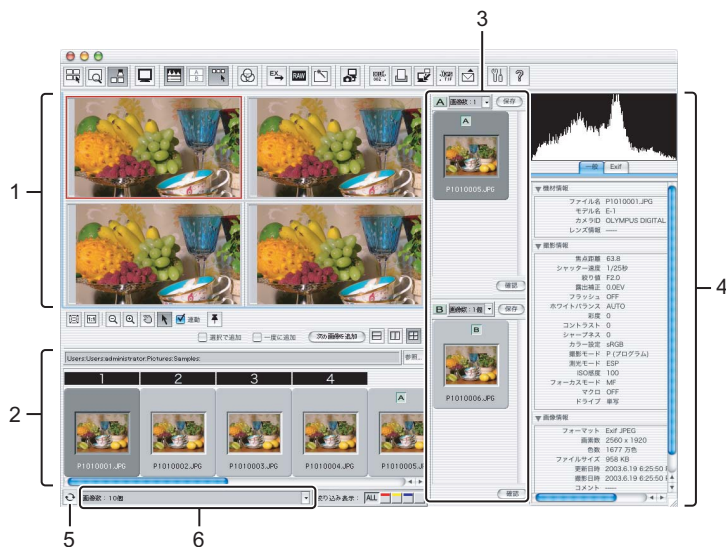
6	コレクションボタン	[A] または [B] のコレクションボタンをクリックすると、それぞれのコレクション領域に画像が振り分けられます。コレクション領域は振り分けた画像を一時的に保存するための領域です。保存されている内容は、表示モードをブラウズモードかライトボックスモードにすると表示されます。	P.67
7	分類チェックマーク	[赤] [黄] [青] のアイコンをクリックして、画像をグループに分けます。同一の分類チェックマークが付いた画像だけをサムネイル表示エリアに表示することができます。	P.62
8	画面にフィット	画像が単画像表示エリア全体に表示されるように表示倍率を自動調整して表示します。	—
9	実サイズで表示	画像の実際のサイズで単画像表示エリアに表示します。	—
10	ズームアウトモード	カーソルが虫眼鏡カーソル (－) に変わります。単画像表示エリアの画像上でクリックすると、縮小表示します。	—
11	ズームインモード	カーソルが虫眼鏡カーソル (+) に変わります。単画像表示エリアの画像上でクリックすると、拡大表示します。	—
12	スクロールモード	カーソルが手のひらカーソルに変わります。単画像表示エリアの画像上でドラッグすると、画像がスクロールします。	—
13	前の画像	単画像表示エリアに表示されている画像の一つ前の画像を表示します。サムネイル表示エリアの表示順に画像が切り替わります。	—
14	表示位置／フォルダ内の全画像数	単画像表示エリアに表示している画像がサムネイル表示エリアの表示順で何番目にあたるのかを示します。	—
15	次の画像	単画像表示エリアに表示されている画像の次の画像を表示します。サムネイル表示エリアの表示順に画像が切り替わります。	—
16	プロパティ領域 * <sup>1</sup>	画像のヒストグラム、シャッター速度などの撮影情報、撮影日時などの画像情報が表示されます。	P.82

\*<sup>1</sup> [ファイル] メニューで表示／非表示の切り替えができます。

# ライトボックスモード

複数の類似画像の比較や選定に便利な表示モードです。  
画像比較エリアに比較したい画像を並べて表示したり、選定した画像をコレクション領域に振り分けたりすることができます。

## ライトボックスモード



番号	項目	内容	参照頁
1	画像比較エリア	サムネイル表示エリアの画像をドラッグ & ドロップし登録して表示します。複数の画像を比較するときに使用します。画面表示を 2 分割、または 4 分割から選択することができます。	P.74
2	サムネイル表示エリア	選択したフォルダ内の画像を一覧表示します。フォルダのパス名がエリア上部に表示されます。	P.53
3	コレクション領域	サムネイル表示エリアや画像比較エリアから選択した画像を一時的に保存するための領域です。A と B のコレクション領域があり、コレクション領域別に画像を確認しながら振り分け、別のフォルダへまとめて保存することができます。	P.66
4	プロパティ領域*1	画像のヒストグラム、シャッター速度などの撮影情報、撮影日時などの画像情報が表示されます。	P.82

5	[再読み込み]	選択しているフォルダの画像を再度読み込んで、サムネイル表示エリアの表示を更新します。	—
6	ステータス ボックス	サムネイル表示エリアの画像に関する情報（画像数またはファイルサイズ）が表示されます。プルダウンリストで表示項目を切り替えます。	—

\*1 [ファイル] メニューで表示／非表示の切り替えができます。






# ツールバーの機能

ツールバーの各ボタンの機能について説明します。機能の詳細については各参照ページをご覧ください。

## ツールバー



ボタン	項目	内容	参照頁
	ブラウズモード	表示モードをブラウズモードに切り替えます。	P.42
	ビューモード	表示モードをビューモードに切り替えます。	P.44
	ライトボックスモード	表示モードをライトボックスモードに切り替えます。	P.46
	全画面表示／ スライドショー	選択した画像を画面全体に表示します。選択したフォルダ内の画像を順に1枚ずつ再生します。	P.55、 58
	プロパティ	選択した画像のヒストグラムや撮影情報の表示／非表示を切り替えます。	P.82
	コレクション領域を 表示	A と B のコレクション領域の表示／非表示を切り替えます。	P.66
	分類チェックマーク 絞り込み表示	絞り込み表示を切り替えるための絞り込みパレットとサムネイル枠の分類チェックマークの表示／非表示を切り替えます。	P.64
	画像編集ウィンドウを 開く	画像編集ウィンドウを開きます。	P.136
	登録アプリケーション を起動	環境設定で指定したアプリケーションソフトを起動します。	P.93、 193
	RAW 現像	RAW データの現像処理を行います。	P.155
	バッチ処理	バッチ処理ダイアログを開きます。	P.181
	カメラコントロール ウィンドウを開く	カメラコントロールウィンドウを開きます。	P.200
	名前の一括変更	複数の画像の名前を命名規則にしたがって一括変更します。	P.98
	印刷	選択した画像を印刷します。	P.114

	画像の取り込み	カメラまたはメディアからパソコンに画像を取り込みます。	P.34
	フォーマット変換	画像の保存形式を変換して保存します。	P.106
	E-mail 送信	選択した画像をサイズ変更して E-mail に添付します。	P.131
	環境設定	分類チェックマークのカスタマイズやカラーマネージメントの設定などを行います。	P.251
	ヘルプ	オンラインヘルプを表示します。	P.275



- ツールバー上のボタンを削除したり、アイコンのサイズを変更することができます。

- 1 [ツール] メニューから [ツールバーのカスタマイズ] を選択する。  
[ツールバーの変更] ダイアログが表示されます。




- 2 ツールバーボタンを追加または削除する。  
追加する場合は、[利用できるツールバーボタン] 欄から追加するボタンを選択し、[追加] ボタンをクリックします。削除する場合は、[現在のツールバーボタン] 欄から削除するボタンを選択し、[削除] ボタンをクリックします。[上へ] [下へ] ボタンでボタンの並びを変更することができます。
- 3 アイコンの大きさを変更する。  
[アイコンのオプション] のプルダウンリストから [大きいアイコン] または [小さいアイコン] を選択します。
- 4 操作が終了したら、[閉じる] ボタンをクリックする。

## 表示モードの切り替え

ブラウズウィンドウの表示モードを切り替えます。画像の閲覧、選別、比較などの目的に応じて表示モードを切り替えます。

- 1** **【表示】メニューから【ブラウズモード】／【ビューモード】／【ライトボックスモード】を選択する。**  
または、ツールバーの【ブラウズモード】／【ビューモード】／【ライトボックスモード】アイコンをクリックする。



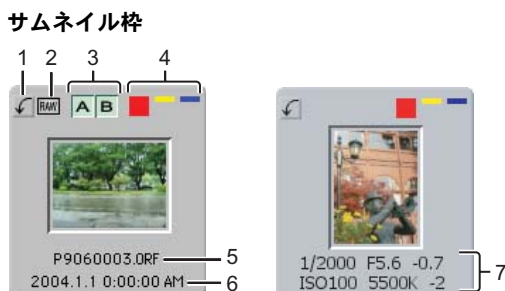
- ブラウズモードでサムネイル表示エリアの画像をダブルクリックすると、ビューモードに切り替わります。ビューモードで単画像表示エリアの画像をダブルクリックすると、ブラウズモードに切り替わります。
- 画像を画面全体に表示することもできます。「全画面表示する」P.55

# サムネイル表示エリアの操作

ブラウザウィンドウのブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードのいずれのモードでも、サムネイル表示エリアが表示されます。  
ここでは、サムネイル表示エリアの操作について説明します。

## サムネイル枠

サムネイル表示エリアで縮小表示される画像をサムネイル画像と呼びます。サムネイル画像はサムネイル枠の中にそれぞれ表示されます。サムネイル枠の中には縮小された画像だけでなく、ファイル名や撮影日時などの画像情報も表示されます。また、画像の回転や分類チェックマークの付加などの操作を行うこともできます。


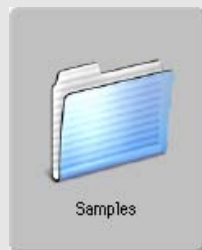


番号	項目	内容	参照頁
1	回転ボタン	クリックすると、画像が矢印の方向に回転します。[Shift] キーを押しながらクリックすると、逆方向に回転します。	P.60
2	RAW アイコン	画像が RAW データのときに表示されます。	—
3	コレクションアイコン	画像がコレクション領域に登録されているときに表示されます。	P.68
4	分類チェックマーク	分類チェックマークを付けます。	P.62
5	ファイル名	ファイル名を表示します。	P.53
6	撮影日時	撮影日時を表示します。	P.53
7	撮影情報	シャッター速度、絞り値、露出補正、ISO、ホワイトバランス、ホワイトバランス補正の撮影情報を表示します。	P.53



ヒント

- 選択したフォルダの中にさらにフォルダがある場合は、サムネイル枠にサブフォルダアイコンが表示されます。サブフォルダアイコンは表示／非表示を切り替えることができます。

 「サムネイル枠の表示項目を設定する」P.53サブフォルダ  
アイコン

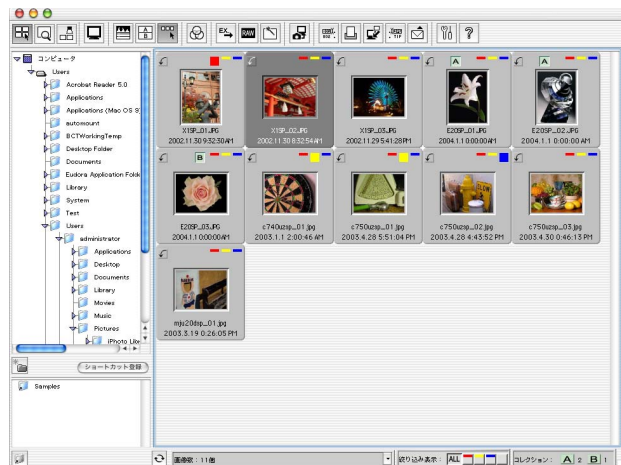


## サムネール一覧を表示する

### 1 ブラウズモードでフォルダツリーからフォルダを選択する。

サムネイル表示エリアに選択したフォルダ内の画像が一覧表示されます。

#### ブラウズウィンドウ（ブラウズモード）



## サムネイル枠の表示項目を設定する

ファイル名、撮影日時、撮影情報、回転ボタン、RAW アイコン、分類チェックマーク、フォルダが表示できます。ファイル名、撮影日時と撮影情報を同時に表示することはできません。

### 1 [表示] メニューの [サムネール一覧の表示項目] から表示させたい項目にチェックマークを付ける。

## サムネイルの表示順を設定する

ファイル名、撮影日時、分類チェックマーク、またはフォーマットのいずれかの順にサムネイルを表示することができます。さらに、昇順と降順を入れ替えることもできます。

**1** [表示] メニューの [並べ替え] から表示順を選択する。

**2** [表示] メニューの [並べ替え] から [昇順] または [降順] を選択する。



ヒント

- 撮影日時順、分類チェックマーク順、またはフォーマット順のいずれかを選択した場合で、撮影日時、分類チェックマーク、またはフォーマットが同じ画像が複数ある場合は、ファイル名で並び順が決まります。

## サムネイルの表示サイズを設定する

表示サイズは最小 (80 × 80 ピクセル)、小 (120 × 120 ピクセル)、中 (160 × 160 ピクセル)、大 (200 × 200 ピクセル)、最大 (240 × 240 ピクセル) の 5 種類から選択できます。

**1** [表示] メニューの [サムネイル表示サイズ] から表示サイズを選択する。

# 全画面表示／スライドショー表示

ブラウザウィンドウのブラウザモード、ビューモード、ライトボックスモードで画像を全画面表示、スライドショー、マルチモニタで表示する操作について説明します。

## 全画面表示する

選択した画像を画面全体に表示します。ツールパレットが表示されますので、ツールパレットのボタン操作で画像の削除、拡大、分類チェックマークを付けるなどの操作を行うことができます。

- 1** **【表示】メニューから【全画面表示／スライドショー】を選択する。または、ツールバーの【全画面表示／スライドショー】アイコンをクリックする。**

全画面表示する画像をサムネイル表示エリア、単画像表示エリア、コレクション領域から選択し、メニューまたはアイコンを選択します。

画像が画面全体に表示されます。

### 全画面表示



## その他の操作で全画面表示するには

次の操作で全画面表示することもできます。

- サムネイル表示エリア、単画像表示エリア、コレクション領域で画像を選択して、[Shift] キーを押しながらダブルクリックする。
- サムネイル表示エリア、単画像表示エリア、コレクション領域で画像を選択して、[Shift] キーを押しながら [Enter] キーを押す。
- 画像比較エリアで、画像をダブルクリックする。

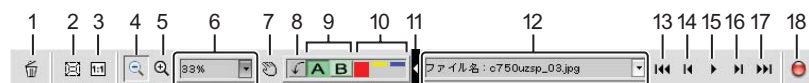
## 全画面表示を解除するには

次の操作で全画面表示を解除します。

- [Esc] キーを押す。
- 画像をダブルクリックする。

## ツールパレット

### ツールパレット



番号	項目	内容	参照頁
1	削除	画像を削除します。	—
2	画面にフィット	画像全体が画面に表示されるように表示倍率を自動調整して表示します。	—
3	実サイズで表示	画像の実際のサイズで表示します。	—
4	ズームアウトモード	カーソルが虫眼鏡カーソル（-）に変わります。画像上でクリックすると、縮小表示します。	—
5	ズームインモード	カーソルが虫眼鏡カーソル（+）に変わります。画像上でクリックすると、拡大表示します。	—
6	表示倍率	現在の表示倍率が表示されます。プルダウンリストから表示倍率を選択して、画像を拡大表示したり、縮小表示したりできます。	—
7	スクロールモード	カーソルが手のひらカーソルに変わります。画像上でドラッグすると、画像がスクロールします。	—
8	回転	画像を左または右方向に 90 度回転させます。	P.60

9	コレクション ボタン	単画像表示エリアに表示されている画像をコレクション領域に画像を振り分けます。	P.67
10	分類チェック マーク	[赤] [黄] [青] のアイコンをクリックして、画像をグループに分けます。同一の分類チェックマークが付いた画像だけをサムネイル表示エリアに表示することができます。	P.62
11	ツールパレット全 体表示	ツールパレットの全体を表示したり、一部を非表示にしたりします。	—
12	ステータス ボックス	全画面表示されている画像に関する情報（ファイル名、撮影日時、表示位置、または表示倍率）を表示します。プルダウンリストで表示項目を切り替えます。	—
13	最初の画像	サムネイル表示エリアの表示順で、最初に表示されている画像を表示します。	—
14	前の画像	サムネイル表示エリアの表示順で、表示されている画像の一つ前の画像を表示します。	—
15	スライドショー	選択したフォルダ内の画像を一定間隔で順に再生します。	P.58
16	次の画像	サムネイル表示エリアの表示順で、表示されている画像の次の画像を表示します。	—
17	最後の画像	サムネイル表示エリアの表示順で、最後に表示されている画像を表示します。	—
18	ツールパレットを 隠す	ツールパレットを閉じます。	—



注意

- コレクション領域の画像を全画面表示しているときは、画像の削除はできません。
- 画像比較エリアの画像を全画面表示しているときは、[前の画像] [次の画像] ボタンなどを操作して前後の画像を表示することはできません。




ヒント

- 全画面表示中に画面をクリック（Macintosh の場合は [Control] キーを押しながらクリック、Windows の場合は右クリック）すると、メニューが表示されます。メニューでは、ツールパレットと同様の操作ができます。
- マルチモニタの設定をしているときは、ブラウザモードでサムネイル表示エリアの画像をダブルクリックすると、別のモニタに選択した画像が全画面表示されます。🔍「マルチモニタで表示する」P.59
- 画像と画面の間にできる余白の有無と余白部分の色を設定することができます。🔍「[全画面表示] タブを設定する」P.257

## スライドショーを表示する

全画面表示中の画像と同一フォルダ内の画像を一定間隔で順に再生します。再生の間隔は5秒（初期設定）です。

### 1 画像を全画面表示する。

 「全画面表示する」 P.55

### 2 ツールパレットの【スライドショー】アイコンをクリックする。

スライドショーが開始されます。

【スライドショー】アイコンが【一時停止】アイコンに自動的に変わります。



### スライドショーを停止するには

スライドショー中に、ツールパレットの【一時停止】アイコンをクリックすると、スライドショーが停止します。




- 画像比較エリアの画像は、スライドショーをすることができません。
- スライドショーを行っている間は、ツールパレットの一部の機能は使えません。



- 再生の間隔を変更することができます。  
 「[全画面表示] タブを設定する」 P.257
- 最後の画像を表示した後に最初の画像に戻って再生を続ける（ループ再生）ことができます。 「[全画面表示] タブを設定する」 P.257

## マルチモニタで表示する

複数のモニタを使用している場合に、別のモニタに対して全画面表示を行うことができます。マルチモニタの設定は環境設定で行います。

 「[全画面表示] タブを設定する」P.257

以下の操作を行ったときに、マルチモニタに画像が全画面表示されます。

- ブラウズモードのサムネイル表示エリアで画像を選択して、全画面表示させたとき
- ビューモードで単画像表示エリアに画像を表示させたとき
- カメラコントロールウィンドウを使用して撮影を行ったとき



注意

- マルチモニタに設定している場合、マルチモニタに表示されるツールパレットの一部の機能は使えません。この場合、OLYMPUS Studio を起動しているモニタ（メインモニタ）で操作してください。

# 画像の回転

サムネイル枠の「回転」ボタンまたはメニューバーの「画像の回転」を選択して、画像を回転します。



## JPEG 画像のロスレス回転について

- OLYMPUS Studio では、JPEG の画像データを再圧縮することなく回転することができます。これを、ロスレス回転といいます。JPEG は、不可逆圧縮方式（圧縮時にデータが劣化する）のため、一度圧縮した画像を回転し、保存しただけで画像中に JPEG 特有のノイズがのってしまいます。ロスレス回転では、このような再圧縮処理を行わず JPEG を回転させることが可能です。ただし、画像の幅および高さが 8 の倍数でない JPEG の画像データを回転させたときは、ロスレス回転がすぐに実行されずに、処理方法を選択するためのダイアログが表示されます。ダイアログでは、画像をトリミングしてロスレス回転を実行するか、画像をトリミングしないで通常の回転を実行するか、を選択します。

## 1 サムネイル表示エリアで回転する画像を選択する。

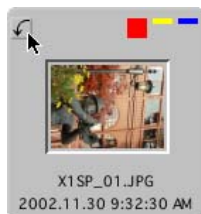
複数の画像を選択するときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- Macintosh (Mac OS 9) : [Shift] キー
- Macintosh (Mac OS X) : [Shift] または [Command] キー
- Windows : [Ctrl] キー

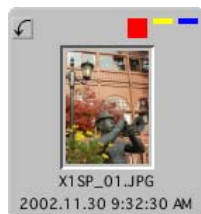
## 2 「編集」メニューの「画像の回転」から「右 90 度」「左 90 度」「180 度」を選択する。または、サムネイル枠の「回転」ボタンを繰り返しクリックする。

選択した画像が指定した方向に回転します。

### サムネイル枠



クリックする



回転します





- RAW 画像ファイルの場合は、回転の操作を行うと表示は回転しますが、画像データ自体は変更されず、回転の情報を画像情報として記録します。





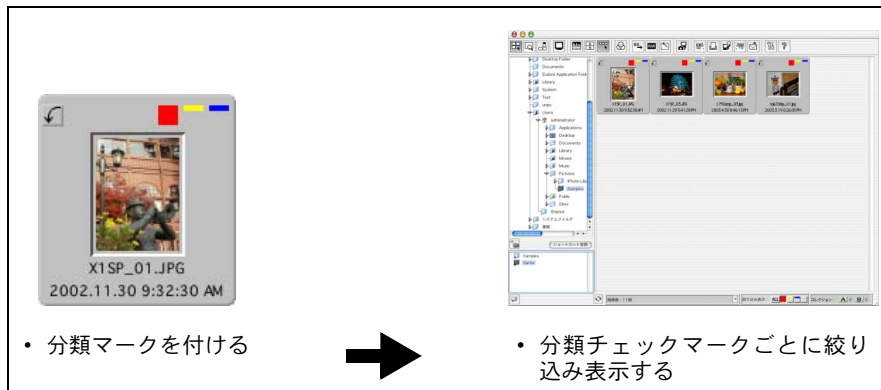
ヒント

- サムネイル枠の〔回転〕ボタンをクリックして画像を回転させると、左方向に90度回転します。〔回転〕ボタンの動作を「左90度」から「右90度」に変更することができます。「[ブラウズ] タブを設定する」P.255
- [Shift] キーを押しながら〔回転〕ボタンをクリックすると、逆方向に回転します。
- Exif画像を回転させる場合は、画像情報のみを変更し画像データ自体は回転させないか、画像データ自体も回転させるかを設定することができます。「[ブラウズ] タブを設定する」P.255

# 分類チェックマークを使う

一つ一つの画像に対して分類チェックマーク機能を利用すると、3つのカテゴリーに分類することができます。

分類した画像はブラウザウィンドウのすべての表示モードでサムネイル表示エリアにカテゴリー別に表示することができます。



## 分類チェックマークを付ける

分類チェックマークは、サムネイル枠の右上に表示されています。分類チェックマークの初期設定は赤、黄、青の3色のアイコンが用意されています。3色のアイコンのいずれかをクリックすると、画像に分類チェックマークが付いた（分類された）状態になります。

### 1 サムネイル枠の分類チェックマークをクリックする。

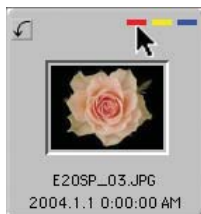
3色のアイコンのいずれかをクリックします。

[1]、[2]、[3]の各キーを押して、分類チェックマークを付けることもできます。

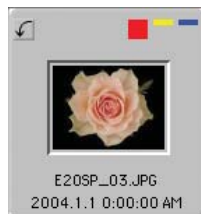
複数の画像を選択した状態で分類チェックマークを付けると、すべての画像に同じ分類チェックマークが付きます。

複数の画像を選択するときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- Macintosh (Mac OS 9) : [Shift] キー
- Macintosh (Mac OS X) : [Shift] または [Command] キー
- Windows : [Ctrl] キー



クリックする



分類された状態



注意

- サムネイル枠に分類チェックマークが表示されていないときは、[表示]メニューから[サムネイル一覧の表示項目-分類チェックマーク]を選択します。☞「サムネイル枠の表示項目を設定する」P.53
- 1つの画像に付けられる分類チェックマークは1種類です。
- 書き込み禁止のメディア（CD-ROM など）の画像に対して、分類チェックマークを付けたり、チェックマークの状態を変更することはできません。

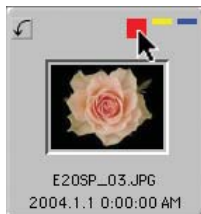


ヒント

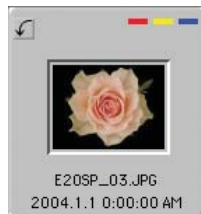
- 単画像表示エリアでは、単画像表示している画像に対してエリア右上の分類チェックマークアイコンを使って分類チェックマークを付けることができます。☞「ビューモード」P.44
- 全画面表示のツールパレットからも、分類チェックマークを付けることができます。☞「全画面表示する」P.55

## 分類チェックマークを解除する

### 1 分類された状態の分類チェックマークをクリックする。



分類された状態



解除されます



注意

### 分類チェックマークのデータファイルについて

- 分類チェックマークの情報は、「データファイル」に記憶されます。データファイルは、分類チェックマークを付けると自動的に作成され、チェックマークを付けた画像のあるフォルダ内に保存されます。
- 他のアプリケーションソフトで分類チェックマークのデータファイルを削除すると、分類チェックマークが画像から消えてしまいますのでご注意ください。



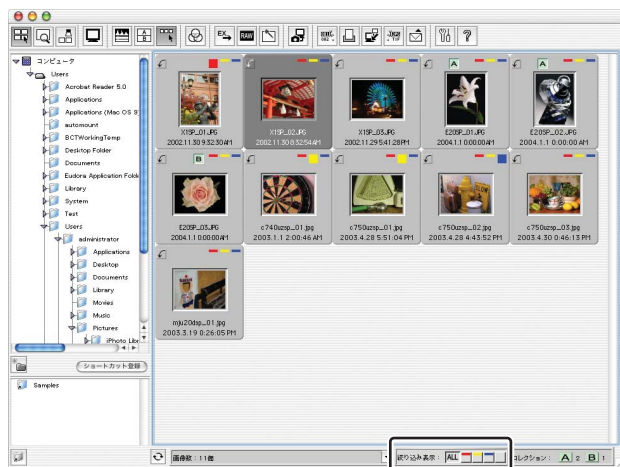
ヒント

- 分類チェックマークのアイコンを、好きな色や記号にカスタマイズすることができます。☞「[分類チェックマーク] タブを設定する」P.260
- 分類チェックマークを記憶するデータファイルを一括削除することができます。☞「[分類チェックマーク] タブを設定する」P.260

## 絞り込み表示する

絞り込みパレットを使って、サムネイル表示エリアに分類チェックマークの種類別に画像を表示します。絞り込みパレットを使うと、分類チェックマークごとの画像の表示切り替えが簡単にできます。

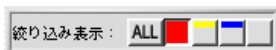
- 1 **【表示】メニューから【分類チェックマーク絞り込み表示－絞り込みパレットを表示】を選択する。**  
または、ツールバーの**【分類チェックマーク絞り込み表示】アイコンをクリックする。**



絞り込みパレットがウィンドウ下部に表示されます。

- 2 **絞り込みパレットを操作して、サムネイル表示エリアの表示を切り替える。**

### 絞り込みパレット



【ALL】：フォルダ内のすべての画像を表示します。

【赤】：【赤】の分類チェックマークを付けた画像のみを表示します。

【黄】：【黄】の分類チェックマークを付けた画像のみを表示します。

【青】：【青】の分類チェックマークを付けた画像のみを表示します。

【無し】：分類チェックマークの付いていない画像のみを表示します。



- 絞り込みパレットでは、複数の選択を組み合わせることで表示を切り替えることができます。[赤]と[青]を選択した場合、[赤]と[青]のどちらかの分類チェックマークが付いた画像がサムネイル表示エリアに表示されます。
- 絞り込みパレットの[赤]、[黄]、[青]、[無し]のすべてを選択すると、自動的に[ALL]が選択状態になり、サムネイル表示エリアにフォルダ内のすべての画像が表示されます。


# コレクション領域を使う

ブラウザウィンドウには、サムネイル表示エリアの画像を一時的に保存しておくコレクション領域があります。A と B の 2 つのコレクション領域を利用して、画像の振り分け・整理などを行います。


コレクション領域は、仮の領域です。画像をコレクション領域に振り分けただけでは、画像の保存場所は変わりません。画像を振り分けた後、現在の保存場所とは別のフォルダにコレクション別に保存したい場合は、画像を移動したり、コピーすることができます。

コレクション領域は、表示モードによって表示方法および形式が異なります。


## 1 サムネイル表示エリアで画像を選択し、コレクション領域 A、B に振り分ける。

 「画像を振り分ける」 P.68

## 2 コレクション領域 A、B それぞれに振り分けられた画像を確認する。

 「確認する」 P.70

## 3 確認した画像を別フォルダにコピーまたは移動する。

 「保存する」 P.72

## ●ブラウズモードでコレクション領域を使う

[表示] メニューから [コレクション領域を表示] を選択するか、ツールバーの [コレクション領域を表示] アイコンをクリックすると、コレクション領域が表示されます。コレクション領域が非表示のときは、ウィンドウの下部にあるコレクションボタンを使って画像の振り分けを行うことができます。

### ・ コレクション領域を表示

コレクション領域

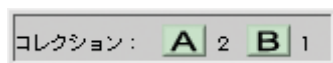


コレクションボタン



### ・ コレクション領域を非表示

コレクションボタン



## ●ビューモードでコレクション領域を使う

ビューモードにはコレクション領域はありません。単画像表示エリアの右上にあるコレクションボタンをクリックして、画像の振り分けを行います。

コレクションボタン



## ●ライトボックスモードでコレクション領域を使う

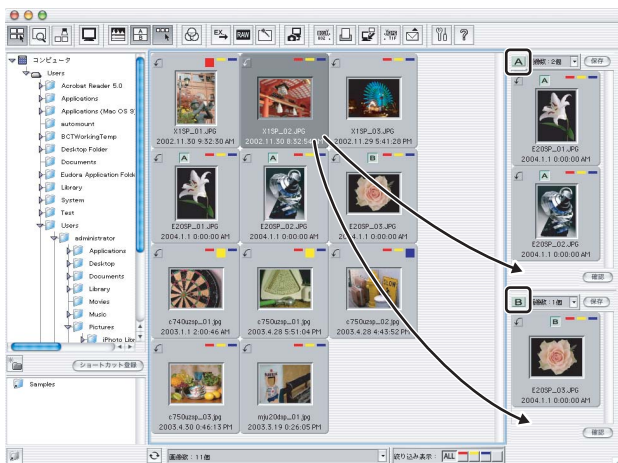
ブラウズモードと同じコレクション領域が表示されます。ただし、コレクション領域を非表示にすることはできません。

## 画像を振り分ける

サムネイル表示エリアの画像をコレクション領域に振り分けます。

- 1 サムネイル表示エリアの画像をコレクション領域へドラッグ&ドロップする。  
または、サムネイル表示エリアで画像を選択して、[A] または [B] のコレクションボタンをクリックする。

### コレクション領域



サムネイル枠にコレクションアイコンが表示されます。

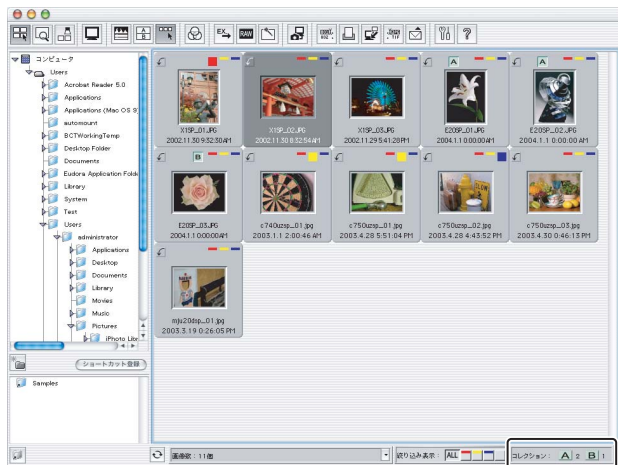
### サムネイル枠





コレクション領域非表示時でも、ボタンによる振り分けが可能です。[A] または [B] のコレクションボタンをクリックするか、ボタン横のファイル数が表示されている場所に画像をドラッグ&ドロップします。

### コレクション領域非表示



### 画像の振り分けを解除する

コレクション領域で解除する画像を選択し、以下のいずれかの操作を行います。

- サムネイル表示エリアにドラッグ&ドロップする。
- [ファイル] メニューから [削除] を選択する。
- [Delete] キーを押す。



注意

- ブラウズウィンドウを終了すると、コレクション領域に振り分けた結果は保持されません。次回起動したとき、前回振り分けた結果は表示されません。



ヒント

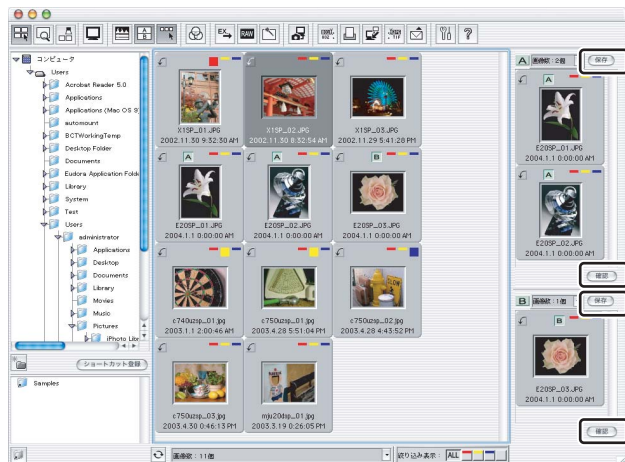
- A と B のコレクション領域間で画像をドラッグ&ドロップして、画像を移動することができます。Macintosh では [Option] キーを押しながら、Windows では [Ctrl] キーを押しながらコレクション領域間でドラッグ&ドロップすると、画像はコピーされます。
- 1 つの画像を A と B 両方のコレクション領域に振り分けることができます。

## 振り分けた画像の確認と保存

コレクション領域へ登録した画像は、一覧表示して確認することができます。また必要に応じて、コレクションごとにまとめて現在のフォルダとは別フォルダにコピーまたは移動することもできます。

画像の確認と保存は、コレクション領域で行います。コレクション領域が非表示のときや、ビューモードでは、確認と保存の操作はできません。

### コレクション領域

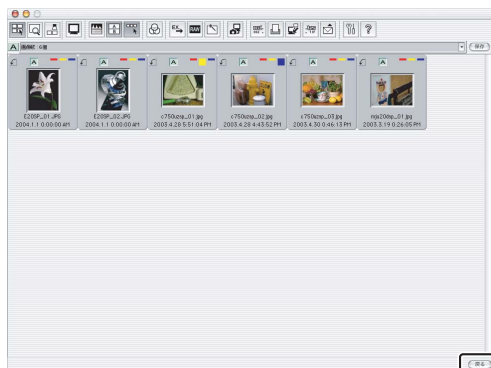


## ● 確認する

### 1 コレクション領域の「確認」ボタンをクリックする。

登録した画像がサムネイル一覧表示されます。

ウィンドウ右下の「戻る」ボタンをクリックすると、元の表示モードに戻ります。

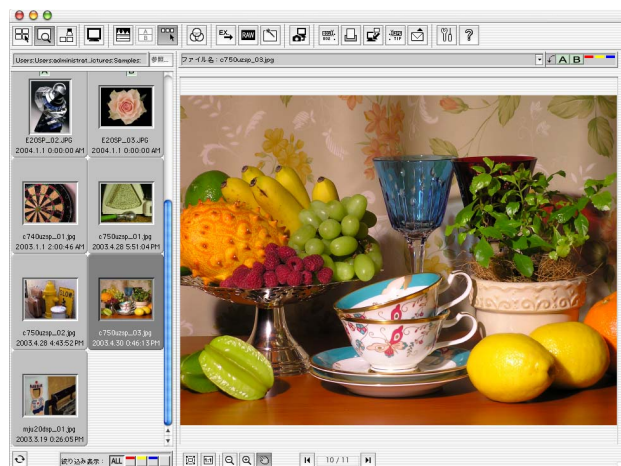


## 2 拡大表示して確認したい画像のサムネイルをダブルクリックする。

コレクションビューモードが表示されます。

単画像表示エリアをダブルクリックするか、[Esc] キーを押すと、元の表示モードに戻ります。


### コレクションビューモード



ヒント

### コレクションビューモードについて

- ・ ビューモードと同様の画面で、コレクション領域に登録されている画像を表示します。画像を拡大表示して、細部を確認することができます。

 「ビューモード」P.44


## ● 保存する

## 1 コレクション領域の「保存」ボタンをクリックする。

「コレクションの選定」ダイアログが表示されます。

## 「コレクションの選定」ダイアログ



項目	内容
場所	選択したファイルの保存先を指定します。
「ショートカット参照」	登録してあるショートカットの一覧を表示する場合にクリックします。一覧から選択すると、フォルダツリーの選択位置がショートカットのリンク先に移動します。  「フォルダのショートカットを作成する」P.109
フォルダツリー	保存先のフォルダを選択します。
「新規フォルダ」	選択したファイルの保存先として、フォルダを新規作成する場合にクリックします。フォルダツリーで選択したドライブまたはフォルダ内に新しいサブフォルダを作成します。
選定方法	画像の保存方法を「コピー」、または「移動」から選択します。「移動」を選択すると元の保存先から削除されますので、注意してください。
「キャンセル」	コレクションの選定を取り消します。
「OK」	画像をフォルダツリーで選択したフォルダにコピー、または移動します。

## 2 保存先のフォルダを選択する。

フォルダを新規作成することができます。[新規フォルダ] ボタンをクリックすると、選択したドライブまたはフォルダ内に新規でサブフォルダを作成します。

## 3 選定方法を選択する。

[コピー] または [移動] のボタンをクリックします。

## 4 [OK] ボタンをクリックする。

選択したフォルダまたは新規作成したサブフォルダにコレクション領域の画像が保存されます。




注意

- AとB両方のコレクション領域に登録されている画像に対しては、手順3で[移動] を選択してもコピーが実行されます。
- 読み取り専用のメディア内の画像ファイルに対して [移動] を選択すると、確認のメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、移動ではなくコピーが実行されます。
- コレクション領域に振り分けた画像を保存せずにブラウザウィンドウを終了すると、警告メッセージが表示されて振り分けた結果は失われます。

# 画像比較エリアを使う

画像比較エリアでは、サムネイル表示エリアから選択した画像を並べて表示することができます。画像を比較・吟味して複数枚の候補からベストショットを選び出すのに便利な機能です。

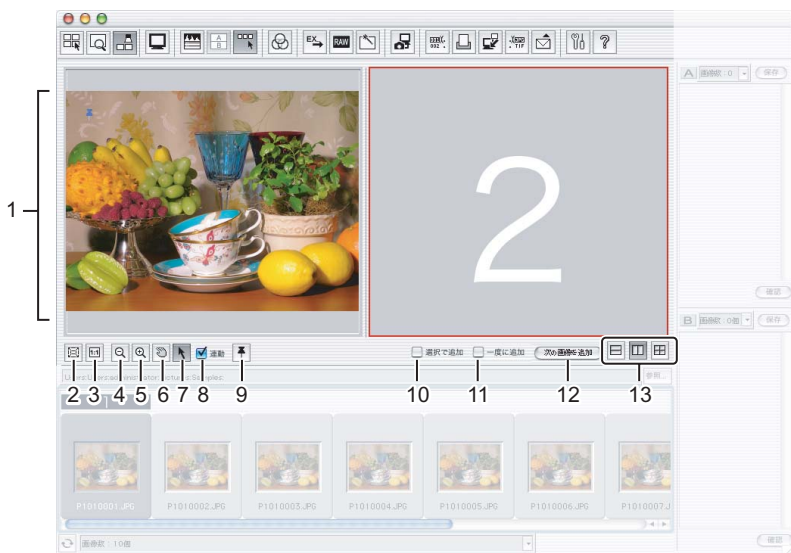
画像比較エリアは、表示モードをライトボックスモードに切り替えて使用します。

 「表示モードの切り替え」 P.50

## 画像比較エリアについて




画像比較エリアの各部名称と機能について説明します。

### ライトボックスモード



表示レイアウトが横 2 分割の場合

番号	項目	内容
1	画像比較エリア	サムネイル表示エリアの画像を登録して表示し、複数の画像の比較を行います。画像比較エリアの番号が表示され、表示レイアウトが2分割の時は1、2が、4分割の時は1、2、3、4が表示されます。表示レイアウトは「表示レイアウト切り替え」ボタンで変更することができます。
2	画面にフィット	画像全体が画像比較エリアに表示されるように画像の表示倍率を自動調整して表示します。
3	実サイズで表示	画像の実際のサイズで表示します。
4	ズームアウトモード	カーソルが虫眼鏡カーソル（－）に変わります。画像上でクリックすると、縮小表示します。
5	ズームインモード	カーソルが虫眼鏡カーソル（＋）に変わります。画像上でクリックすると、拡大表示します。
6	スクロールモード	カーソルが手のひらカーソルに変わります。画像上でドラッグすると、画像がスクロールします。[Shift]キーを押しながらカーソルを動かすと、一時的にポインタツールに切り替わります。
7	ポインタツール	画像を選択したり、コレクション領域へドラッグ＆ドロップするときに使用します。
8	連動	チェックマークを付けると、画像比較エリアの1画像に対して行った操作（ズームイン、スクロールなど）が、画像比較エリアの他の画像にも連動して適用されます。ただし、各比較領域の現在のスクロール位置は、チェックマークを付けても変化しません。同じ構図で設定値のみを変えて撮影した複数の画像を比較したい場合、画像比較エリアにそれらの画像を表示して、画像のある部分を同時に拡大して比較する、というような使い方ができます。[Shift]キーを押しながら操作すると、一時的に連動機能がオフになります。
9	画鋏	比較して気に入った画像や比較の対象になる画像を、画像比較エリアに保持しておくことができます。[画鋏]ボタンをクリックすると、画像比較エリアに[画鋏]アイコンが表示されます。この画像比較エリアには、他の画像を登録することができません。[画鋏]ボタンを再度クリックする、または[画鋏]アイコンをクリックすると、画鋏は外れます。
10	選択で追加	チェックマークを付けると、サムネイル表示エリアの画像を選択（クリック）するだけで画像比較エリアに登録されます。
11	一度に追加	チェックマークを付けると、1つの画像を選択するだけで画鋏アイコンが表示されていない比較エリアに複数の画像が自動的に登録されます。

12	[次の画像を追加]	サムネイル表示エリアで選択している画像の次の画像が画像比較エリアに登録されます。
13	[表示レイアウト切り替え]	画像比較エリアのレイアウトを  縦2分割、  横2分割、  4分割にそれぞれ切り替えます。



## 画像比較エリアに画像を表示する

画像比較エリアにサムネイル表示エリアの画像を登録し、表示させます。  
登録方法は以下の5通りがあります。

- 画像をドラッグ&ドロップ
- 画像をダブルクリック
- [選択で追加] チェックボックス
- [一度に追加] チェックボックス
- [次の画像を追加] ボタン

画像を画像比較エリアに表示するときは、以下について注意してください。

- 赤色の枠で表示されているエリアが画像の対象エリアとなりますので、画像を登録する前に対象エリアを選択して赤色の枠で表示させます。
- ドラッグ&ドロップで画像を登録する場合は、画像比較エリアの選択状態に関わらず、自由に画像を登録できます。
- 画紙の留めてあるエリアには画像を登録することはできません。
- 1つの画像を複数のエリアに登録することはできません。

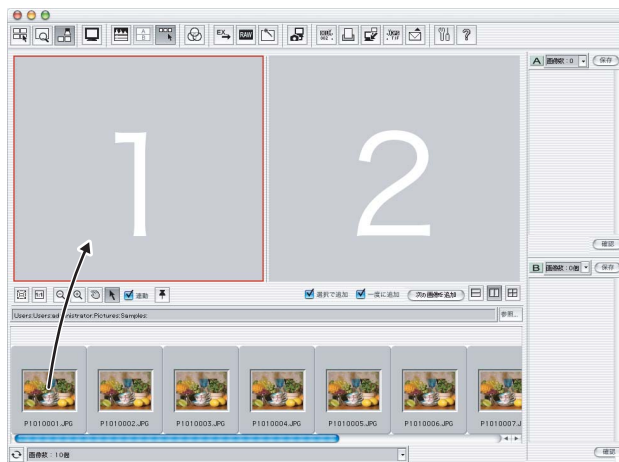
### ● 画像をドラッグ&ドロップする

画像をドラッグ&ドロップして、画像比較エリアに登録します。

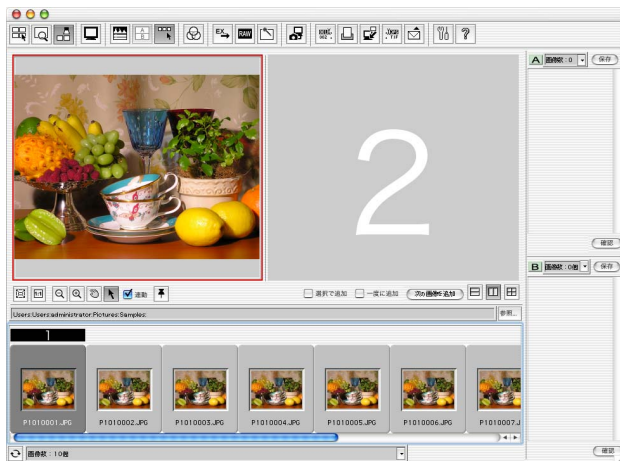
#### 1 サムネイル表示エリアの画像を画像比較エリアにドラッグ&ドロップする。

複数の画像を選択して、ドラッグ&ドロップすることもできます。

#### ライトボックスモード



画像比較エリアに選択した画像が登録されます。



- 画像比較エリアに登録すると、サムネイル枠の上部（4分割時）または左側（2分割時）に画像比較エリア番号が表示されます。4分割表示から2分割表示に変更して3と4の領域が隠れると淡色表示されます。



### ● 画像をダブルクリックする

画像をダブルクリックして、画像比較エリアに登録します。

- 1** 画像に登録する画像比較エリアを選択する。
- 2** サムネイル表示エリアの画像をダブルクリックする。  
画像比較エリアに選択した画像が登録されます。

## ●【選択で追加】チェックボックスを使う

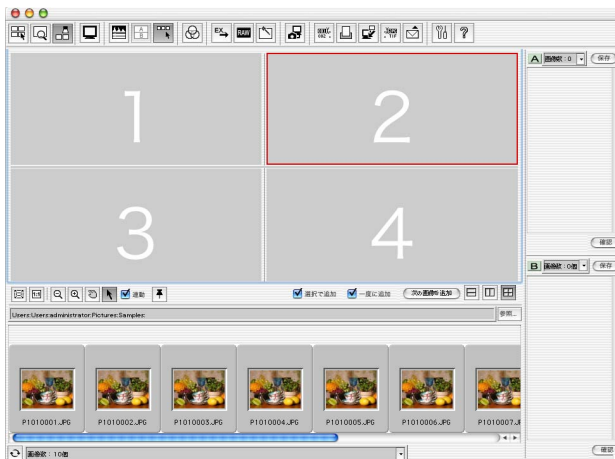
サムネイル表示エリアの画像を選択（クリック）するだけで、画像を画像比較エリアに登録できます。

- 1 【選択で追加】にチェックマークを付ける。
- 2 画像を登録する画像比較エリアを選択する。
- 3 サムネイル表示エリアの画像を選択（クリック）する。  
画像比較エリアに選択した画像が登録されます。

## ●【一度に追加】チェックボックスを使う

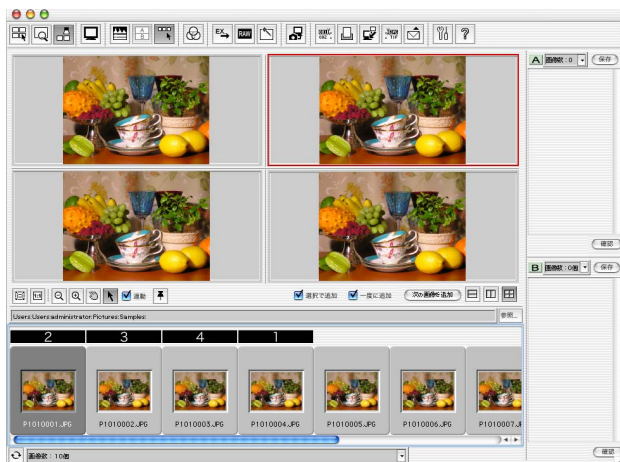
1つの画像を選択するだけで、複数の画像を画像比較エリアに登録できます。

- 1 【一度に追加】にチェックマークを付ける。
- 2 画像を登録する画像比較エリアを選択する。  
ここでは2を選択しています。



### 3 サムネイル表示エリアの画像を選択（クリック）する。

手順2で選択した番号以降の画像比較エリアに、サムネイル表示エリアで選択した連続する画像が登録されます。ここでは2、3、4、1に画像が登録されます。

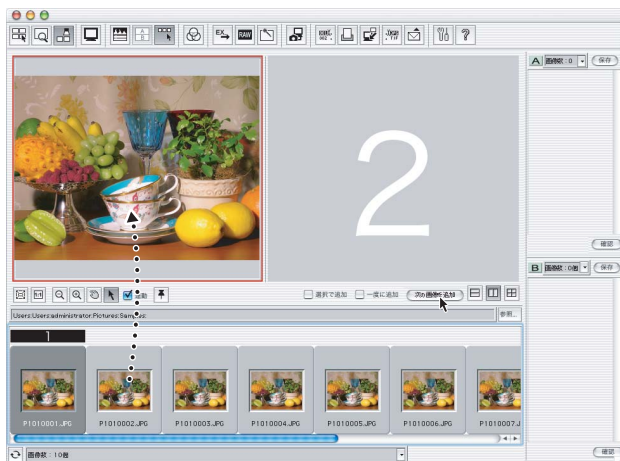


### ●【次の画像を追加】 ボタンを使う

【次の画像を追加】 ボタンをクリックするたびに、サムネイル表示エリアで選択されている画像の次の画像が画像比較エリアに登録されます。【画鋏】 ボタンと組み合わせて使うと便利な機能です。

### 1 【次の画像を追加】 ボタンをクリックする。

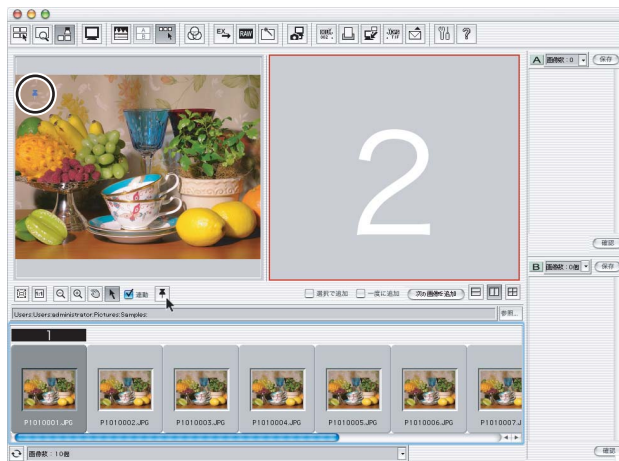
選択した画像比較エリアに、サムネイル表示エリアで選択されている画像の次の画像が登録されます。ベストショット候補となる画像が見つかるまで、繰り返し【次の画像を追加】 ボタンをクリックします。



## 2 候補となる画像が見つかったら、[画鋏] ボタンをクリックする。

選択している画像比較エリアの画像上に「画鋏」アイコンが表示されます。

自動的に、次の画像比較エリアが選択された状態になります。



## 3 再度 [次の画像を追加] ボタンをクリックする。

手順 2 で選択された画像比較エリアに、サムネイル表示エリアで選択されている画像の次の画像が登録されます。ベストショット候補となる画像が見つかるまで、繰り返し [次の画像を追加] ボタンをクリックします。

## ● 画像比較エリアから画像を削除する

画像比較エリアに登録した画像を削除して、空きエリアにする方法を説明します。


## 1 画像比較エリアで画像を選択して、[Delete] キーを押す。

画像比較エリアの画像が削除されます。



ヒント

- 画像比較エリアを使って選び出したベストショットは、コレクション領域に振り分けて、別のフォルダにコピーまたは移動することができます。

 「画像を振り分ける」P.68、「振り分けた画像の確認と保存」P.70

## 画像情報の表示

サムネイル表示エリアに表示された画像のヒストグラムやシャッター速度、画素数などの画像情報は、プロパティ領域に表示されます。プロパティ領域の表示は、初期設定では非表示に設定されています。ブラウズウィンドウのブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードの表示モードごとに、プロパティ領域の表示／非表示を設定することができます。

表示される内容は、カメラおよび記録形式によって異なります。

### プロパティ領域を表示する

- 1 サムネイル表示エリアで、プロパティを表示する画像を選択する。
- 2 ブラウズウィンドウで【ファイル】メニューから【プロパティ】を選択する。  
または、ツールバーの【プロパティ】アイコンをクリックする。  
ブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードの表示モードとも、ウィンドウの右側にプロパティ領域が表示されます。  
プロパティ領域表示中に別の画像を選択すると、プロパティ領域の表示内容が切り替わります。

## プロパティ領域



項目	内容
ヒストグラム	画像の輝度分布を表示します。左側の境界線より外側に分布が集中しているときは、画像が黒くつぶれ気味であることを示します。右側の境界線より外側に分布が集中しているときは、画像が白くとび気味であることを示します。
[一般] タブ	一般的な撮影情報が、機材情報、撮影情報、画像情報の3つのカテゴリーに分類されて表示されます。撮影日時およびコメントの編集は [一般] タブで行います。
[Exif] タブ	Exif に対応したカメラで撮影された画像の Exif タグの内容をすべて表示します。

## 【一般】タブ

各カテゴリーのタイトルの左側にある [▼] アイコンをクリックすると、カテゴリーの表示／非表示を切り替えることができます。

### 【一般】タブ



各カテゴリーで表示される情報は以下の通りです。

## 機材情報

ファイル名、モデル名、カメラ ID、レンズ情報

## 撮影情報

焦点距離、シャッター速度、絞り値、露出補正、フラッシュ (+ フラッシュ補正)\*、ホワイトバランス (+ ホワイトバランス補正)\*、彩度、コントラスト、シャープネス、カラー設定、撮影モード (+AE ロック)\*、測光モード、ISO 感度、フォーカスモード、マクロ、ドライブ

\* ( ) 内の情報は設定値があるときのみ表示されます。

## 画像情報

フォーマット、画素数、色数、ファイルサイズ、ファイルの場所、更新日時、撮影日時、コメント

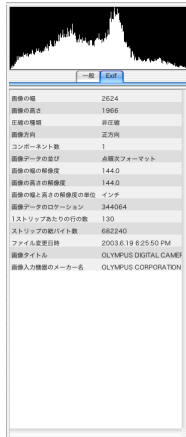


## [Exif] タブ

[Exif] タブに表示される情報には、以下の項目があります。

画像タイトル、画像入力機器のメーカー名、画像入力機器のモデル名、画像方向、ファイル変更日時、露出時間、F ナンバー、露出プログラム、ISO スピードレート、Exif バージョン、原画像データの生成日時、デジタルデータの作成日時、露光補正值、レンズ最小 F 値、測光方式、光源、フラッシュ、レンズ焦点距離、ユーザーコメント、対応フラッシュピックスバージョン、色空間情報、個別画像処理、露出モード、ホワイトバランス、デジタルズーム倍率、撮影シーンタイプ、ゲイン制御、撮影コントラスト、撮影彩度、撮影シャープネス など

## [Exif] タブ



画像の幅	2524
画像の高さ	1966
元データの解像度	非正規
画像方向	正方向
コンボネント数	1
画像データの並び	点順反フォーマット
画像の解の解像度	144.0
画像の解の解像度	144.0
画像の解と高次の解像度の単位	インチ
画像データのピクセル数	344064
1ストリップあたりの行数	130
ストリップの総行数	682340
ファイル変更日時	2003.6.18 6:25:50 PM
画像タイトル	OLYMPUS DIGITAL CAMERA
画像入力機器のメーカー名	OLYMPUS CORPORATION



注意

- カメラおよびファイルの記録形式によっては、プロパティ領域に表示されない項目もあります。

## コメントを編集する

Exif-JPEG、Exif-TIFF、RAW データの画像ファイルは、コメントを入力、変更することができます。

### 1 プロパティ領域の【一般】タブから画像情報を表示し、コメントの【編集】ボタンをクリックする。

【コメント編集】ダイアログが表示されます。

#### 【コメント編集】ダイアログ



項目	内容
コメント	コメントを入力します。半角 117 文字まで入力することができます。すでにコメントが入力されている場合は、コメントが表示されます。
【キャンセル】	コメントの編集を取り消します。
【OK】	入力したコメントを保存します。

### 2 コメント欄に入力し、【OK】ボタンをクリックする。

入力したコメントがプロパティ領域に表示されます。



注意

- Exif-JPEG、Exif-TIFF の場合、ファイルの記録状態によってはコメントの入力が行えない場合があります。

## 撮影日時を編集する



Exif-JPEG、Exif-TIFF、RAW データの画像ファイルは、撮影日時を変更することができます。

### 1 プロパティ領域の【一般】タブから画像情報を表示し、撮影日時の【修正】ボタンをクリックする。

【撮影日時の修正】ダイアログが表示されます。

#### 【撮影日時の修正】ダイアログ



項目	内容
現在の日時	すでに設定されている撮影日時が表示されます。
新しい日時	変更する撮影日時を設定します。プルダウンリストから年月日を選択し、   ボタンで時間を選択します。
【キャンセル】	撮影日時の修正を取り消します。
【OK】	変更した撮影日時を保存します。

### 2 新しい日時を設定し、【OK】ボタンをクリックする。

変更した撮影日時がプロパティ領域に表示されます。

# RAW 現像

RAW データの現像処理を行い、結果を画像ファイルに保存します。編集対象の画像ファイルが RAW Data (\*.orf) 形式の場合のみ設定可能です。複数の RAW データを一括して現像することもできます。

RAW データとは、ホワイトバランス、シャープネス、コントラスト、色変換などの現像処理を行っていない未加工のデータを指します。

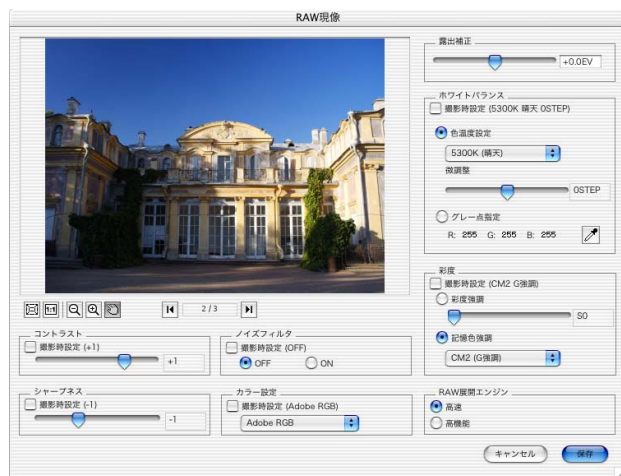
## 1 RAW データの画像を選択する。

画像ファイルが RAW Data (\*.orf) 形式の場合のみ選択できます。

## 2 [編集] メニューから [RAW 現像] を選択する。

[RAW 現像] ダイアログが表示されます。

### [RAW 現像] ダイアログ



注意

- RAW 現像は、RAW 形式の画像にのみ使用できます。その他の保存形式の画像を選択すると [RAW 現像] は淡色表示となり、設定できません。

### 3 項目を設定する。

手順 1 で選択した全ての RAW のデータに共通の設定が適用されます。

項目	内容
プレビュー領域	設定した現像処理の結果が表示されます。複数の RAW データの画像をサムネイル表示エリアで選択した場合は、 <b>[H]</b> <b>[H]</b> をクリックしてプレビューする画像を切り替えることができます。
露出補正	画像の露出を調整します。 つまみを左右にドラッグして、露出を手動で調整します。 0.1EV 単位で -2.0 ~ +2.0 の範囲で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。
ホワイトバランス	<p>画像のホワイトバランスを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 撮影時設定：           <p>チェックマークを付けると、撮影時のホワイトバランスの設定を使用します。右側に撮影時の設定値が表示されます。プリセットホワイトバランスが設定されている場合は [5300K (晴天) +3 STEP] のように表示され、ワンタッチホワイトバランスが設定されている場合は [ワンタッチ WB 1] のように表示されます。</p> </li> <li>• 色温度設定*：           <p>[3000K (電球)] ~ [7500K (晴天日陰)] の範囲で 12 段階の設定ができます。 微調整：スライダーのつまみを左右にドラッグして、色温度を手動で調整します。-7 ~ 7 STEP の範囲で 15 段階の設定ができます。</p> </li> <li>• グレー点指定*：           <p>[スポイト] ボタンをクリックすると、マウスカースオルがスポイト状になります。プレビュー領域の画像上の任意の点をクリックしてグレー点を指定します。このとき、クリックした点の RGB 平均値が [R]、[G]、[B] それぞれに表示されます。</p> </li> </ul>
彩度	<p>画像の色の濃さを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 撮影時設定：           <p>チェックマークを付けると、撮影時の彩度の設定を使用します。右側に撮影時の設定値が表示されます。</p> </li> <li>• 彩度強調*：           <p>スライダーのつまみを左右にドラッグして、彩度を手動で調整します。CS0 ~ CS4 の範囲で 5 段階の設定ができます。</p> </li> <li>• 記憶色強調*：           <p>事前に設定された [CM1 (R 強調)]、[CM2 (G 強調)]、[CM3 (B 強調)]、[CM4 (肌色強調)] の 4 項目から彩度を選択します。</p> </li> </ul>

コントラスト	<p>画像のコントラストを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>撮影時設定：             <p>チェックマークを付けると、撮影時のコントラストの設定を使用します。右側に撮影時の設定値が表示されます。</p> </li> <li>スライダー：             <p>つまみを左右にドラッグして、コントラストを手動で調整します。-2～2の範囲で5段階の設定ができます。</p> </li> </ul>
シャープネス	<p>画像の鮮鋭度を調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>撮影時設定：             <p>チェックマークを付けると、撮影時のシャープネスの設定を使用します。右側に撮影時の設定値が表示されます。</p> </li> <li>スライダー*：             <p>つまみを左右にドラッグして、シャープネスを手動で調整します。-3～3の範囲で7段階の設定ができます。</p> </li> </ul>
ノイズフィルタ	<p>画像処理時のランダムノイズ除去の有無を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>撮影時設定：             <p>チェックマークを付けると、撮影時のノイズフィルタの設定を使用します。右側に撮影時の設定値が表示されます。</p> </li> <li>OFF / ON*：             <p>ランダムノイズを除去する場合は ON を選択します。</p> </li> </ul>
カラー設定	<p>画像のカラー設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>撮影時設定：             <p>チェックマークを付けると、撮影時のカラー情報の設定を使用します。右側に撮影時の設定値が表示されます。</p> </li> <li>リスト*：             <p>[sRGB] / [Adobe RGB] / [ProPhoto RGB] からカラー設定を選択します。</p> </li> </ul>
RAW 展開エンジン	<p>RAW データを開くときの処理を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高速：             <p>RAW データの現像を高速モードで行います。</p> </li> <li>高機能：             <p>RAW データの現像を高機能モードで行います。</p> </li> </ul>
[キャンセル]	RAW 現像の設定を取り消します。
[保存]	現像処理後のファイル名やフォーマットを選択するための [保存先の指定] ダイアログが表示されます。

\* [撮影時設定] にチェックマークを付けると淡色表示となり、設定できません。


## 4 「保存」 ボタンをクリックします。

「保存先の指定」 ダイアログが表示されます。

### 「保存先の指定」 ダイアログ



項目	内容
フォルダ	[参照] ボタンをクリックして、画像の保存場所を指定します。
ファイル名	以下のいずれかのファイル名を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>オリジナルのファイル名： <p>現像処理の対象となった画像ファイルと同じ名前で保存します。</p> <p>[フォーマット] で異なるファイル形式が選択された場合は、拡張子のみが変更され別ファイルとして保存されます。</p> </li> <li>任意のファイル名： <p>チェックマークを付けると、ファイル名が自動的に付けられ保存されます。[命名規則] ボタンをクリックして [命名規則] ダイアログを表示し、命名規則を設定することもできます。</p> </li> </ul>
フォーマット	リストから保存する画像のフォーマットを指定します。
圧縮率	[フォーマット] から [Exif-JPEG] または [JPEG] を選択した場合のみ、指定することができます。[高画質]、[標準画質]、[低画質] から選択します。
コメント	チェックマークを付けると、画像保存時に付加するコメントを入力することができます。 [フォーマット] から [Exif-JPEG] または [Exif-TIFF] を選択した場合のみ、チェックマークを付けることができます。それ以外は淡色表示されます。

保存後、登録アプリケーションで開く	チェックマークを付けると、現像処理終了後、自動的に登録アプリケーションで現像処理後の画像が表示されます。  「登録アプリケーションの起動」P.193
[開始]	設定した条件で現像処理を実行します。
[キャンセル]	保存先の指定を取り消します。

## 5 項目を指定し、[開始] ボタンをクリックする。

[開始] ボタンをクリックすると、設定した現像処理が実行され、[保存先の指定] ダイアログで設定した内容で画像が保存されます。



注意

- オリンパス製E-1以外のカメラで撮影したRAWデータの画像は、[RAW 現像] ダイアログで設定できる現像処理機能に制限があります。



# 登録アプリケーションの起動

OLYMPUS Studio 以外の画像編集用のアプリケーションソフトウェアを起動して画像を開くことができます。起動するアプリケーションソフトウェアは、事前に環境設定で登録する必要があります。

## 1 サムネイル表示エリアで、登録アプリケーションソフトウェアで開く画像を選択する。

複数の画像を選択するときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- Macintosh (Mac OS 9) : [Shift] キー
- Macintosh (Mac OS X) : [Shift] または [Command] キー
- Windows : [Ctrl] キー

## 2 [編集] メニューから [登録アプリケーションを起動] を選択する。または、ツールバーの [登録アプリケーションを起動] アイコンをクリックする。

登録されているアプリケーションソフトウェアが起動します。

起動したアプリケーションソフトウェア上に、画像が表示されます。

操作についての詳細は、ご使用のアプリケーションソフトに付属の取扱説明書をご覧ください。



注意

### アプリケーションの事前登録

- アプリケーションソフトウェアは事前に登録する必要があります。登録は、[ツール] メニューから [環境設定] を選択すると表示される [環境設定] ダイアログで行います。[OS] 「[一般] タブを設定する」P.253



ヒント


- RAW 画像データは、OLYMPUS Studio により撮影時の設定で現像が行われた後、登録アプリケーション上に表示されます。

# フォルダ・ファイルの操作

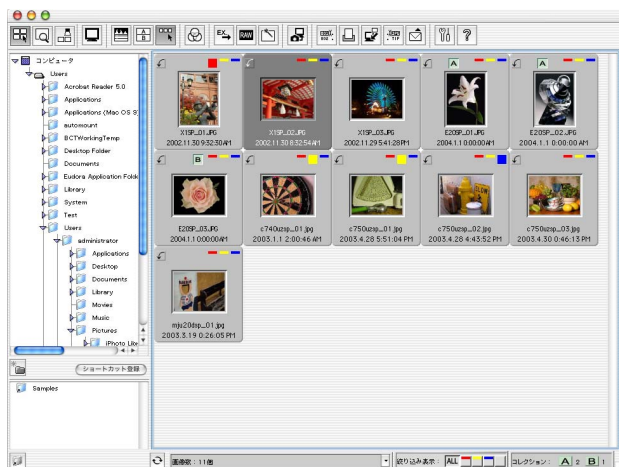
パソコンに取り込んだ画像は、ファイル名を分かりやすく変更することや、新しいフォルダに分けて整理することなどができます。ここでは、こうした整理に必要なフォルダ・ファイルの操作を説明します。

## フォルダを新規作成する

### 1 表示モードをブラウズモードにする。

 「表示モードの切り替え」 P.50

### 2 フォルダツリーで、新規フォルダを作成するドライブまたはフォルダを選択する。



### 3 [ファイル] メニューから [フォルダの新規作成] を選択する。


選択したドライブまたはフォルダ内に新規サブフォルダが作成されます。

### 4 新規フォルダに名前を入力する。

## ファイルを新規サブフォルダに移動する

選択したファイルを、そのファイルが保存されているフォルダの中にサブフォルダを新規作成して移動します。

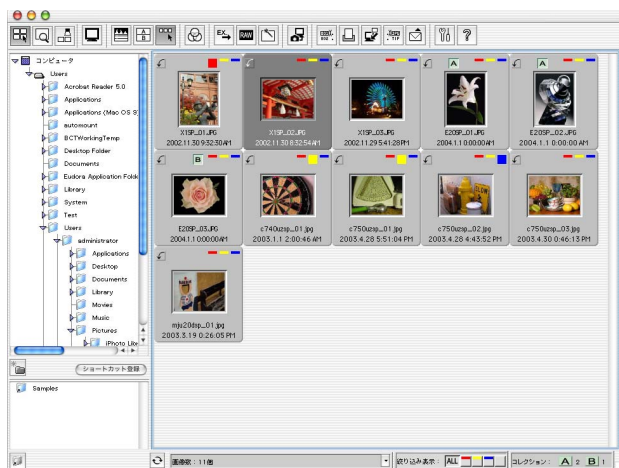
### 1 表示モードをブラウズモードにする。

 「表示モードの切り替え」 P.50

### 2 サムネイル表示エリアで、移動したいファイルを選択する。

複数の画像を選択するときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- ・ Macintosh (Mac OS 9) : [Shift] キー
- ・ Macintosh (Mac OS X) : [Shift] または [Command] キー
- ・ Windows : [Ctrl] キー



### 3 [ファイル] メニューから[選択ファイルを新規サブフォルダに移動]を選択する。

選択したファイルが保存されているフォルダに「移動先のフォルダ」という名称のフォルダが新規作成され、選択したファイルがこのサブフォルダに移動します。

### 4 [移動先のフォルダ] に名前を入力する。

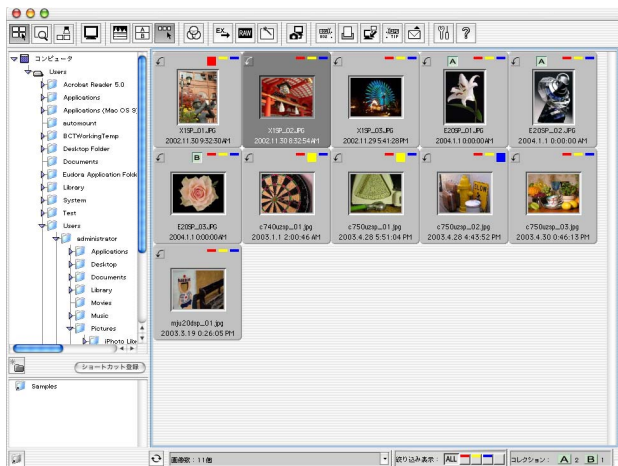


注意

- ・ Windows の場合は移動するファイルに読み取り専用のファイルが含まれる場合は、確認メッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると読み取り専用のファイルが移動します。
- ・ 読み取り専用のメディア内のファイルは移動できません。

## ファイル名・フォルダ名を変更する

- 1 サムネイル表示エリアで、名前を変更したいフォルダまたはファイルを選択する。



- 2 [ファイル] メニューから [名前の変更] を選択する。

[名前の変更] ダイアログが表示されます。

### [名前の変更] ダイアログ



項目名	内容
現在の名前	変更前の名前が表示されます。
新しい名前	新たな名前を入力します。
[キャンセル]	名前の変更を取り消します。
[OK]	名前を変更します。

**3** [新しい名前] に新たな名前を入力する。**4** [OK] ボタンをクリックする。

選択したフォルダまたはファイルの名前が変更されます。



注意

- 読み取り専用のメディア内のファイル名・フォルダ名は変更できません。
- [新しい名前] に入力したファイル名・フォルダ名がすでに存在する場合は、エラーメッセージが表示されます。



ヒント

- フォルダ名はフォルダツリー上で直接入力して変更することもできます。
- Windows の場合は、フォルダまたはファイルを選択後 [F2] キーを押して名前を変更することができます。

## ファイル名を一括変更する

複数ファイルの名前を一括して変更します。一括変更は命名規則を設定して行います。同じ撮影日のファイルがファイル名から一目でわかったり、連番を付けたファイル名に変更することができます。

### ● 命名規則について

ファイル名を「先頭」「中間」「末尾」の3ブロックに分けて設定します。各ブロックの間には任意の区切り文字を設定することができます。拡張子は変更前と同じ拡張子になります。

各ブロックは以下の6種類からそれぞれ選択します。項目によっては選択後、さらに文字列を入力したりボックスから選択したりします。

無し	そのブロックを設定しない場合に選択します。
元ファイル名	現在のファイル名を使用します。
任意文字列	新たにファイル名を入力または選択します。下側に表示されるボックスに直接入力するか、過去の入力文字列から選択します。入力文字列は最大5つまでプルダウンリストに表示され、選択することができます。
撮影日	<p>撮影日を設定します。撮影日のフォーマットは下側に表示されるボックスで以下の6種類から選択します。撮影日が未記録のファイルは、撮影日のかわりに更新日が使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [YYYYMMDD]</li> <li>• [YYMMDD]</li> <li>• [MMDDYYYY]</li> <li>• [MMDDYY]</li> <li>• [DDMMYYYY]</li> <li>• [DDMMYY]</li> </ul>
撮影日時	<p>撮影日時を設定します。撮影日時のフォーマットは下側に表示されるボックスで以下の6種類から選択します。撮影日時が未記録のファイルは、撮影日時のかわりに更新日時が使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [YYYYMMDD_HHMMSS]</li> <li>• [YYMMDD_HHMMSS]</li> <li>• [MMDDYYYY_HHMMSS]</li> <li>• [MMDDYY_HHMMSS]</li> <li>• [DDMMYYYY_HHMMSS]</li> <li>• [DDMMYY_HHMMSS]</li> </ul>
連番	<p>最大値9999までの連番を設定します。下側に表示される2つのボックスから、開始番号と最大4桁までの桁数を選択します。選択した桁数では足りない場合は、自動的に桁数が1繰り上げられます。</p>



注意

- 連番の〔桁数〕に 4 を選択した場合で、9999 を越える連番が必要になると、エラーメッセージが表示されます。この場合は、〔OK〕ボタンをクリックして、桁数または開始番号を設定し直してください。



ヒント

- 同じフォルダに設定したファイル名がすでに存在する場合は、新しいファイル名の末尾に自動的に連番が付けられます。

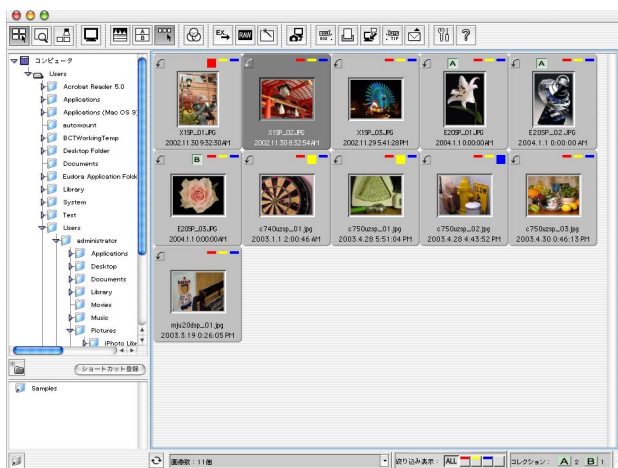
例) フォルダ内に Snap\_0001.jpg、Snap\_0003.jpg というファイルが存在する場合

変更予定のファイル名		一括変更後のファイル名
Snap_0001.jpg	→	Snap_0001_01.jpg
Snap_0002.jpg	→	Snap_0002.jpg
Snap_0003.jpg	→	Snap_0003_01.jpg

## 1 サムネイル表示エリアで、名前を一括変更したいファイルを選択する。

複数の画像を選択するときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- Macintosh (Mac OS 9) : [Shift] キー
- Macintosh (Mac OS X) : [Shift] または [Command] キー
- Windows : [Ctrl] キー



- 2** **【ファイル】メニューから【名前の一括変更】を選択する。**  
**または、ツールバーの【名前の一括変更】アイコンをクリックする。**  
 【名前の一括変更】ダイアログが表示されます。

### 【名前の一括変更】ダイアログ



項目名	内容
命名規則	【先頭】【中間】【末尾】の3ブロックごとに、6種類の項目から選択して設定します。項目によっては、さらにボックスに入力または選択します。
□（区切り文字）	各ブロックの区切り文字を入力します。未入力時は、区切り文字なしとなります。区切り文字は半角または全角で1文字入力できます。
（任意文字列設定ボックス）	各ブロックに【任意文字列】を選択した場合に表示されます。直接入力するか、プルダウンリストから過去に入力した文字列を選択します。
（撮影日設定ボックス）	各ブロックに【撮影日】を選択した場合に表示されます。プルダウンリストから撮影日のフォーマットを選択します。
（撮影日時設定ボックス）	各ブロックに【撮影日時】を選択した場合に表示されます。プルダウンリストから撮影日時のフォーマットを選択します。
開始番号	各ブロックに【連番】を選択した場合に表示されます。連番の開始番号を入力します。
桁数	各ブロックに【連番】を選択した場合に表示されます。連番の桁数を入力します。
現在の名前	選択したファイルの名称が表示されます。



新しい名前	設定した〔命名規則〕にしたがって付けられたファイル名が表示されます。
〔キャンセル〕	ファイル名の一括変更を取り消します。
〔OK〕	設定した命名規則にしたがってファイル名を一括変更します。

### 3 命名規則を設定する。

命名規則の〔先頭〕〔中間〕〔末尾〕の3ブロックをそれぞれ設定します。

〔任意文字列〕を選択した場合は、下側に表示されるボックスに任意の文字列を入力するか、プルダウンリストから選択します。

〔撮影日〕〔撮影日時〕を選択した場合は、下側に表示されるプルダウンリストから選択します。

〔連番〕を選択した場合は、開始番号と桁数を入力します。

また、必要に応じて各ブロック間に区切り文字を入力します。

各ブロックを設定すると、〔新しい名前〕欄に変更後のファイル名が表示されます。



## 4 [OK] ボタンをクリックする。

選択したファイルの名前が一括変更されます。




ヒント

- コレクション領域のファイルを選択して名前の一括変更を行うことができます。




注意

- ファイルの拡張子は、変更前のファイル名と同じ拡張子になります。名前の一括変更で変更することはできません。拡張子を変更する場合は、フォーマット変換を行います。「ファイルフォーマットを変換する」P.106
- 読み取り専用のメディア内のファイル名は変更できません。

# ファイルをコピーする

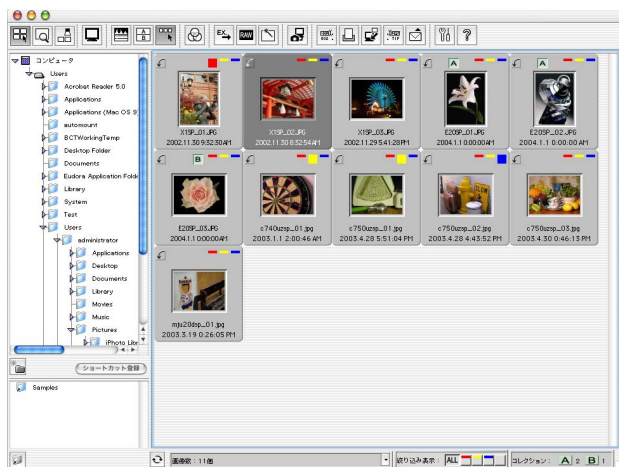
## 1 表示モードをブラウズモードにする。

 「表示モードの切り替え」 P.50

## 2 サムネイル表示エリアで、コピーしたいファイルを選択する。

複数の画像を選択するときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- ・ Macintosh (Mac OS 9) : [Shift] キー
- ・ Macintosh (Mac OS X) : [Shift] または [Command] キー
- ・ Windows : [Ctrl] キー



## 3 [編集] メニューから [コピー] を選択する。

## 4 フォルダツリーで、コピー先のフォルダを選択する。

## 5 [編集] メニューから [貼り付け] を選択する。

選択したファイルが指定したフォルダにコピーされます。



ヒント

- ・ コピーするファイルを選択してコピー先のフォルダにドラッグ&ドロップし、ファイルをコピーすることもできます。同じドライブ間でファイルをコピーするときは、Macintosh では [Option] キーを押しながら、Windows では [Ctrl] キーを押しながら、ファイルをドラッグ&ドロップします。

## 画像をコピーする

選択した画像を、他のアプリケーションソフトで作成した文書や表などに貼り付けます。

- 1** サムネイル表示エリアで、コピーしたい画像ファイルを選択する。
- 2** [編集] メニューから [画像コピー] を選択する。
- 3** 他のアプリケーションソフト上で [貼り付け] の操作をする。

選択した画像が貼り付けられます。




注意

- [貼り付け] の操作については、ご使用のアプリケーションソフトに付属の取扱説明書をご覧ください。

# ファイルを移動する

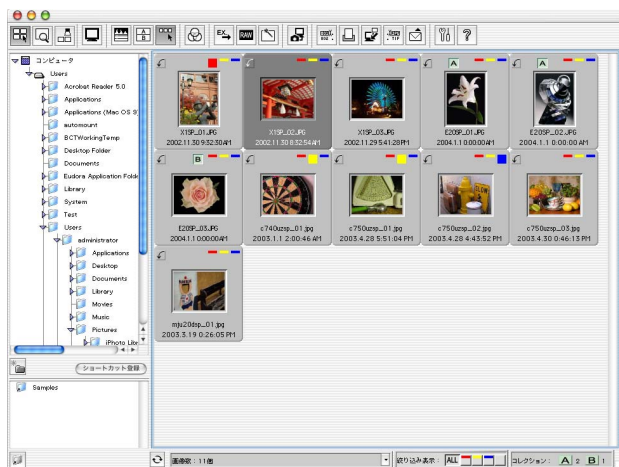
## 1 表示モードをブラウズモードにする。

 「表示モードの切り替え」 P.50

## 2 サムネイル表示エリアで、移動したいファイルを選択する。

複数の画像を選択するときは、以下のキーを押しながら画像を選択します。

- ・ Macintosh (Mac OS 9) : [Shift] キー
- ・ Macintosh (Mac OS X) : [Shift] または [Command] キー
- ・ Windows : [Ctrl] キー



## 3 [編集] メニューから [切り取り] を選択する。

## 4 フォルダツリーで、移動先のフォルダを選択する。

## 5 [編集] メニューから [貼り付け] を選択する。

選択したファイルが指定したフォルダに移動します。



- ・ 移動するファイルを選択して移動先のフォルダにドラッグ&ドロップし、ファイルを移動することもできます。異なるドライブ間でファイルを移動するときは、Macintosh では [Command] キーを押しながら、Windows では [Shift] キーを押しながら、ファイルをドラッグ&ドロップします。

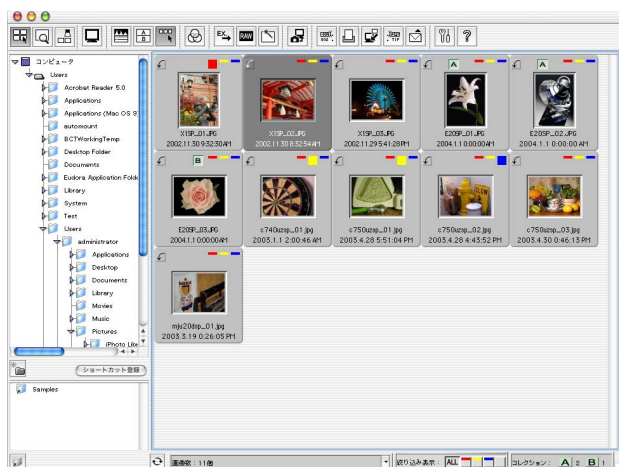
## ファイルフォーマットを変換する

選択したファイルのファイルフォーマットを変換し、指定したフォルダに別ファイルとして保存します。ファイルフォーマット変換前のファイルは、元のフォルダに残ります。

以下の形式に変換することができます。

- Exif-JPEG
- JPEG
- Exif-TIFF
- TIFF [8bit/ch]
- TIFF [16bit/ch]
- PICT (Macintosh 版のみ)
- Bitmap (Windows 版のみ)

### 1 サムネイル表示エリアで、ファイルフォーマットを変更したいファイルを選択する。




## 2 【ツール】メニューから【フォーマット変換】を選択する。

【フォーマット変換】ダイアログが表示されます。

### 【フォーマット変換】ダイアログ



項目名	内容
保存先のフォルダ	フォーマット変換したファイルの保存先を指定します。
〔新規フォルダ〕	フォーマット変換したファイルの保存先として、フォルダを新規作成する場合にクリックします。フォルダツリーで選択したドライブまたはフォルダ内に新しいサブフォルダを作成します。
〔ショートカット参照〕	登録してあるショートカットの一覧を表示する場合にクリックします。一覧から選択すると、フォルダツリーの選択位置がショートカットのリンク先に移動します。  「フォルダのショートカットを作成する」 P.109
フォルダツリー	保存先のフォルダを選択します。
保存先のファイル名	フォーマット変換したファイルに付ける名前を設定します。 [オリジナルのファイル名] または [任意のファイル名] を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• オリジナルのファイル名： フォーマット変換したファイルに変換前と同じ名前を付ける場合に選択します。</li> <li>• 任意のファイル名： フォーマット変換したファイルに新たな名前を付ける場合に選択します。[先頭文字列] を入力し [連番の桁数] を指定します。</li> </ul>

フォーマット	変換するファイルフォーマットを [Exif-JPEG] [JPEG] [Exif-TIFF] [TIFF [8bit/ch]] [TIFF [16bit/ch]] [PICT] (Macintosh 版のみ) [Bitmap] (Windows 版のみ) から選択します。
圧縮率	ファイルフォーマットで [Exif-JPEG] または [JPEG] を選択した場合の圧縮率を [高画質] [標準画質] [低画質] から選択します。
[キャンセル]	フォーマット変換を取り消します。
[変換実行]	設定した条件でファイルフォーマットを変換します。

### 3 各項目を設定する。

### 4 [変換実行] ボタンをクリックする。

選択したファイルがフォーマット変換されます。



注意

- RAW データを「フォーマット変換」で別のファイルフォーマットに変換することはできません。RAW データを変換するには、「RAW 現像」をご使用ください。📷「RAW 現像」P.88



## フォルダのショートカットを作成する

フォルダツリーに表示されるフォルダのショートカットを作成することができます。使用頻度の高いフォルダをショートカット登録しておくと、フォルダツリーからフォルダを探す手間が省けて便利です。

ショートカットは、ブラウズモードのフォルダツリー下部のショートカット領域に表示されます。ショートカット領域は、ウィンドウ左下の「ショートカット」ボタンで表示／非表示を切り替えます。

登録したショートカットをダブルクリックすると、フォルダツリーのフォルダにジャンプします。サムネイル表示エリアの画像をショートカットにドラッグ＆ドロップし、移動やコピーを行うこともできます。

### ショートカットボタン



### ショートカット領域



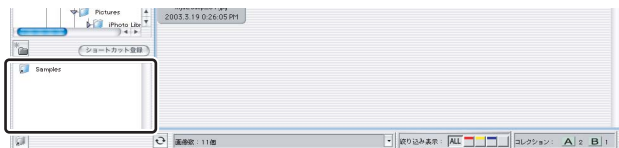
## 1 表示モードをブラウズモードにする。

☞「表示モードの切り替え」P.50

## 2 [表示] メニューから [ショートカット領域を表示] を選択する。 または、[ショートカット] ボタンをクリックする。

ショートカット領域が表示されます。

### ショートカット領域



## 3 フォルダツリーからショートカットとして登録したいフォルダを選択する。

## 4 [ショートカット登録] ボタンをクリックする。

選択したフォルダをショートカット領域にドラッグ&ドロップして登録することもできます。

## ● ショートカット領域からショートカットを削除するには

**1** ショートカット領域で、削除したいショートカットを選択する。

**2** [Delete] キーを押す。または、[ファイル] メニューから [削除] を選択する。

選択したショートカットがショートカット領域から削除されます。

## ● ショートカットの名前を変更するには

**1** ショートカット領域で、名前を変更したいショートカットを選択する。

**2** [ファイル] メニューから [名前の変更] を選択して、直接名前を入力します。



ヒント

- Windows の場合は、ショートカットを選択後 [F2] キーを押して名前を変更することができます。

# 画像の検索

指定した条件で画像ファイルを検索します。検索結果はサムネイル表示エリアに表示されます。画像の検索は、ブラウザモード、ビューモード、ライトボックスモードのいずれのモードでも行うことができます。

## 1 [ファイル] メニューから [検索] を選択する。

[検索] ダイアログが表示されます。

### [検索] ダイアログ

項目名	内容
検索条件	<p>検索条件を [ファイル名] [撮影日] [コメント] [分類] の中から 1 項目以上設定します。設定したい項目のチェックボックスにチェックマークを付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイル名： 検索するファイル名の一部または全部を入力します。</li> <li>• 撮影日： 検索するファイルの撮影日の期間を設定します。日付を直接入力するか、プルダウンリストに表示される日付を選択します。</li> <li>• コメント： 検索するファイルのコメントの一部または全部を入力します。</li> <li>• 分類： 検索するファイルの分類チェックマークを [赤] [黄] [青] [無し] から選択します。</li> </ul>
検索場所	検索するドライブまたはフォルダのパス名が表示されます。
[参照]	検索場所を指定する場合に選択します。選択すると [フォルダ選択] ダイアログが表示されます。
[キャンセル]	検索を取り消します。
[検索開始]	設定した条件で画像ファイルを検索します。

## 2 検索条件を設定する。

検索条件を設定したい項目にチェックマークを付け、項目ごとに検索条件を指定します。

## 3 検索場所を指定する。

[参照] ボタンをクリックして、検索場所を指定します。サブフォルダも検索の対象となります。パソコン上の全ドライブを検索対象にする場合は、Windows ではマイコンピュータを選択します。

[検索場所] に指定したドライブまたはフォルダのパス名が表示されます。

## 4 [検索開始] ボタンをクリックする。

検索が実行されます。検索が終了すると、[検索] ダイアログが自動的に閉じて、検索結果がサムネイル表示エリアに表示されます。



ヒント

- 検索結果の表示画面から通常のブラウズウィンドウに戻る場合は、別のフォルダを選択します。検索結果を表示している間は、[検索結果] という仮想フォルダが選択されている状態になります。

# 画像の削除

不要な画像ファイルを削除します。

- 1** サムネイル表示エリアで、削除したいファイルを選択する。
- 2** [ファイル] メニューから [削除] を選択する。  
または、[Command] キーを押しながら [Delete] キーを押す。  
Windows の場合は、[Delete] キーを押します。  
削除を確認するダイアログが表示されます。
- 3** [はい] ボタンをクリックする。  
選択した画像ファイルが削除されます。



注意

- OLYMPUS Studioで画像の削除を行うと、Mac OSやWindowsのゴミ箱にいったんファイルが移動するのではなく、完全に削除される場合があります。この場合、ゴミ箱から元に戻すことはできません。ゴミ箱へ移動するかどうかは、ダイアログに表示される確認メッセージで確認することができます。

# 画像の印刷

ブラウザウィンドウで選択した画像を印刷します。  
画像の印刷はフォト印刷、インデックス印刷、コンタクトシート印刷の3種類があります。  
ブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードのいずれのモードでも印刷を行うことができます。

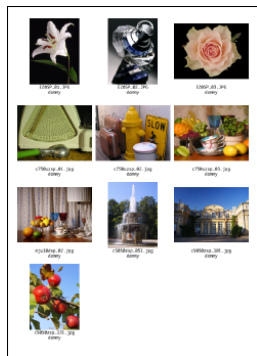
## 印刷の種類

### ● フォト印刷 P.120



画像を中心に印刷します。

### ● インデックス印刷 P.124




複数の画像を指定して印刷します。ファイル名、撮影日時を印刷することができます。

# ● コンタクトシート印刷 P.128



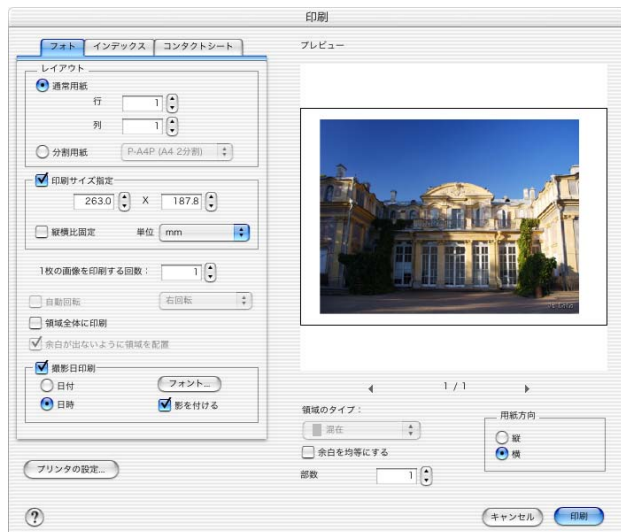
複数の画像を指定して印刷します。各画像に設定されている詳細情報を印刷することができます。

コンタクトシート印刷で印刷項目に設定できる詳細情報については、「コンタクトシート印刷」をご覧ください。 P.128

# [印刷] ダイアログ

ブラウズウィンドウで印刷する画像を選択し、[ファイル] メニューから [印刷] を選択すると、[印刷] ダイアログが表示されます。印刷の種類や印刷時の各種設定は、[印刷] ダイアログで行います。

## [印刷] ダイアログ



項目	内容	参照頁
[フォト] タブ	[フォト印刷] をしたいときに選択します。	P.120
[インデックス] タブ	[インデックス印刷] をしたいときに選択します。	P.124
[コンタクトシート] タブ	[コンタクトシート印刷] をしたいときに選択します。	P.128
[プリンタの設定]	[プリンタの設定] または [ページ設定] ダイアログが表示されます。	P.118
プレビュー領域	印刷する画像がプレビュー表示されます。印刷対象に複数の画像ファイルを選択している場合、左右の矢印ボタンで表示ページを切り替えることができます。左右の矢印ボタンの間には、現在表示しているページ番号と総ページ数が表示されます。プレビュー領域上で、ドラッグ&ドロップにより画像を入れ替えることができます。	—



領域のタイプ	<p>用紙上に印刷する画像領域の形を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>横画像優先： 画像領域を 4:3 の横向き長方形で印刷します。 横向きの画像だけを印刷するときに便利です。</li> <li>縦画像優先： 画像領域を 3:4 の縦向き長方形で印刷します。 縦向きの画像だけを印刷するときに便利です。</li> <li>混在： 領域を 1:1 の正方形で印刷します。 横向き、縦向きの画像が混在しているときに便利です。</li> </ul>	—
余白を均等にする	<p>チェックマークを付けると、上下または左右の余白を均等に設定し、用紙の中央に印刷されます。チェックマークを付けないと、プリンタで設定されている上下左右の余白の設定で印刷されます。</p>	—
部数	印刷する部数を設定します。	—
用紙方向	用紙の方向を [縦] [横] から選択します。	—
[キャンセル]	画像の印刷を取り消します。	—
[印刷]	設定した条件で画像を印刷します。	—

## プリンタの設定

画像を印刷する前にプリンタの設定を確認し、必要に応じて設定します。  
プリンタの詳細設定についてはご使用のプリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

### ● Macintosh

- 1 ブラウズウィンドウで印刷する画像を選択し、[ファイル] メニューから[印刷]を選択する。

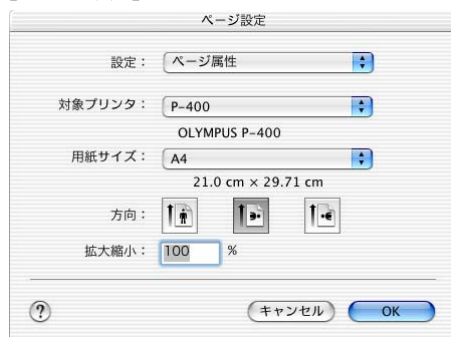
または、ツールバーの[印刷]アイコンをクリックする。

[印刷] ダイアログが表示されます。🖨️「[印刷] ダイアログ」P.116

- 2 [プリンタの設定] ボタンをクリックする。

[ページ設定] ダイアログが表示されます。

#### [ページ設定] ダイアログ



- 3 プリンタを選択する。

必要に応じて [ページ設定] ダイアログ内の各項目を設定します。

- 4 [OK] ボタンをクリックする。

設定した内容が登録されて、[ページ設定] ダイアログが閉じます。

## ● Windows

- 1 ブラウズウィンドウで印刷する画像を選択し、[ファイル] メニューから [印刷] を選択する。

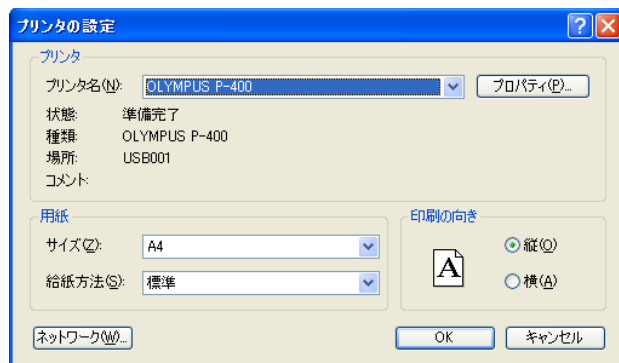
または、ツールバーの [印刷] アイコンをクリックする。

[印刷] ダイアログが表示されます。🖨️「[印刷] ダイアログ」P.116

- 2 [プリンタの設定] ボタンをクリックする。

[プリンタの設定] ダイアログが表示されます。

[プリンタの設定] ダイアログ



- 3 [プリンタ名] を選択する。

必要に応じて [プロパティ] ボタンをクリックし、選択したプリンタの詳細設定をします。

- 4 用紙サイズを選択する。

- 5 印刷の向きを選択する。

- 6 [OK] ボタンをクリックする。

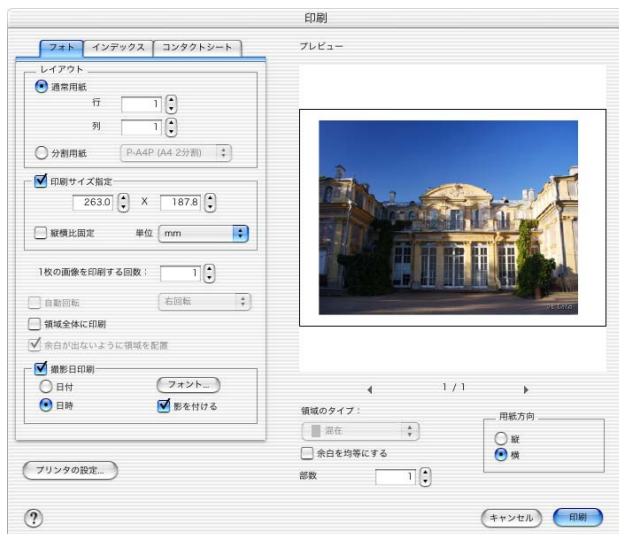
設定した内容が登録されて、[プリンタの設定] ダイアログが閉じます。

# フォト印刷

- 1 ブラウズウィンドウで印刷する画像を選択し、[ファイル] メニューから[印刷]を選択する。  
または、ツールバーの[印刷] アイコンをクリックする。  
[印刷] ダイアログが表示されます。🖨️「[印刷] ダイアログ」P.116

## 2 [フォト] タブを選択する。

### [印刷] ダイアログ [フォト] タブ



項目	内容
レイアウト	用紙の種類を選択し、レイアウトを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 通常用紙： 印刷する画像のレイアウトを行×列で 1 ～ 4 の範囲で指定します。</li> <li>• 分割用紙： オリンバスプリンタ用の分割専用紙のレイアウト [P-A4P (A4 2 分割)] [P-A4L (A4 4 分割)] から選択します。</li> </ul>
印刷サイズ指定	印刷する画像のサイズを変更したいときにチェックマークを付け、サイズを入力します。
縦横比固定	画像の縦横比率を固定したままサイズを変更するときにチェックマークを付けます。
単位	[mm] [インチ] から選択します。

1 枚の画像を印刷する回数	印刷回数を指定します。
自動回転	画像を [領域のタイプ] の設定に合わせて回転する場合にチェックマークを付けます。[横画像優先] に設定した場合は、縦画像が横向きに回転して印刷されます。[縦画像優先] に設定した場合は、横画像が縦向きに回転して印刷されます。回転の方向を [右回転] (右方向 90 度) [左回転] (左方向 90 度) から選択します。 ただし、[領域のタイプ] を [混在] に設定した場合は淡色表示され選択できません。
領域全体に印刷	チェックマークを付けないと、画像全体が印刷されます。チェックマークを付けると、印刷領域に合わせ画像をトリミングして印刷します。
余白が出ないように領域を配置	チェックマークを付けると、印刷領域の縦横比を無視して印刷可能領域全体に印刷されます。
撮影日印刷	撮影日を入れて印刷する場合にチェックマークを付けると、画像上の右下に撮影日が印刷されます。[日付] [日時] から選択します。
[フォント]	[フォント] ダイアログが表示されます。印刷する撮影日のフォント名、スタイル、サイズ、色を設定します。
[影を付ける]	印刷する撮影日の文字の背景に影を付ける場合にチェックマークを付けます。

### 3 フォト印刷の各項目を設定する。

必要に応じて設定します。

#### 【レイアウト】を設定するには

印刷用紙の種類を [通常用紙] [分割用紙] から選択します。

[通常用紙] を選択した場合は、印刷する画像のレイアウトを [行] [列] でそれぞれ設定します。

[分割用紙] を選択した場合は、用紙のサイズを [P-A4P (A4 2 分割)] [P-A4L (A4 4 分割)] から選択します。

#### 【印刷サイズ指定】を設定するには

印刷する画像のサイズを変更する場合にチェックマークを付けます。[縦] [横]それぞれのサイズと [単位] を設定します。[単位] は、[mm] [インチ] から選択します。画像の縦横比率を固定する場合は、[縦横比固定] にチェックマークを付けます。

#### 【1 枚の画像を印刷する回数】を設定するには

印刷回数を設定します。

### 【自動回転】を設定するには

画像を回転する場合にチェックマークを付け、回転方向を[右回転][左回転]から選択します。

### 【領域全体に印刷】を設定するには

印刷領域に合わせて画像をトリミングする場合に、チェックマークを付けます。

### 【余白が出ないように領域を配置】を設定するには

印刷可能領域全体に印刷する場合に、チェックマークを付けます。

### 【撮影日印刷】を設定するには

画像上に撮影日を印刷する場合にチェックマークを付け、印刷するフォーマットを[日付][日時]から選択します。印刷する文字を変更する場合は[フォント]ボタンを選択し、[フォント]ダイアログで設定します。

### 【影を付ける】を設定するには

印刷する撮影日の文字の背景に影を付ける場合に、チェックマークを付けます。

### 【フォント】ダイアログ



項目名	内容
フォント名	文字フォントの種類を一覧から選択します。
サイズ	文字サイズを設定します。
スタイル	文字スタイルを一覧から選択します。
色	文字の色をプルダウンリストから選択します。
サンプル	設定した文字が表示されます。
[キャンセル]	フォントの設定を取り消します。
[OK]	設定した内容を登録します。

## 4 【領域のタイプ】を設定する

用紙上に印刷する画像領域の形を、[横画像優先][縦画像優先][混在]から選択します。

## 5 [余白を均等にする] を設定する。

用紙の上下または左右の余白を均等に設定する場合に、チェックマークを付けます。

## 6 [部数] を設定する。

印刷する部数を設定します。

## 7 [用紙方向] を設定する。

印刷用紙の向きを [縦] [横] から選択します。

## 8 [印刷] ボタンをクリックする。

Macintosh の場合は [プリント] ダイアログが表示されます。

### [プリント] ダイアログ



Windows の場合はフォト印刷が実行されます。

## 9 Macintosh の場合は [プリント] ボタンをクリックする。

フォト印刷が実行されます。

印刷が実行されている間、進行状況を示すダイアログが表示されます。

### 進行状況を示すダイアログ



印刷を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

# インデックス印刷

- 1 ブラウズウィンドウで印刷する画像を選択し、[ファイル] メニューから [印刷] を選択する。  
またはツールバーの [印刷] アイコンをクリックする。  
[印刷] ダイアログが表示されます。[印刷] ダイアログ P.116

## 2 [インデックス] タブを選択する。

### [印刷] ダイアログ [インデックス] タブ



項目	内容
レイアウト	印刷する画像のレイアウトを行×列で1～12の範囲で指定します。
付加情報	印刷する項目を [ファイル名] [撮影日時] から選択します。
[フォント]	[フォント] ダイアログが表示されます。付加情報として印刷する文字のフォント名、スタイル、サイズ、色を設定します。
ヘッダ・フッタ	ヘッダ情報・フッタ情報を印刷する場合にチェックマークを付けます。
[書式]	[ヘッダ・フッタ] ダイアログが表示されます。
[フォント]	[フォント] ダイアログが表示されます。ヘッダ・フッタとして印刷する文字のフォント名、スタイル、サイズ、色を設定します。



### 3 インデックス印刷の各項目を設定する。

必要に応じて設定します。

#### 【レイアウト】を設定するには

1 ページに印刷する画像のレイアウトを [行] [列] でそれぞれ設定します。

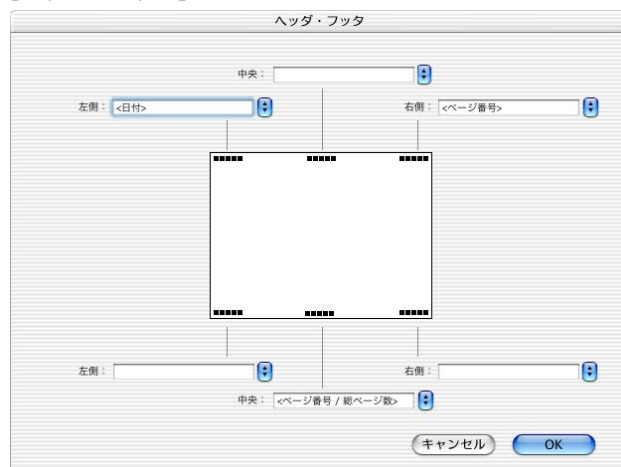
#### 【付加情報】を設定するには

印刷する項目を [ファイル名] [撮影日時] から選択します。両方設定することもできます。印刷する文字のフォントを変更する場合は [フォント] ボタンをクリックし、[フォント] ダイアログで設定します。P.122

#### 【ヘッダ・フッタ】を設定するには

ヘッダ情報・フッタ情報を印刷する場合にチェックマークを付けます。ヘッダ・フッタの編集を行う場合は [書式] ボタンをクリックし、[ヘッダ・フッタ] ダイアログで設定します。

#### 【ヘッダ・フッタ】ダイアログ



項目	内容
左側／中央／右側 (画面上) 左側／中央／右側 (画面下)	印刷する位置の項目を設定します。[日付] [ページ番号] [ページ番号／総ページ数]の中から選択します。直接文字を入力することもできます。
[キャンセル]	ヘッダ・フッタの設定を取り消します。
[OK]	設定した内容を登録します。

#### 4 【領域のタイプ】を設定する。

用紙上に印刷する画像領域の形を「横画像優先」「縦画像優先」「混在」から選択します。

#### 5 【余白を均等にする】を設定する。

用紙の上下または左右の余白を均等に設定する場合に、チェックマークを付けます。

#### 6 【部数】を設定する。

印刷する部数を設定します。

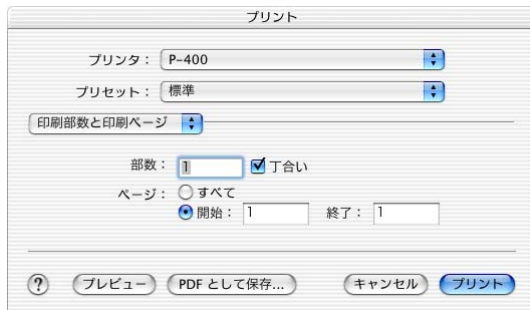
#### 7 【用紙方向】を設定する。

印刷用紙の向きを「縦」「横」から選択します。

#### 8 【印刷】 ボタンをクリックする。

Macintosh の場合は「プリント」ダイアログが表示されます。

##### 【プリント】ダイアログ



Windows の場合はインデックス印刷が実行されます。

## 9 Macintosh の場合は [プリント] ボタンをクリックする。

インデックス印刷が実行されます。

印刷が実行されている間、進行状況を示すダイアログが表示されます。

### 進行状況を示すダイアログ



印刷を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。



注意

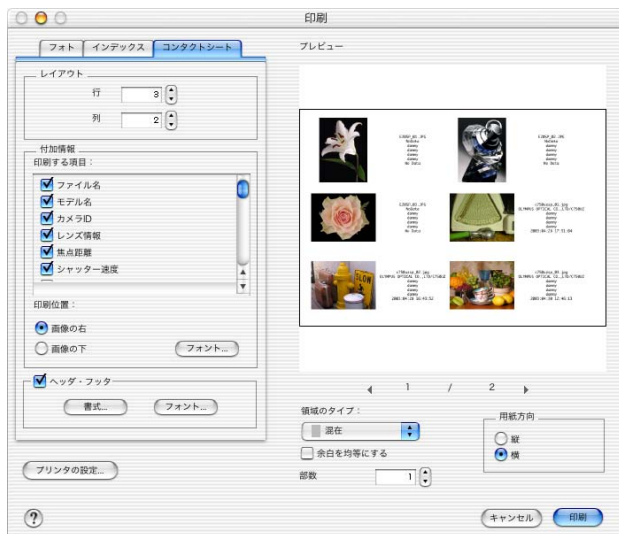
- 印刷する画像のレイアウトに問題があった場合は、[印刷] ボタンをクリックしたときにエラーメッセージが表示されます。

# コンタクトシート印刷

- 1 ブラウズウィンドウで印刷する画像を選択し、[ファイル] メニューから [印刷] を選択する。  
または、ツールバーの [印刷] アイコンをクリックする。  
[印刷] ダイアログが表示されます。[印刷] ダイアログ P.116

## 2 [コンタクトシート] タブを選択する。

[印刷] ダイアログ [コンタクトシート] タブ



項目	内容
レイアウト	印刷する画像のレイアウトを行×列で1～12の範囲で指定します。
付加情報	印刷する項目を以下から選択します。 ファイル名、モデル名、カメラ ID、レンズ情報、焦点距離、シャッター速度、絞り値、露出補正、フラッシュ、ホワイトバランス、彩度、コントラスト、シャープネス、カラー設定、撮影モード、測光モード、ISO、フォーカスモード、マクロ、ドライプ、データフォーマット、画素数、撮影日時、撮影日、コメント
印刷位置	[付加情報] を印刷する位置を [画像の右] [画像の下] から選択します。
[フォント]	[フォント] ダイアログが表示されます。付加情報として印刷する文字のフォント名、スタイル、サイズ、色を設定します。

ヘッダ・フッタ	ヘッダ情報・フッタ情報を印刷する場合にチェックマークを付けます。
〔書式〕	〔ヘッダ・フッタ〕 ダイアログが表示されます。
〔フォント〕	〔フォント〕 ダイアログが表示されます。ヘッダ・フッタとして印刷する文字のフォント名、スタイル、サイズ、色を設定します。

### 3 コンタクトシート印刷の各項目を設定する。

必要に応じて設定します。

#### 〔レイアウト〕を設定するには

1 ページに印刷する画像のレイアウトを〔行〕〔列〕でそれぞれ設定します。

#### 〔付加情報〕を設定するには

印刷する項目を選択します。印刷する文字のフォントを変更する場合は〔フォント〕ボタンを選択し、〔フォント〕ダイアログで設定します。P.122

付加情報の印刷位置を〔画像の右〕〔画像の下〕から選択します。

#### 〔ヘッダ・フッタ〕を設定するには

ヘッダ情報・フッタ情報を印刷する場合にチェックマークを付けます。ヘッダ・フッタの編集を行う場合は〔書式〕ボタンをクリックし、〔ヘッダ・フッタ〕ダイアログで設定します。P.125

### 4 〔領域のタイプ〕を設定する。

用紙上に印刷する画像領域の形を〔横画像優先〕〔縦画像優先〕〔混在〕から選択します。

### 5 〔余白を均等にする〕を設定する。

用紙の上下または左右の余白を均等に設定する場合に、チェックマークを付けます。

### 6 〔部数〕を設定する。

印刷する部数を設定します。

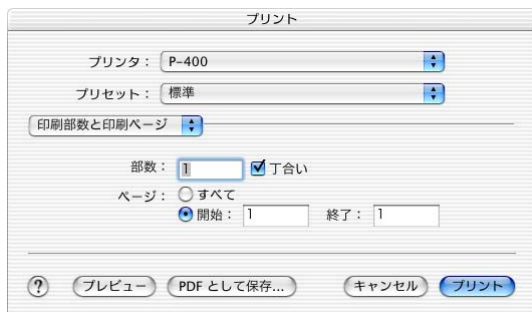
### 7 〔用紙方向〕を設定する。

印刷用紙の向きを〔縦〕〔横〕から選択します。

## 8 [印刷] ボタンをクリックする。

Macintosh の場合は、[プリント] ダイアログが表示されます。

### [プリント] ダイアログ



Windows の場合は、コンタクトシート印刷が実行されます。

## 9 Macintosh の場合は [プリント] ボタンをクリックする。

コンタクトシート印刷が実行されます。

印刷が実行されている間、進行状況を示すダイアログが表示されます。

### 進行状況を示すダイアログ



印刷を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。



注意

- 印刷する画像のレイアウトに問題があった場合は、[印刷] ボタンをクリックしたときにエラーメッセージが表示されます。

# 画像の E-mail 送信

ブラウザウィンドウで選択した画像を、送信メールに添付します。  
画像の送信に使用するメールアプリケーションは、あらかじめ OS で設定しておきます。



注意

- メールを送信するには、指定したメールアプリケーションがメール送信可能な状態である必要があります。

## OS でメールアプリケーションを設定する

### ● Macintosh (Mac OS 9)

#### 1 [アップル] メニューから [コントロールパネルーインターネットー電子メール] を選択する。

[インターネット] ダイアログが表示されます。

[インターネット] ダイアログ [電子メール] タブ画面

インターネット

現在の設定: 名称未設定

設定の変更

設定の変更: 名称未設定 設定の複製...

個人情報 電子メール Web ニュース 詳細設定

電子メールアカウント情報:

利用者アカウント:  例: psmith

POP/IMAP サーバ:  pop.apple.com

メールパスワード:

SMTP サーバ:  smtp.apple.com

電子メールの通知:

メール到着時: ☐ アイコンを点滅 ☐ ダイアログを表示 ☐ 音を鳴らす: Glass

使用する電子メールアプリケーション: Outlook Express

- 2 [使用する電子メールアプリケーション] でメールアプリケーションを選択する。

- 3 [インターネット] ダイアログを閉じる。

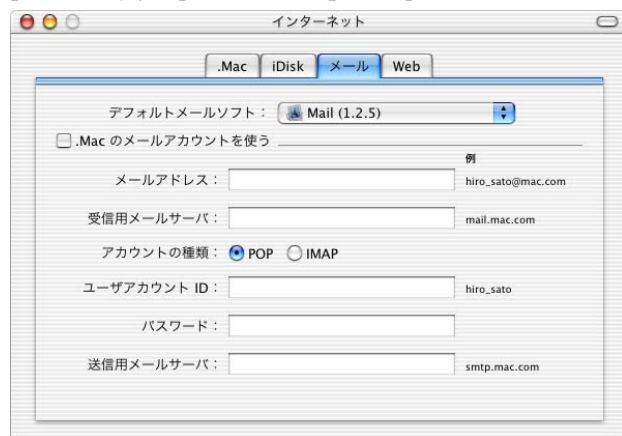
設定変更を確認するダイアログが表示されます。[保存] ボタンをクリックすると、メールアプリケーションの設定が適用されます。

## ● Macintosh (Mac OS X)

- 1 [アップル]メニューから[システム環境設定ーインターネットーメール]を選択する。

[インターネット] ダイアログが表示されます。

### [インターネット] ダイアログ [メール] タブ画面



- 2 [デフォルトメールソフト] でメールアプリケーションを選択する。

- 3 [インターネット] ダイアログを閉じる。

メールアプリケーションの設定が適用されます。

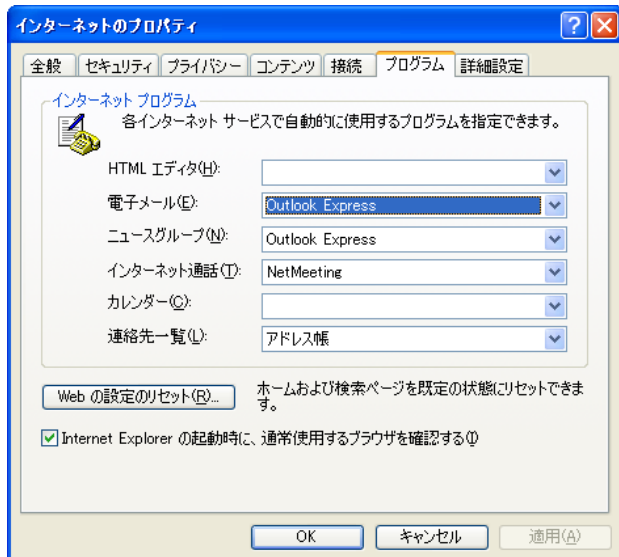


## ● Windows

### 1 タスクバーの【スタート】メニューから【設定－コントロールパネル－インターネットオプション－プログラム】を選択する。

【インターネットのプロパティ】ダイアログが表示されます。

【インターネットのプロパティ】ダイアログ【プログラム】タブ画面



### 2 【電子メール】のプルダウンリストからメールアプリケーションを選択する。

### 3 【OK】ボタンをクリックする。

メールアプリケーションの設定が適用され、【インターネットのプロパティ】ダイアログが閉じます。

## 画像を送信メールに添付する

- 1 ブラウズウィンドウで、メールに添付する画像を選択する。
- 2 [ツール] メニューから [E-mail 送信] を選択する。  
または、ツールバーの [E-mail 送信] アイコンをクリックする。  
[E-mail 送信] ダイアログが表示されます。

### [E-mail 送信] ダイアログ



項目	内容
サイズ変更	添付する画像のサイズを変更したい場合に必要に応じて項目を設定します。
指定したサイズに縮小	添付する画像のサイズを縮小したい場合にチェックマークを付け、サイズを入力します。
JPEG に変換	添付する画像のファイルフォーマットを JPEG に変換したい場合にチェックマークを付けます。
圧縮率	添付する画像のファイルフォーマットを JPEG に変換する場合、または現在の JPEG 画像のサイズを変更したい場合、ファイルの圧縮率を [高画質] [標準画質] [低画質] から選択します。
使用するメールアプリケーション	OS で設定されているメールアプリケーションが表示されます。
[キャンセル]	画像の添付を中止し、[E-mail 送信] ダイアログを閉じます。
[OK]	設定した条件で画像を送信メールに添付します。

### 3 添付する画像のサイズを変更する場合は、[サイズ変更]を設定する。

必要に応じて [指定したサイズに縮小] [JPEG に変換] [圧縮率] を設定します。

### 4 [OK] ボタンをクリックする。

メールアプリケーションが起動し、メール送信ウィンドウが表示されます。この送信メールに画像が添付されます。



ヒント

- メールを送信する操作については、ご使用のメールアプリケーションに付属の取扱説明書をご覧ください。
- OLYMPUS Studio がサポートしているメールアプリケーションは次の通りです。  
 Macintosh (Mac OS 9): Outlook Express、Eudora  
 Macintosh (Mac OS X): Mail、Outlook Express、Eudora  
 Windows : Outlook Express、Outlook、Eudora



注意

- [JPEG に変換] にチェックマークをつけると、ファイルフォーマットを変換した送信メール添付用の画像が一時的に作られます。元の画像のファイルフォーマットは変換されません。
- [E-mail 送信] ダイアログ上では [使用するメールアプリケーション] を変更できません。[使用するメールアプリケーション] の設定方法については、「OS でメールアプリケーションを設定する」をご覧ください。P.131

# 画像編集ウィンドウ

## 画像編集ウィンドウの起動と終了

画像編集ウィンドウでは、ブラウズウィンドウで選択した画像に対して、サイズ変更やトリミング、明るさ補正やカラーバランス補正、シャープネス補正などの編集作業を行うことができます。また、RAW データの画像に対して、露出補正やホワイトバランスなどの画像調整を行うことができます。

ここでは、画像編集ウィンドウの起動と終了方法について説明します。

### ● Macintosh

#### 起動する

- 1 ブラウズウィンドウのサムネイル表示エリアで、編集したい画像を選択する。

ブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードのすべてのサムネイル表示エリアから選択できます。複数の画像を同時に選択することもできます。

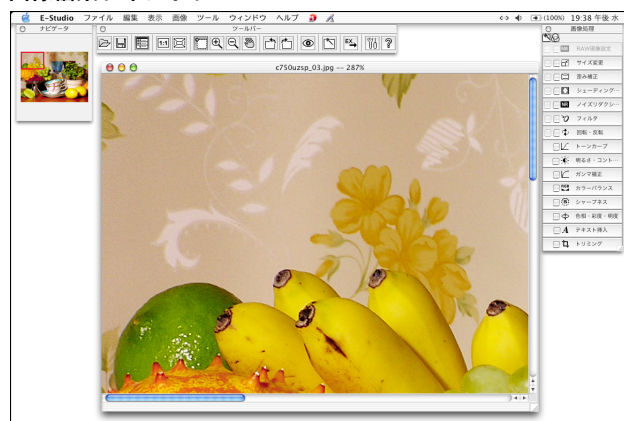
- 2 ブラウズウィンドウの【編集】メニューから【画像編集ウィンドウを開く】を選択する。

または、ツールバーの【画像編集ウィンドウを開く】アイコンをクリックする。

画像編集ウィンドウが起動し、選択した画像が表示されます。

手順 1 で画像を選択しないで手順 2 の操作のみを行うと、画像が表示されていない状態の画像編集ウィンドウが起動します。

#### 画像編集ウィンドウ



#### 終了する

- 1 【ファイル】メニューから【画像編集ウィンドウの終了】を選択する。

画像編集ウィンドウが閉じ、ブラウズウィンドウへ戻ります。

## ● Windows

### 起動する

- 1 ブラウズウィンドウのサムネイル表示エリアで、編集したい画像を選択する。

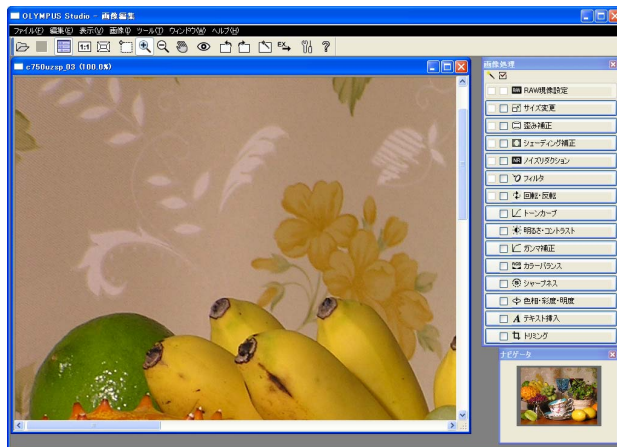
ブラウズモード、ビューモード、ライトボックスモードのすべてのサムネイル表示エリアから選択できます。複数の画像を同時に選択することもできます。

- 2 ブラウズウィンドウの【編集】メニューから【画像編集ウィンドウを開く】を選択する。  
または、ツールバーの【画像編集ウィンドウを開く】アイコンをクリックする。

画像編集ウィンドウが起動し、選択した画像が表示されます。

手順 1 で画像を選択しないで手順 2 の操作のみを行うと、画像が表示されていない状態の画像編集ウィンドウが起動します。

### 画像編集ウィンドウ



### 終了する

- 1 【ファイル】メニューから【終了】を選択する。

画像編集ウィンドウが閉じ、ブラウズウィンドウへ戻ります。



注意

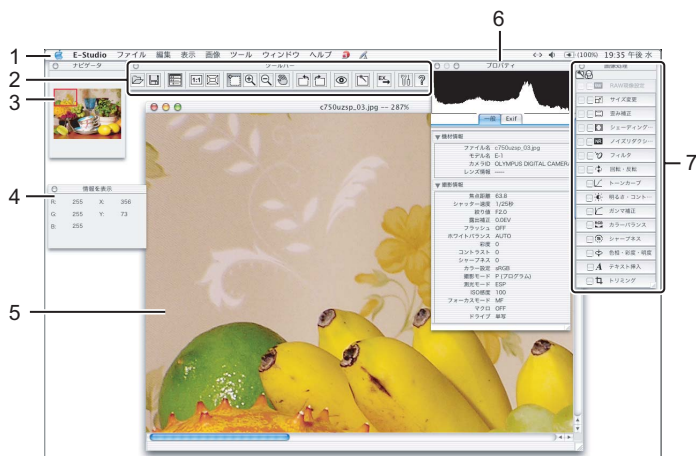
- 画像の編集を行った場合は、画像編集ウィンドウ終了前に必ずファイルの保存を行ってください。P.194「画像の保存」

# 画像編集ウィンドウ

画像編集ウィンドウを起動すると、ブラウザウィンドウで選択した画像と画像処理バーが表示されます。

ここでは、画像編集ウィンドウの各部名称とその機能について説明します。

## 画像編集ウィンドウ



番号	項目	内容	参照頁
1	メニューバー	画像編集ウィンドウで使用するメニューが表示されます。	P.276
2	ツールバー *	各ボタンで、表示方法の切り替えや印刷などを行います。	P.140
3	ナビゲータ *	画像表示ウィンドウで表示されている範囲を赤い枠で示します。赤い枠をドラッグして、表示範囲を変更することができます。	P.148
4	情報 *	画像上にあるカーソルの位置の RGB 値と XY 座標を表示します。	P.149
5	画像表示ウィンドウ	編集を行う画像を表示します。複数表示することもできます。	P.145
6	プロパティ *	画像のヒストグラム、シャッター速度などの撮影情報、Exif タグの情報などを表示します。表示内容はブラウザウィンドウのプロパティ領域と同じです。	P.150

- 
- |   |        |  |       |
|---|--------|--|-------|
| 7 | 画像処理バー | 編集項目がボタン形式で一覧表示されます。ボタンをクリックすると画像編集パレットが表示され、編集を行います。<br>[画像] メニューから [画像処理バー] を選択する、またはツールバーの [画像処理バー] アイコンをクリックすると、表示／非表示を切り替えることができます。 | P.151 |
|---|--------|--|-------|
- 













\* [表示] メニューで表示／非表示の切り替えができます。

## ツールバーの機能





画像編集ウィンドウで表示されるツールバーの各ボタンの機能について説明します。機能の詳細については、各参照ページをご覧ください。

### ツールバー



ボタン	項目	内容	参照頁
	開く	編集する画像ファイルを選択して、画像表示ウィンドウで開きます。	P.142
	上書き保存	編集した画像を上書き保存します。	P.194
	画像処理バー	画像処理バーの表示／非表示を切り替えます。画像の編集は、画像処理バーから画像処理パレットを表示して行います。	P.151
	実サイズで表示	画像の実際のサイズで表示します。	P.145
	画面にフィット	画像が画像表示ウィンドウ全体に表示されるように表示倍率を自動調整して表示します。	P.145
	矩形選択モード	カーソルが十字カーソルに変わります。画像上を斜めにドラッグすると、四角形で囲まれた部分が選択範囲として点線で表示されます。	—
	ズームインモード	カーソルが虫眼鏡カーソル（+）に変わります。画像上でクリックすると、拡大表示します。	P.145
	ズームアウトモード	カーソルが虫眼鏡カーソル（-）に変わります。画像上でクリックすると、縮小表示します。	P.145
	スクロールモード	カーソルが手のひらカーソルに変わります。画像上でドラッグすると、画像がスクロールします。	P.145
	左回転	画像が左方向に 90 度回転します。	P.60
	右回転	画像が右方向に 90 度回転します。	P.60
	赤目補正モード	ドラッグまたはクリックして選択した範囲の赤目が補正されます。	P.176



	バッチ処理	[バッチ処理] ダイアログが表示されます。	P.181
	登録アプリケーションを起動	環境設定で指定したアプリケーションソフトを起動します。	P.193
	環境設定	登録アプリケーションの選択や、カラーマネジメントの設定などを行います。ブラウザウィンドウ、画像編集ウィンドウ、カメラコントロールウィンドウとも同じダイアログが表示されます。	P.251
	ヘルプ	オンラインヘルプを起動します。	P.281

# 画像を開く

画像編集ウィンドウで、表示したい画像をファイル名を指定して開きます。複数の画像を指定して開くこともできます。  
ブラウズウィンドウで画像を選択して画像編集ウィンドウを起動すると、選択した画像が表示されます。

- 1 **【ファイル】メニューから【開く】を選択する。  
または、ツールバーの【開く】アイコンをクリックする。**

Macintosh の場合は、【開く】ダイアログが表示されます。

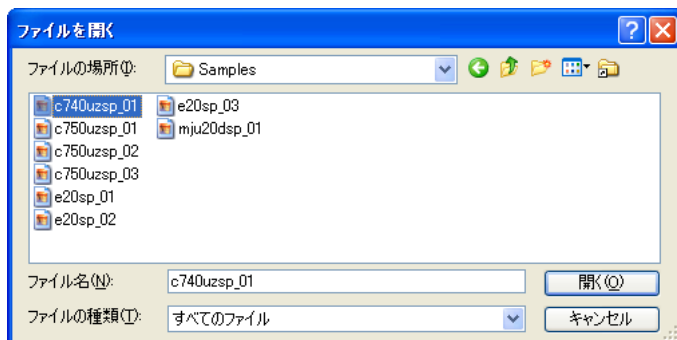
## 【開く】ダイアログ



項目	内容
場所	開きたい画像処理ファイルの保存場所を指定します。
ファイルの種類	画像のフォーマットを指定します。
移動先	ファイルの保存先に指定したドライブまたはフォルダのパスが表示されます。
【よく使う項目に追加】	フォルダツリーで選択した【よく使う項目】フォルダに追加されます。
【キャンセル】	【開く】を取り消します。
【開く】	選択した画像処理ファイルを開きます。

Windows の場合は、[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

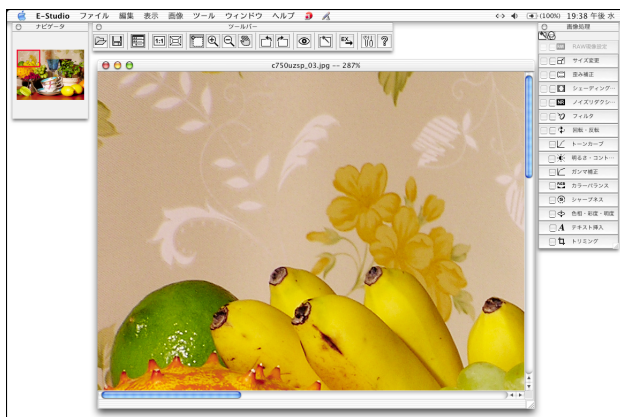
# [ファイルを開く] ダイアログ



項目	内容
ファイルの場所	開きたい画像の保存場所を指定します。
ファイル名	画像のファイル名を指定します。
ファイルの種類	画像のフォーマットを指定します。
[開く]	選択したファイルを画像編集ウィンドウで開きます。
[キャンセル]	[ファイルを開く] を取り消します。

## 2 ファイルの保存場所、ファイル名、ファイルの種類を指定し「開く」ボタンをクリックする。

選択された画像が画像編集ウィンドウに表示されます。



表示された画像に対して、サイズ変更、明るさ・コントラスト変更などの画像編集を行うことができます。



### 最近開いたファイルを開く






- 前回開いたファイルなどを開く場合は、[ファイル] メニューを選択すると、最近開いたファイル名が表示されますので、選択して開くことができます。

# 画像の表示

画像編集がスムーズに行えるよう、画像表示ウィンドウの表示を変更することができます。また、[ナビゲータ] ウィンドウや [情報] ウィンドウ、[プロパティ] ウィンドウなど、画像編集を行う上で便利な機能をもつウィンドウを表示することができます。

## 画像表示ウィンドウの画像を拡大／縮小、移動する

画像表示ウィンドウを選択してツールバーのアイコンをクリックすると、画像を拡大／縮小表示、または移動することができます。

項目	内容
 実サイズで表示	画像を 100% の倍率で表示します。[表示] メニューから [カレントウィンドウの表示倍率－100%] を選択しても、実行できます。
 画面にフィット	画像を画像表示ウィンドウの高さ・幅に合わせて表示します。[表示] メニューから [カレントウィンドウの表示倍率－画面にフィット] を選択しても、実行できます。
 ズームインモード	ズームインモードになり、画像をクリックすると段階的に拡大表示します。[表示] メニューから [ズームインモード] を選択しても、ズームインモードになります。
 ズームアウトモード	ズームアウトモードになり、画像をクリックすると段階的に縮小表示します。[表示] メニューから [ズームアウトモード] を選択しても、ズームアウトモードになります。
 スクロールモード	スクロールモードになり、画像をドラッグして表示位置を移動できます。[表示] メニューから [スクロールモード] を選択しても、スクロールモードになります。



### 表示倍率を指定する

- [表示] メニューから [現在の画像の表示倍率] を選択し、[16%] ～ [400%] の範囲で表示倍率を選択すると、希望の倍率で画像を表示できます。
- [表示] メニューから [全ての画像の表示倍率] を選択し、[16%] ～ [400%]、[画面にフィット] を選択すると、編集中のすべての画像を希望の倍率で表示できます。

### 一時的に別のモードに切り替える

- [Option] キーや [Alt] キーなどを使って、一時的に別のモードに切り替えることができます。

ズームインモードのとき

[Option] キー (Macintosh) / [Alt] キー (Windows)  
: ズームアウトモードになります。

[Command] キー (Macintosh) / [Ctrl] キー (Windows)  
: スクロールモードになります。

ズームアウトモードのとき

[Option] キー (Macintosh) / [Alt] キー (Windows)  
: ズームインモードになります。

[Command] キー (Macintosh) / [Ctrl] キー (Windows)  
: スクロールモードになります。

スクロールモードのとき

[Option] キー (Macintosh) / [Alt] キー (Windows)  
: ズームアウトモードになります。

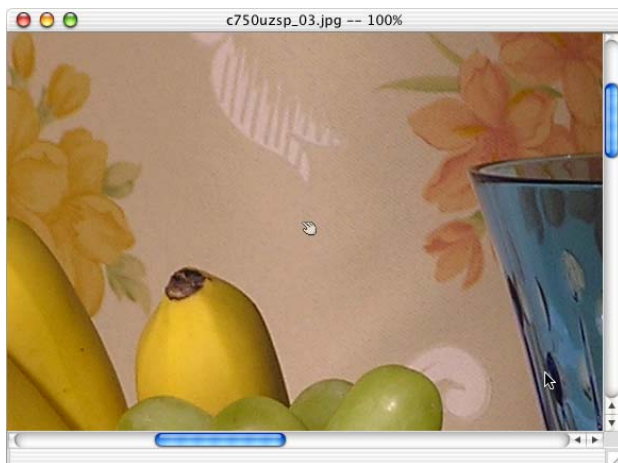
[Command] キー (Macintosh) / [Ctrl] キー (Windows)  
: ズームインモードになります。

**1** 画像を拡大／縮小表示、または移動したい画像表示ウィンドウを選択する。

**2** ツールバーから目的のアイコンをクリックする。

- 画像を拡大表示する場合は、[ズームインモード] アイコンをクリックしてズームインモードにし、画像上をクリックします。  
クリックするたびに、画像が段階的に拡大表示されます。
- 画像を縮小表示する場合は、[ズームアウトモード] アイコンをクリックしてズームアウトモードにし、画像上をクリックします。  
クリックするたびに、画像が段階的に縮小表示されます。
- 画像の表示位置を移動する場合は、[スクロールモード] アイコンをクリックしてスクロールモードにし、画像上をドラッグします。  
ドラッグした方向に、画像が移動します。

### スクロールモードでの画像の移動



- 一時的に別のモードに切り替えて画像を操作することができます。  
Macintosh の場合は、[Option] キーまたは [Command] キーを押しながら、Windows の場合は、[Alt] キーまたは [Ctrl] キーを押しながら操作します。
- 複数の画像表示ウィンドウを表示しているとき、表示方法を変更することができます。  
[ウィンドウ] メニューから [重ねて表示] / [並べて表示] / [縦に並べて表示] / [横に並べて表示] を選択します。

## ナビゲータを表示する

画像表示ウィンドウに表示されている画像の表示位置を[ナビゲータ]ウィンドウで表示します。

### 1 [表示]メニューから[ナビゲータを表示]を選択する。

[ナビゲータ]ウィンドウが表示されます。

[ナビゲータ]ウィンドウ



現在編集中の画像表示ウィンドウに表示されている部分が赤い枠で表示されます。

赤い枠をドラッグすると、画像の表示位置を変更することができます。

### 2 [表示]メニューから[ナビゲータを隠す]を選択し、[ナビゲータ]ウィンドウを閉じる。



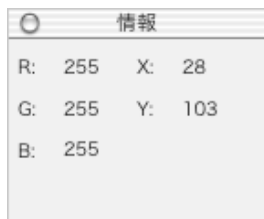
## RGB / 座標情報を表示する

画像編集ウィンドウのカーソル位置の RGB 値と座標情報を表示します。

### 1 [表示] メニューから [情報を表示] を選択する。

[情報] ウィンドウが表示されます。

[情報] ウィンドウ



### 2 RGB 値と座標を確認したい位置へマウスカーソルを移動する。

RGB 値と座標の情報が [情報] ウィンドウに表示されます。マウスカーソルを移動すると数値が変化します。マウスカーソルが画像の外側にあるときは空欄となります。

### 3 [表示] メニューから [情報を隠す] を選択し、[情報] ウィンドウを閉じる。

## プロパティを表示する

選択した画像のモデル名などの機材情報、絞り値や露出補正などの撮影情報、色数などの画像情報、Exif タグについての情報などを表示します。表示される内容はブラウザウィンドウのプロパティ領域の内容と同じです。

### 1 [表示] メニューから [プロパティを表示] を選択する。


[プロパティ] ウィンドウが表示されます。

#### [プロパティ] ウィンドウ



### 2 [一般] タブまたは [Exif] タブを選択し、プロパティを確認する。

画像の設定内容を変更した場合は、項目が太字で表示されます。

 「画像情報の表示」 P.82

### 3 [表示] メニューから [プロパティを隠す] を選択し、[プロパティ] ウィンドウを閉じる。

# 画像の編集

画像編集ウィンドウで編集する画像を選択し、編集作業を行います。

## 画像処理バーと画像処理パレット

OLYMPUS Studio の画像編集は、画像処理バーと画像処理パレットで行います。画像処理バーで編集項目を選択すると、編集項目に対応した画像処理パレットが表示されますので、そこで設定を行います。

### 画像処理パレット



### 画像処理バー



画像処理バーで選択する編集項目は以下の通りです。

項目	内容	参照頁
RAW 現像設定	RAW データの設定を行います。	P.155
サイズ変更	画像のサイズを変更します。	P.158
歪み補正	画像の歪みを補正します。	P.159
シェーディング補正	画像のシェーディング補正（周辺光量調整）を行います。	P.160
ノイズリダクション	画像のノイズを軽減します。	P.161
フィルタ	画像にカラーフィルタやモノクロ・セピアなどの特殊効果を設定します。	P.162
回転・反転	画像を回転・反転させます。	P.164
トーンカーブ	トーンカーブの補正を行います。	P.165
明るさ・コントラスト	画像の明るさやコントラスト（明暗の差）を調整します。	P.166
ガンマ補正	画像のガンマ補正（画像の中間色の補正）を行います。	P.167
カラーバランス	赤・緑・青の3色のバランスを調整します。	P.168
シャープネス	画像の鮮鋭度を調整します。	P.169
色相・彩度・明度	画像の色相（色の濃淡と色味）・彩度（色の鮮やかさ）・明度（色の明るさ）を調整します。	P.170
テキスト挿入	画像に文字を入力します。	P.171
トリミング	周囲の不要な部分を切り落として画像をトリミングします。	P.174

# 画像処理バーの操作

画像編集ウィンドウを起動すると画像処理バーが表示されます。それぞれの編集作業は、画像処理バーから編集項目をクリックして表示される画像編集パレットで行います。

## 1 画像処理バーから編集したい項目のボタンをクリックする。




画像処理パレットが表示されます。

画像処理バー



画像処理パレット



項目	内容
 [バッチ対象]	<p>バッチ処理（一括編集処理）が可能な編集機能です。バッチ処理とは、複数のファイルやフォルダ単位で画像の編集作業を一括して行うことです。チェックマークを付けると、バッチ処理の対象となります。</p> <p>各画像処理パレット上の「適用する」にチェックマークが付いていないと、「バッチ対象」にチェックマークを付けることはできません。「バッチ処理（一括編集処理）」P.181</p>
 [適用する]	<p>チェックマークを付けると、画像処理パレットで設定した内容が画像に反映されます。</p> <p>チェックマークを外すと、画像処理パレットで設定した内容が取り消されます。</p> <p>各画像処理パレット上の「適用する」チェックボックスと連動して、チェックマークの状態が切り替わります。</p>

## 2 画像処理パレットで設定を行う。

設定値を変更するたびに、設定内容が画像に反映されて表示されますので、編集結果を確認しながら設定を行うことができます。ただし、[サイズ変更] は画面表示では確認できません。



### [適用する] チェックマークについて

- 画像処理パレットで設定値を変更すると、自動的に [適用する] にチェックマークが付きます。設定した内容を無効にする場合は、[適用する] のチェックマークを外します。

## 3 画像処理バーの項目を再度クリックして、画像処理パレットを閉じる。



### メニューからの表示／非表示

- 画像処理バーの表示は、他にも [画像] メニューから [画像処理バー] を選択すると表示され、チェックマークが付きます。チェックマークを外すと非表示になります。
- 画像処理パレットは、[画像] メニューから編集したい項目を選択すると表示されます。

### ツールバーからの表示／非表示

- ツールバーの [画像処理バー] アイコンをクリックして、画像処理バーの表示／非表示を切り替えることができます。

# RAW 現像設定

RAW データの現像処理を行います。編集対象の画像ファイルが RAW Data (\*.orf) 形式の場合のみ設定可能です。バッチ処理で複数の RAW データを一括して設定することもできます。

RAW データとは、ホワイトバランス、シャープネス、コントラスト、色変換などの現像処理を行っていない未加工のデータを指します。

## 1 RAW データの画像を選択する。

編集対象の画像ファイルが RAW Data (\*.orf) 形式の場合のみ選択できます。

## 2 画像処理バーから [RAW 現像設定] ボタンをクリックする。 または、[画像] メニューから [RAW 現像設定] を選択する。

[RAW 現像設定] パレットが表示されます。

### [RAW 現像設定] パレット



### 3 項目を設定する。

項目	内容
適用する	チェックマークを付けると、設定内容を画像に反映します。 チェックマークを外すと、設定内容を取り消します。
露出補正	画像の露出を調整します。 つまみを左右にドラッグして、露出を手動で調整します。 0.1EV単位で-2.0～+2.0の範囲で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。
ホワイトバランス	<p>画像のホワイトバランスを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 撮影時設定： チェックマークを付けると、撮影時のホワイトバランスの設定を使用します。右側に撮影時の設定値が表示されます。プリセットホワイトバランスが設定されている場合は[5300K (晴天) +3 STEP] のように表示され、ワンタッチホワイトバランスが設定されている場合は[ワンタッチ WB 1] のように表示されます。</li> <li>• 色温度設定*： [3000K (電球)] ～ [7500K (晴天日陰)] の範囲で 12 段階の設定ができます。 微調整：スライダーのつまみを左右にドラッグして、色温度を手動で調整します。-7 ～ 7 STEP の範囲で 15 段階の設定ができます。</li> <li>• グレー点指定*： [スポイト] ボタンをクリックすると、マウスカースオルがスポイト状になります。画像上の任意の点をクリックしてグレー点を指定します。このとき、クリックした点の RGB 平均値が [R]、[G]、[B] それぞれに表示されます。</li> </ul>
彩度	<p>画像の色の濃さを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 撮影時設定： チェックマークを付けると、撮影時の彩度の設定を使用します。右側に撮影時の設定値が表示されます。</li> <li>• 彩度強調*： スライダーのつまみを左右にドラッグして、彩度を手動で調整します。CS0～CS4の範囲で5段階の設定ができます。</li> <li>• 記憶色強調*： 事前に設定された [CM1 (R 強調)]、[CM2 (G 強調)]、[CM3 (B 強調)]、[CM4 (肌色強調)] の 4 項目から彩度を選択します。</li> </ul>
コントラスト	<p>画像のコントラストを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 撮影時設定： チェックマークを付けると、撮影時のコントラストの設定を使用します。右側に撮影時の設定値が表示されます。</li> <li>• スライダー： つまみを左右にドラッグして、コントラストを手動で調整します。-2 ～ 2 の範囲で 5 段階の設定ができます。</li> </ul>



シャープネス	<p>画像の鮮鋭度を調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>撮影時設定：                     <p>チェックマークを付けると、撮影時のシャープネスの設定を使用します。右側に撮影時の設定値が表示されます。</p> </li> <li>スライダー*：                     <p>つまみを左右にドラッグして、シャープネスを手動で調整します。-3～3の範囲で7段階の設定ができます。</p> </li> </ul>
ノイズフィルタ	<p>画像処理時のランダムノイズ除去の有無を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>撮影時設定：                     <p>チェックマークを付けると、撮影時のノイズフィルタの設定を使用します。右側に撮影時の設定値が表示されます。</p> </li> <li>OFF / ON*：                     <p>ランダムノイズを除去する場合は ON を選択します。</p> </li> </ul>
カラー設定	<p>画像のカラー設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>撮影時設定：                     <p>チェックマークを付けると、撮影時のカラー情報の設定を使用します。右側に撮影時の設定値が表示されます。</p> </li> <li>リスト*：                     <p>[sRGB] / [Adobe RGB] / [ProPhoto RGB] からカラー設定を選択します。</p> </li> </ul>
RAW 展開エンジン	<p>RAW データを開くときの処理を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高速：                     <p>RAW データの現像を高速モードで行います。</p> </li> <li>高機能：                     <p>RAW データの現像を高機能モードで行います。</p> </li> </ul>

\* [撮影時設定] にチェックマークを付けると淡色表示となり、設定できません。

## 4 [適用する] にチェックマークが付いていることを確認する。

パレット上で設定を変更すると、自動的に [適用する] にチェックマークが付き、設定した内容が画像に反映されます。

## 5 画像処理バーから [RAW 現像設定] ボタンをクリックする。 または、[画像] メニューから [RAW 現像設定] を選択して、[RAW 現像設定] パレットを開じる。



注意

- RAW 現像設定は、RAW 形式の画像にのみ使用できます。その他の保存形式の画像を選択すると [RAW 現像設定] は淡色表示となり、設定できません。
- オリンパス製の E-1 以外のカメラで撮影した RAW データは、上書き保存できません。

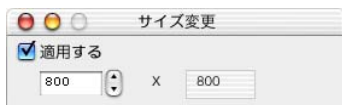
## サイズ変更



画像のサイズを変更します。実際のサイズ変更は画像保存時に行われ、編集画面には反映されません。バッチ処理（一括編集処理）で複数の画像のサイズを変更することもできます。

- 1 画像処理バーから「サイズ変更」ボタンをクリックする。  
または、「画像」メニューから「サイズ変更」を選択する。

「サイズ変更」パレットが表示されます。

### 「サイズ変更」パレット



項目	内容
適用する	チェックマークを付けると、設定内容を画像に反映します。 チェックマークを外すと、設定内容を取消します。
サイズ設定	画像サイズをピクセル単位で指定します。  または  で指定することもできます。縦のサイズを指定すると、横のサイズは自動的に変更されます。指定したサイズ内で、画像の縦横比を保持して画像サイズが変更されます。

- 2 項目を設定する。

- 3 「適用する」にチェックマークが付いていることを確認する。

パレット上で設定を変更すると、自動的に「適用する」にチェックマークが付き、設定した内容が画像に反映されます。

- 4 画像処理バーから「サイズ変更」ボタンをクリックする。  
または、「画像」メニューから「サイズ変更」を選択して、「サイズ変更」パレットを閉じる。

## 歪み補正

画像の歪みを補正します。バッチ処理（一括編集処理）で、複数の画像に対して補正することもできます。

- 1 画像処理バーから「歪み補正」ボタンをクリックする。  
または、「画像」メニューから「歪み補正」を選択する。

「歪み補正」パレットが表示されます。

「歪み補正」パレット



項目	内容
適用する	チェックマークを付けると、設定内容を画像に反映します。チェックマークを外すと、設定内容を取り消します。
自動	画像に記録されている補正情報を読み込み、自動的に歪みを補正します。補正情報が付加されていない場合や、すでに歪み補正済みの場合は淡色表示となり設定できません。
手動	スライダーのつまみを左右にドラッグして、歪みを手動で補正します。-100 ~ 100 の範囲で設定できます。📷または📷をクリックすると 10 単位で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。

- 2 項目を設定する。

- 3 「適用する」にチェックマークが付いていることを確認する。

パレット上で設定を変更すると、自動的に「適用する」にチェックマークが付き、設定した内容が画像に反映されます。

- 4 画像処理バーから「歪み補正」ボタンをクリックする。  
または、「画像」メニューから「歪み補正」を選択して、「歪み補正」パレットを閉じる。



注意

- レンズに中間リングやテレコンバージョンレンズなどを付けて撮影した画像の場合、「自動」では歪み補正が正しく実行されないことがあります。

## シェーディング補正

画像のシェーディング補正（周辺光量調整）を行います。シェーディング情報が付加されている JPEG / TIFF / RAW 画像に対してのみ、シェーディング補正を実行できます。バッチ処理（一括編集処理）で複数の画像に対して補正することもできます。

- 1 画像処理バーから「シェーディング補正」ボタンをクリックする。  
または、[画像] メニューから「シェーディング補正」を選択する。

「シェーディング補正」パレットが表示されます。

「シェーディング補正」パレット



項目	内容
適用する	チェックマークを付けると、設定内容を画像に反映します。チェックマークを外すと、設定内容を取り消します。
自動	画像に記録されている補正情報を読み込み、自動的にシェーディングを補正します。補正情報が付加されていない場合や、すでにシェーディング補正済みの場合は淡色表示となり設定できません。
手動	スライダーのつまみを左右にドラッグして、シェーディングを手動で補正します。0～100%の範囲で設定できます。[←] または [→] をクリックすると 10% 単位で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。

- 2 項目を設定する。

- 3 「適用する」にチェックマークが付いていることを確認する。

パレット上で設定を変更すると、自動的に「適用する」にチェックマークが付き、設定した内容が画像に反映されます。

- 4 画像処理バーから「シェーディング補正」ボタンをクリックする。  
または、[画像] メニューから「シェーディング補正」を選択して、  
「シェーディング補正」パレットを閉じる。



注意

- レンズに中間リングやテレコンバージョンレンズなどを付けて撮影した画像の場合、[自動] ではシェーディング補正が正しく実行されないことがあります。

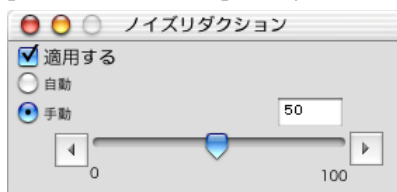
## ノイズリダクション

画像のノイズを軽減する処理を行います。バッチ処理（一括編集処理）で、複数の画像に対してノイズリダクションを実行することもできます。

- 1 画像処理バーから【ノイズリダクション】ボタンをクリックする。  
または、【画像】メニューから【ノイズリダクション】を選択する。

【ノイズリダクション】パレットが表示されます。

【ノイズリダクション】パレット



項目	内容
適用する	チェックマークを付けると、設定内容を画像に反映します。チェックマークを外すと、設定内容を取り消します。
自動	画像のノイズを自動的に軽減します。
手動	スライダーのつまみを左右にドラッグして、軽減の度合いを手動で調整します。0～100の範囲で設定できます。◀または▶をクリックすると、10単位で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。

- 2 項目を設定する。

- 3 【適用する】にチェックマークが付いていることを確認する。

パレット上で設定を変更すると、自動的に【適用する】にチェックマークが付き、設定した内容が画像に反映されます。

- 4 画像処理バーから【ノイズリダクション】ボタンをクリックする。  
または、【画像】メニューから【ノイズリダクション】を選択して、【ノイズリダクション】パレットを閉じる。

## フィルタ

画像にカラーフィルタやモノクロ・セピアの特殊効果を付けます。バッチ処理（一括編集処理）で、複数の画像に対して特殊効果を付けることもできます。

- 1 画像処理バーから【フィルタ】ボタンをクリックする。  
または、【画像】メニューから【フィルタ】を選択する。

【フィルタ】パレットが表示されます。

【フィルタ】パレット



項目	内容
適用する	チェックマークを付けたと、設定内容を画像に反映します。 チェックマークを外すと、設定内容を取り消します。
カラーフィルタ	<p>画像に反映したいカラーフィルタをリストから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>赤（弱～強）： 画像全体に赤色のフィルタをかけたような効果を出します。[弱]／[やや弱]／[強] から選択します。</li> <li>青（やや弱、強）： 画像全体に青色のフィルタをかけたような効果を出します。[やや弱]／[強] から選択します。</li> <li>緑： 画像全体に緑色のフィルタをかけたような効果を出します。</li> <li>ウォーム： 暖かみや温もりを強調するフィルタをかけたような効果を出します。</li> <li>ポートレート： 肌色を美しく強調するフィルタをかけたような効果を出します。</li> </ul>

モノクロ	<p>画像をグレースケールにします。画像に反映したいフィルタをリストから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黄 (Y) : モノクロ写真用の黄色のフィルタをかけたような効果を出します。</li> <li>・ 橙 (YA) : モノクロ写真用の橙色のフィルタをかけたような効果を出します。</li> <li>・ 赤 (R) : モノクロ写真用の赤色のフィルタをかけたような効果を出します。</li> </ul>
セピア	<p>画像をセピア調にします。スライダーのつまみを左右にドラッグして、強さを調整します。-10 ~ 10 の範囲で設定できます。◀ または ▶ をクリックすると 1 単位で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。</p>

## 2 項目を設定する。

### 3 [適用する] にチェックマークが付いていることを確認する。

パレット上で設定を変更すると、自動的に [適用する] にチェックマークが付き、設定した内容が画像に反映されます。

### 4 画像処理バーから [フィルタ] ボタンをクリックする。 または、[画像] メニューから [フィルタ] を選択して、[フィルタ] パレットを閉じる。

## 回転・反転

画像を回転・反転させます。バッチ処理（一括編集処理）で、複数の画像を回転・反転させることもできます。

- 1 画像処理バーから【回転・反転】ボタンをクリックする。  
または、【画像】メニューから【回転・反転】を選択する。

【回転・反転】パレットが表示されます。

【回転・反転】パレット



項目	内容
適用する	チェックマークを付けると、設定内容を画像に反映します。 チェックマークを外すと、設定内容を取り消します。
回転	チェックマークを付けると、画像を回転できます。リストの [右 90 度]／[左 90 度]／[180 度] から回転する角度を選択 します。
反転	チェックマークを付けると、画像を反転できます。リストの [上下]／[左右] から反転の方向を選択します。

- 2 項目を設定する。

- 3 【適用する】にチェックマークが付いていることを確認する。

パレット上で設定を変更すると、自動的に【適用する】にチェックマークが付き、設定した内容が画像に反映されます。

- 4 画像処理バーから【回転・反転】ボタンをクリックする。  
または、【画像】メニューから【回転・反転】を選択して、【回転・反転】パレットを閉じる。



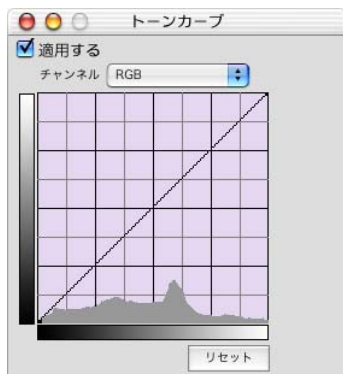
# トーンカーブ

トーンカーブの補正を行います。トーンカーブ補正により、画像全体への影響を最小限に抑えて特定のレベルの明るさを調整できます。

- 1 画像処理バーから「トーンカーブ」ボタンをクリックする。  
または、「[画像]」メニューから「トーンカーブ」を選択する。

「トーンカーブ」パレットが表示されます。

## 「トーンカーブ」パレット



項目	内容
適用する	チェックマークを付けると、設定内容を画像に反映します。チェックマークを外すと、設定内容を消します。
チャンネル	リストの [RGB] / [R] / [G] / [B] から、補正の対象とするチャンネルを選択します。
トーンカーブ	トーンカーブ上で変化を抑制する箇所をクリックして指定します。抑制箇所指定後にトーンカーブをドラッグし、明るさを調整します。
[リセット]	トーンカーブを初期設定の状態に戻します。

- 2 項目を設定する。

- 3 「適用する」にチェックマークが付いていることを確認する。

パレット上で設定を変更すると、自動的に「適用する」にチェックマークが付き、設定した内容が画像に反映されます。

- 4 画像処理バーから「トーンカーブ」ボタンをクリックする。  
または、「[画像]」メニューから「トーンカーブ」を選択して、「トーンカーブ」パレットを閉じる。

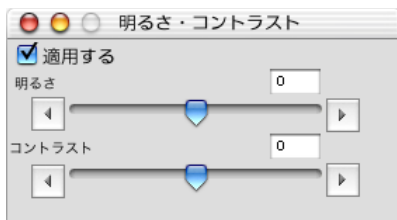
## 明るさ・コントラスト

画像の明るさやコントラスト（明暗の差）を調整します。

- 1 画像処理バーから【明るさ・コントラスト】ボタンをクリックする。  
または、【画像】メニューから【明るさ・コントラスト】を選択する。

【明るさ・コントラスト】パレットが表示されます。

【明るさ・コントラスト】パレット



項目	内容
適用する	チェックマークを付けると、設定内容を画像に反映します。チェックマークを外すと、設定内容を取り消します。
明るさ	スライダーのつまみを左右にドラッグして、明るさを調整します。-100 ~ 100 の範囲で設定できます。◀または▶をクリックすると、10 単位で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。
コントラスト	スライダーのつまみを左右にドラッグして、コントラストを調整します。-100 ~ 100 の範囲で設定できます。◀または▶をクリックすると、10 単位で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。

- 2 項目を設定する。

- 3 【適用する】にチェックマークが付いていることを確認する。

パレット上で設定を変更すると、自動的に【適用する】にチェックマークが付き、設定した内容が画像に反映されます。

- 4 画像処理バーから【明るさ・コントラスト】ボタンをクリックする。  
または、【画像】メニューから【明るさ・コントラスト】を選択して、  
【明るさ・コントラスト】パレットを閉じる。

# ガンマ補正

画像のガンマ補正（画像の中間色の補正）を行います。

- 1 画像処理バーから「ガンマ補正」ボタンをクリックする。  
または、「画像」メニューから「ガンマ補正」を選択する。

「ガンマ補正」パレットが表示されます。

「ガンマ補正」パレット



項目	内容
適用する	チェックマークを付けると、設定内容を画像に反映します。 チェックマークを外すと、設定内容を取り消します。
スライダー	つまみを左右にドラッグして、調整します。0.4～2.5の範囲で設定できます。◀ または ▶ をクリックすると、0.1単位で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。

- 2 項目を設定する。

- 3 「適用する」にチェックマークが付いていることを確認する。

パレット上で設定を変更すると、自動的に「適用する」にチェックマークが付き、設定した内容が画像に反映されます。

- 4 画像処理バーから「ガンマ補正」ボタンをクリックする。  
または、「画像」メニューから「ガンマ補正」を選択して、「ガンマ補正」パレットを閉じる。

# カラーバランス

赤・緑・青の3色のバランスを調整し、自然な色合いが表現できるようにします。

- 1 画像処理バーから【カラーバランス】ボタンをクリックする。  
または、【画像】メニューから【カラーバランス】を選択する。

【カラーバランス】パレットが表示されます。

## 【カラーバランス】パレット



項目	内容
適用する	チェックマークを付けると、設定内容を画像に反映します。 チェックマークを外すと、設定内容を取り消します。
赤	スライダーのつまみを左右にドラッグして、調整します。-100～100の範囲で設定できます。■または■をクリックすると、10単位で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。
緑	スライダーのつまみを左右にドラッグして、調整します。-100～100の範囲で設定できます。■または■をクリックすると、10単位で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。
青	スライダーのつまみを左右にドラッグして、調整します。-100～100の範囲で設定できます。■または■をクリックすると、10単位で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。
輝度を保持する	チェックマークを付けると、赤・緑・青の調整時にも輝度値は変更されません。

- 2 項目を設定します。

- 3 【適用する】にチェックマークが付いていることを確認する。

パレット上で設定を変更すると、自動的に【適用する】にチェックマークが付き、設定した内容が画像に反映されます。

- 4 画像処理バーから【カラーバランス】ボタンをクリックする。  
または、【画像】メニューから【カラーバランス】を選択して、【カラーバランス】パレットを閉じる。

## シャープネス

画像のシャープネス（鮮鋭度）を調整します。

- 1 画像処理バーから「シャープネス」ボタンをクリックする。  
または、「画像」メニューから「シャープネス」を選択する。

「シャープネス」パレットが表示されます。

「シャープネス」パレット



項目	内容
適用する	チェックマークを付けると、設定内容を画像に反映します。 チェックマークを外すと、設定内容を取り消します。
スライダー	つまみを左右にドラッグして、調整します。0 ～ 7 の範囲で設定できます。◀ または ▶ をクリックすると、1 単位で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。

- 2 項目を設定する。

- 3 「適用する」にチェックマークが付いていることを確認する。

パレット上で設定を変更すると、自動的に「適用する」にチェックマークが付き、設定した内容が画像に反映されます。

- 4 画像処理バーから「シャープネス」ボタンをクリックする。  
または、「画像」メニューから「シャープネス」を選択して、「シャープネス」パレットを閉じる。

## 色相・彩度・明度

画像の色相（色の濃淡と色味）・彩度（色の鮮やかさ）・明度（色の明るさ）を調整します。

- 1 画像処理バーから【色相・彩度・明度】ボタンをクリックする。  
または、【画像】メニューから【色相・彩度・明度】を選択する。

【色相・彩度・明度】パレットが表示されます。

【色相・彩度・明度】パレット



項目	内容
適用する	チェックマークを付けると、設定内容を画像に反映します。 チェックマークを外すと、設定内容を取り消します。
色相	スライダーのつまみを左右にドラッグして、濃淡と色味を調整します。 -180 ~ 180 の範囲で設定できます。◀ または ▶ をクリックすると、 10 単位で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。
彩度	スライダーのつまみを左右にドラッグして、鮮やかさを調整します。 -100 ~ 100 の範囲で設定できます。◀ または ▶ をクリックすると、 10 単位で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。
明度	スライダーのつまみを左右にドラッグして、明るさを調整します。 -100 ~ 100 の範囲で設定できます。◀ または ▶ をクリックすると、 10 単位で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。

- 2 項目を設定する。

- 3 【適用する】にチェックマークが付いていることを確認する。

パレット上で設定を変更すると、自動的に【適用する】にチェックマークが付き、設定した内容が画像に反映されます。

- 4 画像処理バーから【色相・彩度・明度】ボタンをクリックする。  
または、【画像】メニューから【色相・彩度・明度】を選択して、【色相・彩度・明度】パレットを閉じる。

## テキスト挿入





画像上に文字を挿入し、タイトルやキャプションを付けることができます。

- 1 画像処理バーから「テキスト挿入」ボタンをクリックする。  
または、「画像」メニューから「テキスト挿入」を選択する。

「テキスト挿入」パレットが表示されます。

### 「テキスト挿入」パレット



項目	内容
適用する	チェックマークを付けると、設定内容を画像に反映します。 チェックマークを外すと、設定内容を取り消します。
文字	<p>文字のフォントや色などについて設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フォント名： 現在設定されているフォント名が右側に表示されます。 [フォント] ボタンをクリックすると [フォント] ダイアログが表示され、挿入するテキストのフォント、スタイル、サイズを指定できます。[色] ボタンをクリックすると、色選択用のダイアログが表示され、挿入するテキストの色を指定できます。</li> <li>透明度： スライダーのつまみを左右にドラッグして、文字の透明度を手動で調整します。0～100%の範囲で設定できます。数値を直接入力しても設定できます。 0%では透過無しの状態が表示され、100%では文字が完全に透過され見えない状態になります。</li> <li>影を付ける： チェックマークを付けると、文字に影を付けます。</li> </ul>
挿入文字列	<p>画像上に挿入する文字列を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[撮影情報を挿入]： 撮影日時や露出補正などの撮影情報を挿入できます。</li> </ul>
挿入位置	<p>文字の挿入位置について設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>固定： テキストの挿入位置を左上／中央上／右上／中央左／中央／中央右／左下／中央下／右下から選択して、指定します。 画像上でのドラッグによる文字移動はできません。</li> <li>任意： 画像上の任意の位置にテキストを挿入できます。画像上で文字をドラッグして移動できます。</li> </ul>
画像の端との間隔	<p>[挿入位置] で [固定] を選択している場合、画像枠の端とテキスト枠との間隔を指定できます。[挿入位置] で [任意] を選択している場合は設定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>縦方向： 画像の上端または下端からの間隔をピクセル単位で指定します。 または  で指定することもできます。位置が中央の場合は指定できません。</li> <li>横方向： 画像の左端または右端からの間隔をピクセル単位で指定します。 または  で指定することもできます。位置が中央上／中央／中央下の場合は指定できません。</li> </ul>

## 2 項目を設定する。

### 3 [適用する] にチェックマークが付いていることを確認する。

パレット上で設定を変更すると、自動的に [適用する] にチェックマークが付き、設定した内容が画像に反映されます。



- 4 画像処理バーから「テキスト挿入」ボタンをクリックする。  
または、「画像」メニューから「テキスト挿入」を選択して、「テキスト挿入」パレットを開じる。

# トリミング

画像のトリミング（周囲の不要な部分を切り落として画像を整える）を行います。実際のトリミングは画像保存時に行われます。

- 1 画像処理バーから「トリミング」ボタンをクリックする。  
または、「画像」メニューから「トリミング」を選択する。

「トリミング」パレットが表示されます。

## 「トリミング」パレット



項目	内容
適用する	チェックマークを付けると、設定内容で画像上にトリミング枠が表示されます。画像の保存時には、この枠の範囲でトリミングが行われます。チェックマークを外すと、トリミング枠は表示されず、トリミングは行われません。
サイズ	トリミングのサイズを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>幅：           画像の幅を指定します。画像上のトリミング枠を直接ドラッグして指定することもできます。また、 または  をクリックして指定することもできます。         </li> <li>高さ：           画像の高さを指定します。画像上のトリミング枠を直接ドラッグして指定することもできます。また、 または  をクリックして指定することもできます。         </li> </ul>
位置	トリミング枠の左上角の座標位置を表示します。
トリミング部分を非表示	チェックマークを付けると、トリミング枠の外側の部分（トリミングされた部分）を非表示にします。

- 2 項目を設定する。

### 3 [適用する] にチェックマークが付いていることを確認する。

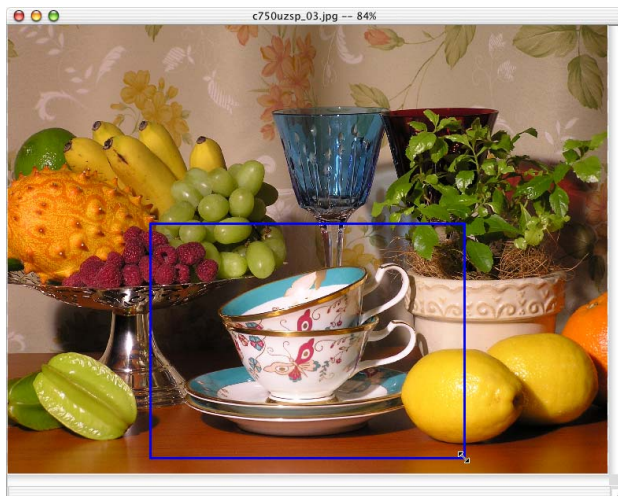
パレット上で設定を変更すると、自動的に [適用する] にチェックマークが付き、設定した内容が画像に反映されます。

### 4 トリミング位置を指定する。

[適用する] にチェックマークを付けると、カーソルが矢印カーソルに変わります (位置によって矢印の種類が変わります)。

画像上のトリミング枠をドラッグして、トリミング位置を指定します。

トリミングのサイズを変更することもできます。



設定した内容が画像に反映されます。

### 5 画像処理バーから [トリミング] ボタンをクリックする。 または、[画像] メニューから [トリミング] を選択して、[トリミング] パレットを閉じる。

## 赤目補正

人物を撮影して発生する赤目（目が赤く写る）現象を補正します。

- 1** [画像] メニューから [赤目補正モード] を選択する。  
または、ツールバーの [赤目補正モード] アイコンをクリックする。  
[画像] メニューの [赤目補正モード] がオンになり、赤目補正モードになります。
- 2** 画像上で補正したい範囲をドラッグして指定する。  
指定された範囲内で赤目補正が行われます。赤目補正モード中は、繰り返し実行できます。
- 3** [画像] メニューから [赤目補正モード] を選択する。  
または、ツールバーの [赤目補正モード] アイコンをクリックする。  
[画像] メニューの [赤目補正モード] がオフになり、赤目補正モードが終了します。



### 赤目補正の範囲を点で指定する

- 赤目補正モード時に画像上の点をクリックすると、クリックした点の周囲の補正が実行されます。点単位で補正を行いたい場合に実行します。

# 設定内容の保存／読み込み

画像編集の設定内容だけを保存したファイルを「画像処理ファイル」といいます。この画像処理ファイルには、画像の編集で設定した画像処理パレットの内容をまとめて保存できます。今回の設定内容を別の画像に反映したい場合や、以前に設定した別の画像の設定内容と同じ条件で編集を行いたい場合などに、画像処理ファイルの保存や画像処理ファイルの読み込みを行います。

## 画像処理ファイルを保存する

編集時に設定した画像処理パレットの内容を、画像処理ファイルに保存します。[適用する] にチェックマークが付いている画像処理パレットの設定が、保存の対象となります。[適用する] のチェックマークが外れている画像処理パレットの設定は、保存されません。🔍「画像の編集」P.151

- 1 設定内容を保存したい画像をクリックして選択する。
- 2 [ツール] メニューから [画像処理ファイルに保存] を選択する。

Macintosh の場合は、[画像処理ファイルに保存] ダイアログが表示されます。

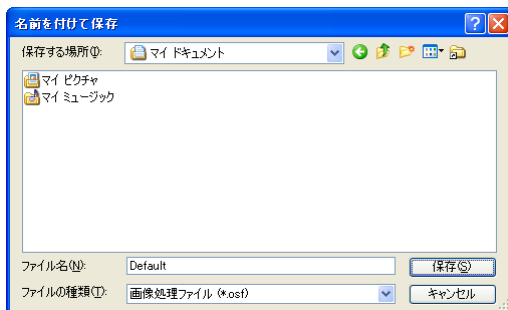
### [画像処理ファイルに保存] ダイアログ



項目	内容
別名で保存	画像処理ファイルのファイル名を指定します。
場所	画像処理ファイルを保存するフォルダを指定します。
[キャンセル]	[画像処理ファイルに保存] を取り消します。
[保存]	設定したファイル名で画像処理ファイルを保存します。

Windows の場合は、[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

### [名前を付けて保存] ダイアログ



項目	内容
保存する場所	画像処理ファイルを保存するフォルダを指定します。
ファイル名	画像処理ファイルのファイル名を指定します。
ファイルの種類	画像処理ファイルを保存するファイルフォーマットとして、*.osf が表示されます。
[保存]	設定したファイル名で画像処理ファイルを保存します。
[キャンセル]	[名前を付けて保存] を取り消します。

## 3 ファイル名と保存先を指定し、[保存] ボタンをクリックします。

Macintosh の場合は、[別名で保存] と [場所] を指定し、[保存] ボタンをクリックします。Windows の場合は、[保存する場所] と [ファイル名] を指定し、[保存] ボタンをクリックします。

指定したファイル名で画像処理ファイルが保存されます。



- 画像処理ファイルの拡張子は \*.osf になります。

## 画像処理ファイルを読み込む

保存した画像処理ファイルの設定内容を読み込むと、画像と画像処理パレットに反映します。画像表示ウィンドウが表示されていない場合は、画像処理パレットにのみ反映されます。

- 1 設定内容を反映したい画像をクリックして選択する。
- 2 [ツール]メニューから[画像処理ファイルの読み込み]を選択します。  
Macintosh の場合は、[画像処理ファイルの読み込み] ダイアログが表示されます。

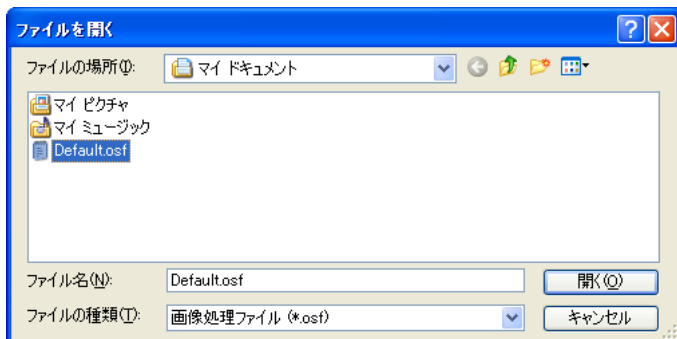
### [画像処理ファイルの読み込み] ダイアログ



項目	内容
場所	開きたい画像処理ファイルの保存場所を指定します。
移動先	ファイルの保存先に指定したドライブまたはフォルダのパスが表示されます。
[よく使う項目に追加]	フォルダツリーで選択した [よく使う項目] フォルダに追加されます。
[キャンセル]	[開く] を取り消します。
[開く]	選択した画像処理ファイルを開きます。

Windows の場合は、[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

### [ファイルを開く] ダイアログ



項目	内容
ファイルの場所	開きたい画像処理ファイルの保存場所を指定します。
ファイル名	画像処理ファイルのファイル名を指定します。
ファイルの種類	画像処理ファイルのファイルフォーマットとして、*.osf が表示されます。
[開く]	選択した画像処理ファイルを開きます。
[キャンセル]	[ファイルを開く] を取り消します。

## 3 画像処理ファイルの保存場所とファイル名を指定し、[開く] ボタンをクリックする。

Macintosh の場合は、[場所] でファイル名を指定し、[開く] ボタンをクリックします。

Windows の場合は、[ファイルの場所] と [ファイル名] を指定し、[開く] ボタンをクリックします。

画像処理ファイルの拡張子は \*.osf です。

画像処理ファイルが読み込まれ、画像と画像処理パレットに設定内容が反映されます。画像表示ウィンドウが表示されていない場合は、画像処理パレットのみに反映されます。



# バッチ処理（一括編集処理）

画像に対する編集作業を、複数のファイルやフォルダ単位で一括して行うことができます。また、編集中の画像の設定やあらかじめ作成した画像処理ファイルの設定をバッチ処理に反映できます。



- 1 【ツール】メニューから【バッチ処理】を選択する。  
または、ツールバーの【バッチ処理】アイコンをクリックする。

【バッチ処理】ダイアログが表示されます。

## 【バッチ処理】ダイアログ



項目	内容
元画像	<p>パッチ処理を実行する画像を以下の3種類から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定したフォルダの画像： フォルダ単位で対象の画像を指定します。[参照] ボタンをクリックして、画像ファイルが保存されているフォルダを指定します。 [サブフォルダを含む] にチェックマークを付けると、サブフォルダ内の画像ファイルも対象となります。</li> <li>指定した画像： 特定の画像ファイルを指定します。[追加] ボタンをクリックして、画像ファイルを指定します。一覧からファイルを選択して[削除] ボタンをクリックすると、編集対象から削除します。</li> <li>開いている全ての画像： 画像編集ウィンドウで現在編集を行っている全ての画像に対してパッチ処理を行います。</li> </ul>
画像処理	<p>編集処理の内容を以下の2種類から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の設定内容を使用： 現在編集を行っている画像の設定内容が反映されます。画像編集バーで[パッチ対象] チェックボックスにチェックマークが付いていない編集機能は実行されません。</li> <li>画像処理ファイルを使用： 画像処理ファイルの設定内容が反映されます。[参照] ボタンをクリックして画像処理ファイルを指定します。</li> </ul>

保存先	<p>バッチ処理後の保存方法について設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• フォルダ：           <p>〔参照〕 ボタンをクリックして、画像の保存場所を指定します。</p> </li> <li>• ファイル名：           <p>以下のいずれかのファイル名を使用します。</p> <p>元画像のファイル名を使用：               <p>バッチ処理の対象となった画像ファイルと同じ名前で保存します。</p> <p>〔フォーマット〕 で異なるファイル形式が選択された場合は、拡張子のみが変更され別ファイルとして保存されます。</p> </p> <p>任意のファイル名：               <p>チェックマークを付けると、ファイル名が自動的に付けられ保存されます。〔命名規則〕 ボタンをクリックして〔命名規則〕 ダイアログを表示し、命名規則を設定することもできます。</p> </p></li> <li>• フォーマット：           <p>リストから保存する画像のフォーマットを指定します。</p> <p>「画像の保存」 P.194</p> </li> <li>• 圧縮率：           <p>〔フォーマット〕 から〔Exif-JPEG〕または〔JPEG〕を選択した場合のみ、指定することができます。〔高画質〕、〔標準画質〕、〔低画質〕から選択します。</p> </li> <li>• コメント：           <p>チェックマークを付けると、画像保存時に付加するコメントを入力することができます。</p> <p>〔フォーマット〕 から〔Exif-JPEG〕または〔Exif-TIFF〕を選択した場合のみ、チェックマークを付けることができます。それ以外は淡色表示されます。</p> </li> </ul>
保存後、登録アプリケーションで開く	<p>チェックマークを付けると、バッチ処理終了後、自動的に登録アプリケーションでバッチ処理を行った画像が表示されます。「登録アプリケーションの起動」 P.193</p>
〔キャンセル〕	<p>バッチ処理を取り消します。</p>
〔OK〕	<p>設定した条件でバッチ処理を実行します。</p>

## 2 項目を指定し、[OK] ボタンをクリックする。

[OK] ボタンをクリックすると、設定した内容でバッチ処理が開始されます。




### バッチ処理の処理順序について

- バッチ処理実行時は、以下の順序で編集処理を行います。画像処理パレットの [バッチ対象] チェックボックスがオフの編集処理は実行されません。

RAW 現像設定→サイズ変更→歪み補正→シェーディング補正→  
ノイズリダクション→フィルタ→回転・反転

### [命名規則] ダイアログで命名規則を定義する

- [保存先] で [任意のファイル名] を選択した場合、[命名規則] ボタンをクリックして表示される [命名規則] ダイアログで命名規則を定義できます。

 「ファイル名を一括変更する」 P.98

# IPTC 情報の編集

国際新聞電気通信評議会 (IPTC) の規格に準拠した IPTC 情報の編集を行います。IPTC 情報は画像ごとにファイルとして記録され、[IPTC 情報の編集] ダイアログで表示、編集することができます。編集した IPTC 情報は上書き保存または別ファイルとして保存されます。別ファイルとして保存された IPTC 情報は、別の画像の [IPTC 情報の編集] ダイアログに読み込んで表示することができます。[IPTC 情報の編集] ダイアログは [一般] タブ、[キーワード] タブ、[カテゴリ] タブ、[作成元] タブから構成されています。

## 選択した画像の IPTC 情報を表示・編集する

- 1 IPTC 情報を表示・編集したい画像をクリックして選択する。
- 2 [ファイル] メニューから [IPTC 情報の編集] を選択する。  
[IPTC 情報の編集] ダイアログが表示されます。


[IPTC 情報の編集] ダイアログ


The screenshot shows the 'IPTC Information Edit' dialog box. The title bar reads 'IPTC情報の編集'. Below the title bar are four tabs: '一般' (General), 'キーワード' (Keywords), 'カテゴリ' (Categories), and '作成元' (Source). The '一般' tab is currently selected. The main area of the dialog contains several input fields: 'タイトル:' (Title), '作成者:' (Creator), '役職名:' (Job Title), 'キャプション:' (Caption) with a large text area, 'キャプション作成者:' (Caption Creator), and '著作権情報:' (Copyright Information). At the bottom of the dialog, there is a help icon (?), a '名前を付けて保存...' (Save with name...) button, a '読み込み' (Load) button, a 'キャンセル' (Cancel) button, and an 'OK' button.

項目	内容	参照頁
[一般] タブ	タイトル、作成者、役職名、キャプション、キャプション作成者、著作権情報を表示・編集します。	P.188
[キーワード] タブ	キーワードを表示・追加・削除します。	P.189
[カテゴリー] タブ	カテゴリーを表示・追加・削除します。	P.190
[作成元] タブ	作成日、市町村名、都道府県名、国名など作成元の情報を表示・編集します。	P.191
[名前を付けて保存]	IPTC 情報を別ファイルに保存します。	P.187
[読み込み]	別ファイルに保存した IPTC 情報を読み込み、[IPTC 情報の編集] ダイアログに表示します。	P.192
[キャンセル]	編集した内容を取り消します。	—
[OK]	編集した内容を適用します。	P.187

### 3 表示・編集するタブをクリックし、編集する。

[一般] タブ  「[一般] タブを表示、編集するには」 P.188

[キーワード] タブ  「[キーワード] タブを表示、編集するには」 P.189

[カテゴリー] タブ  「[カテゴリー] タブを表示、編集するには」 P.190

[作成元] タブ  「[作成元] タブを表示、編集するには」 P.191

## 4 編集内容を適用する。


編集した内容を選択した画像の IPTC 情報として適用する場合は、[OK] ボタンをクリックします。

## 5 編集内容を保存する。

手順 4 で適用した IPTC 情報を、選択した画像に保存する場合は、[ファイル] メニューから [上書き保存] または [名前を付けて保存] を選択して画像を保存します。



### IPTC 情報ファイルを作成する

- IPTC 情報だけを別ファイルとして保存することができます。[IPTC 情報の編集] ダイアログで内容を編集後、[名前を付けて保存] ボタンをクリックします。[名前を付けて保存] ダイアログが表示されますので、ファイル名と保存場所を指定し、[OK] ボタンをクリックします。編集した IPTC 情報が別ファイルとして保存されます。保存されたファイルの拡張子は \*.oif です。  
このとき、選択した画像に編集した IPTC 情報を適用したい場合は、手順 4 以降を行う必要があります。
- 保存した IPTC 情報ファイルは、別の画像に適用することができます。  
 「IPTC 情報を別の画像に適用する」 P.192

## ●【一般】タブを表示、編集するには

### 1 【IPTC 情報の編集】ダイアログで【一般】タブをクリックする。

【一般】タブ画面が表示されます。

【IPTC 情報の編集】ダイアログ【一般】タブ画面

The screenshot shows a dialog box titled 'IPTC情報の編集' (Edit IPTC Information). It has four tabs: '一般' (General), 'キーワード' (Keywords), 'カテゴリ' (Categories), and '作成元' (Creation). The '一般' tab is selected. Inside the dialog, there are several input fields: 'タイトル:' (Title), '作成者:' (Creator), '役職名:' (Job Title), 'キャプション:' (Caption), 'キャプション作成者:' (Caption Creator), and '著作権情報:' (Copyright Information). At the bottom, there are five buttons: a help button (question mark), '名前を付けて保存...' (Save with Name...), '読み込み' (Load), 'キャンセル' (Cancel), and 'OK'.

項目	内容
タイトル	タイトルを入力します。
作成者	作成者を入力します。
役職名	役職名を入力します。
キャプション	キャプションを入力します。
キャプション作成者	キャプション作成者を入力します。
著作権情報	著作権情報を入力します。

### 2 【一般】タブのそれぞれの情報を登録または削除する。



## ● [キーワード] タブを表示、編集するには

- 1 [IPTC 情報の編集] ダイアログで [キーワード] タブをクリックする。  
[キーワード] タブ画面が表示されます。

[IPTC 情報の編集] ダイアログ [キーワード] タブ画面

項目	内容
キーワード	登録するキーワードを入力します。以前に入力した文字列は最大 10 個までプルダウンリストに表示され、選択することができます。
[追加]	[キーワード] にキーワードを入力して [追加] ボタンをクリックすると、[登録済みキーワード] に表示されます。
登録済みキーワード	登録済みのキーワードが表示されます。
[削除]	[登録済みキーワード] からキーワードを選択して [削除] ボタンをクリックすると、キーワードが削除されます。

- 2 キーワードを登録または削除する。

## ● [カテゴリー] タブを表示、編集するには

- 1 [IPTC 情報の編集] ダイアログで [カテゴリー] タブをクリックする。  
[カテゴリー] タブ画面が表示されます。

[IPTC 情報の編集] ダイアログ [カテゴリー] タブ画面

項目	内容
カテゴリー	カテゴリー名を入力します。最大 3 文字まで入力できます。
追加カテゴリー	[登録済み追加カテゴリー] に追加するカテゴリー名を入力します。以前に入力した文字列は最大 10 個までプルダウンリストに表示され、選択することができます。
[追加]	[追加カテゴリー] にカテゴリーを入力して [追加] ボタンをクリックすると、[登録済み追加カテゴリー] に表示されます。
登録済み追加カテゴリー	登録済みのカテゴリーが表示されます。
[削除]	[登録済み追加カテゴリー] からカテゴリーを選択して [削除] ボタンをクリックすると、カテゴリーが削除されます。

- 2 カテゴリーを登録または削除する。

## ●【作成元】タブを表示、編集するには

### 1 【IPTC 情報の編集】ダイアログで【作成元】タブをクリックする。

【作成元】タブ画面が表示されます。

【IPTC 情報の編集】ダイアログ【作成元】タブ画面

項目	内容
作成日	作成日を入力します。
〔撮影情報から取得〕	クリックすると、画像情報に記録されている撮影日時が〔作成日〕に表示されます。
市町村名	市町村名を入力します。
都道府県名	都道府県名を入力します。
国名	国名を入力します。
クレジット	クレジットを入力します。
ソース	ソースを入力します。
ヘッドライン	ヘッドラインを入力します。
詳細	詳細を入力します。
送信元記録	送信元記録を入力します。
重要度	重要度を [なし] [1 (高)] [2] [3] [4] [5 (標準)] [6] [7] [8 (低)] から選択します。

### 2 作成元情報を編集する。

## IPTC 情報を別の画像に適用する

別ファイルとして保存してある IPTC 情報を別の画像に適用することができます。

**1** IPTC 情報を新しく付加したい画像をクリックして選択する。

**2** [ファイル] メニューから [IPTC 情報の編集] を選択する。

[IPTC 情報の編集] ダイアログが表示されます。

**3** [読み込み] ボタンをクリックする。

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

**4** 画像に付加したい IPTC 情報ファイルを選択し、[OK] ボタンをクリックする。

[IPTC 情報の編集] ダイアログに選択した IPTC 情報が表示されます。

**5** [OK] ボタンをクリックする。

IPTC 情報が選択した画像に適用されます。

適用した IPTC 情報を選択した画像の IPTC 情報として保存するには、「選択した画像の IPTC 情報を表示・編集する」の手順 5 をご覧ください。 P.187

# 登録アプリケーションの起動

OLYMPUS Studio 以外の画像編集用のアプリケーションソフトウェアを起動して画像を開き、編集することができます。起動するアプリケーションソフトウェアは、事前に環境設定で登録する必要があります。

- 1 **【ツール】メニューから【登録アプリケーションを起動】を選択する。または、ツールバーの【登録アプリケーションを起動】アイコンをクリックする。**

登録されているアプリケーションソフトウェアが起動します。

- 2 **アプリケーションソフトウェアで画像の編集を行う。**

操作についての詳細は、ご使用のアプリケーションソフトに付属の取扱説明書をご覧ください。



注意

## アプリケーションの事前登録

- アプリケーションソフトウェアは事前に登録する必要があります。登録は、【ツール】メニューから【環境設定】を選択すると表示される【環境設定】ダイアログで行います。☞「【一般】タブを設定する」P.253



ヒント

## 【保存後、登録アプリケーションで開く】チェックボックス

- 画像編集ウィンドウで画像を保存するとき【名前を付けて保存】ダイアログや、バッチ処理を行うときの【バッチ処理】ダイアログで、【保存後、登録アプリケーションで開く】にチェックマークを付けて実行すると、保存後、登録アプリケーションを起動することができます。

# 画像の保存

編集した画像を保存します。同じ画像ファイルへの上書き保存、または別名で別ファイルへ保存することもできます。また、表示している複数のファイルを同時に別名で保存することもできます。

## 上書き保存

同じファイルに保存する場合は、[上書き保存] を選択します。

- 1 保存したい画像をクリックして、選択状態にする。
- 2 [ファイル] メニューから [上書き保存] を選択する。  
または、ツールバーの [上書き保存] アイコンをクリックする。

画像が保存されます。



注意

- オリンパス製の E-1 以外のカメラで撮影した RAW データは、上書き保存できません。

## 別名で保存

編集した画像を別名で別ファイルとして保存する場合は、[名前を付けて保存] を選択します。

- 1 保存したい画像をクリックして、選択状態にする。
- 2 [ファイル] メニューから [名前を付けて保存] を選択する。

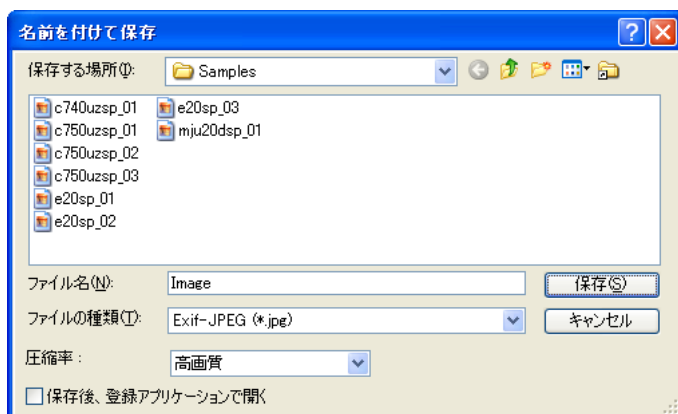
Macintosh の場合は、[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。


### [名前を付けて保存] ダイアログ



Windows の場合は、[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

### [名前を付けて保存] ダイアログ



項目	内容
別名で保存 (Macintosh) ファイル名 (Windows)	画像のファイル名を指定します。
場所 (Macintosh) 保存する場所 (Windows)	画像を保存するフォルダを指定します。
フォーマット (Macintosh) ファイルの種類 (Windows)	<p>画像の保存フォーマットを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Exif-JPEG (*.jpg) : Exif-JPEG 形式で保存します。カメラで記録される画像と同じ形式です。</li> <li>• JPEG (*.jpg) : JPEG 形式で保存します。主にインターネットで利用される画像形式です。</li> <li>• Exif-TIFF [8bit/ch] (*.tif) : 8 ビットカラー対応の Exif-TIFF 形式で保存します。カメラで記録される画像と同じ形式です。</li> <li>• TIFF [8bit/ch] (*.tif) : 8 ビットカラー対応の TIFF 形式で保存します。</li> <li>• TIFF [16bit/ch] (*.tif) : 16 ビットカラー対応の TIFF 形式で保存します。 16 ビットカラー対応のアプリケーションでのみ開くことができる画像形式です。</li> <li>• PICT : PICT 形式で保存します。Macintosh 版のみ指定できます。</li> <li>• Bitmap (*.bmp) : ビットマップ形式で保存します。Windows 版のみ指定できます。</li> <li>• RAW Data (*.orf) : OLYMPUS RAW File 形式で保存します。ただし、RAW データで保存するには、元画像ファイルが RAW データである必要があります。</li> <li>• OLYMPUS Studio 専用形式 (*.oef) : OLYMPUS Studio 独自の画像形式です。保存前の画像が RAW データの場合のみ指定できます。 オリジナルの RAW データを残したまま、画像編集ウィンドウで行った編集結果を保存するためのフォーマットです。</li> </ul>
圧縮率	<p>[ファイルの種類] で [Exif-JPEG] または [JPEG] を選択した場合のみファイルを保存するときの圧縮率を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 高画質：圧縮率よりも画質を優先します。</li> <li>• 標準画質：画質・圧縮率とも標準的に設定します。</li> <li>• 低画質：画質よりも圧縮率を優先します。</li> </ul>
保存後、登録アプリケーションで開く	<p>チェックマークを付けると、[保存] ボタンをクリックして別名保存した後、自動的に登録アプリケーションが起動して、別名保存した画像が表示されます。</p> <p> 「登録アプリケーションの起動」 P.193</p>



[キャンセル]	[別名で保存] を取り消します。
[保存]	設定したファイル名、ファイル形式で画像を保存します。



#### [ファイルの種類] から [RAW Data (\*.orf)] を選択すると

- [ファイルの種類] に [RAW Data (\*.orf)] を選択できるのは、元画像ファイルが RAW データの場合に限られます。
- RAW データを [RAW 現像設定] パレットで設定を変更した場合に、[ファイルの種類] から [RAW Data (\*.orf)] を選択して保存すると、現像設定のみが RAW データのヘッダ部に上書きされます。保存された RAW データを開くと、変更した設定が反映された状態で表示されます。
- [RAW Data (\*.orf)] 形式で保存した場合は、[RAW 現像設定] パレットで設定した変更だけが反映されます。[RAW 現像設定] パレット以外で設定した編集内容は反映されません。

#### [ファイルの種類] から [OLYMPUS Studio 専用形式 (\*.oef)] を選択すると

- [ファイルの種類] に [OLYMPUS Studio 専用形式 (\*.oef)] を選択できるのは、元画像ファイルが RAW データの場合に限られます。
- 画像処理を行った RAW データを [OLYMPUS Studio 専用形式 (\*.oef)] で保存すると、ブラウザウィンドウで開いたときに、[RAW 現像設定] パレットで設定した編集内容を含んだ画像処理が適用された状態で表示されます。

### 3 保存場所、ファイル名、ファイルの種類などを指定し、[保存] ボタンをクリックする。

画像が別名で保存されます。

# すべて保存する

画像編集ウィンドウで開いているすべての画像ファイルを一度に名前を付けて保存します。


## 1 【ファイル】メニューから【すべて保存】を選択する。

【すべて保存】ダイアログが表示されます。

### 【すべて保存】ダイアログ



項目	内容
保存先のフォルダ	保存するすべての画像の保存先を指定します。
保存先のファイル名	<p>保存するすべての画像のファイル名を設定します。以下のいずれかから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オリジナルのファイル名：元のファイル名と同じ名前保存します。</li> <li>任意のファイル名：別名で保存します。[先頭文字列]を入力し、[連番の桁数]を指定します。</li> </ul>

フォーマット	<p>画像の保存フォーマットを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Exif-JPEG (*.jpg) : Exif-JPEG 形式で保存します。カメラで記録される画像と同じ形式です。</li> <li>• JPEG (*.jpg) : JPEG 形式で保存します。主にインターネットで利用される画像形式です。</li> <li>• Exif-TIFF [8bit/ch] (*.tif) : 8 ビットカラー対応の Exif-TIFF 形式で保存します。カメラで記録される画像と同じ形式です。</li> <li>• TIFF [8bit/ch] (*.tif) : 8 ビットカラー対応の TIFF 形式で保存します。</li> <li>• TIFF [16bit/ch] (*.tif) : 16 ビットカラー対応の TIFF 形式で保存します。16 ビットカラー対応のアプリケーションでのみ開くことができる画像形式です。</li> <li>• PICT : PICT 形式で保存します。Macintosh 版のみ指定できます。</li> <li>• Bitmap (*.bmp) : ビットマップ形式で保存します。Windows 版のみ指定できます。</li> <li>• RAW Data (*.orf) : OLYMPUS RAW File 形式で保存します。ただし、RAW データで保存するには、元画像ファイルが RAW データである必要があります。</li> <li>• OLYMPUS Studio 専用形式 (*.oef) OLYMPUS Studio 独自の画像形式です。保存前の画像が RAW データの場合のみ指定できます。 オリジナルの RAW データを残したまま、画像編集ウィンドウで行った編集結果を保存するためのフォーマットです。</li> </ul>
圧縮率	<p>[フォーマット] で [Exif-JPEG] または [JPEG] を選択した場合のみファイルを保存するときの圧縮率を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 高画質：圧縮率よりも画質を優先します。</li> <li>• 標準画質：画質・圧縮率とも標準的に設定します。</li> <li>• 低画質：画質よりも圧縮率を優先します。</li> </ul>
保存後、登録アプリケーションで開く	<p>チェックマークを付けると、[OK] ボタンをクリックしてすべて保存した後、自動的に登録アプリケーションが起動して、保存した画像が表示されます。</p> <p>「登録アプリケーションの起動」P.193</p>
[キャンセル]	[すべて保存] を取り消します。
[OK]	設定した内容で画像ファイルをすべて保存します。

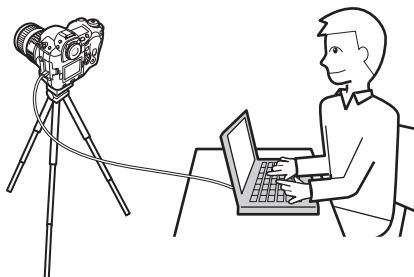
## 2 保存先フォルダ、ファイル名、フォーマットなどを指定し、[OK] ボタンをクリックする。

# カメラコントロールウィンドウ

カメラコントロールウィンドウは、カメラとパソコンを USB ケーブルまたは IEEE1394 (FireWire) ケーブルで接続した状態で使用します。カメラコントロールウィンドウで操作できるカメラはオリンパス製の E-1 のみです。

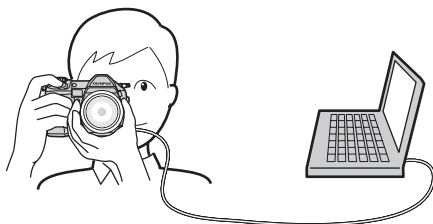
カメラコントロールウィンドウには、PC マスターモードとカメラマスターモードの 2 種類の撮影方法があります。それぞれ以下の特徴があります。

## ● PC マスターモード



- ・カメラコントロールウィンドウの [AF 撮影] [撮影] ボタンをクリックして撮影します。
- ・撮影した画像は直接パソコンに保存されます。画像を確認してから必要な画像だけ保存することもできます。
- ・カメラコントロールウィンドウでカメラの設定を行うことができます。

## ● カメラマスターモード



- ・カメラのシャッターボタンを押して撮影します。
- ・撮影した画像は直接パソコンに保存されます。
- ・カメラの設定はカメラで行います。

# カメラコントロールウィンドウの起動と終了

カメラコントロールウィンドウでは、パソコンに接続したカメラの機能を操作したり、カメラで撮影した画像を直接パソコンに保存することができます。ここでは、カメラコントロールウィンドウの起動と終了方法について説明します。

カメラのモード操作およびカメラとパソコンの接続／取り外し方法については、「OLYMPUS Studio の起動」をご覧ください。P.24

## ● Macintosh

### 起動する

- 1** カメラの電源を ON にし、カメラの PC モードを [カメラコントロール] に設定する。
- 2** USB ケーブルまたは IEEE1394 (FireWire) ケーブルで、カメラとパソコンを接続する。
- 3** OLYMPUS Studio をインストールしたフォルダ内の [OLYMPUS Studio] を開き、[OLYMPUS Studio Camera Control] アイコンをダブルクリックする。  
または、デスクトップ上の、[OLYMPUS Studio Camera Control] アイコンをダブルクリックする。

カメラコントロールウィンドウが表示されます。

### 終了する

- 1** [ファイル] メニューから [カメラコントロールウィンドウの終了] を選択する。  
カメラコントロールウィンドウが閉じ、終了します。
- 2** [ハードウェアの取り外し] を行う。
- 3** USB ケーブルまたは IEEE1394 (FireWire) ケーブルをパソコンから抜く。
- 4** カメラの電源を OFF にする。

## ● Windows

### 起動する

- 1** カメラの電源を ON にし、カメラのモードを [カメラコントロール] に設定する。
- 2** USB ケーブルまたは IEEE1394 (FireWire) ケーブルで、カメラとパソコンを接続する。
- 3** タスクバーの [スタート] メニューから、[プログラム – OLYMPUS Studio – OLYMPUS Studio カメラコントロール] を選択する。  
または、デスクトップ上の、[OLYMPUS Studio カメラコントロール] アイコンをダブルクリックする。

カメラコントロールウィンドウが表示されます。

### 終了する

- 1** [ファイル] メニューから [終了] を選択する。  
カメラコントロールウィンドウが閉じ、終了します。
- 2** [ハードウェアの取り外し] を行う。
- 3** USB ケーブルまたは IEEE1394 (FireWire) ケーブルをパソコンから抜く。
- 4** カメラの電源を OFF にする。




注意

- ・ オリンパス製 E-1 以外のカメラを接続してカメラコントロールウィンドウを起動させても、パソコン側からカメラを操作することはできません。



### その他の起動方法

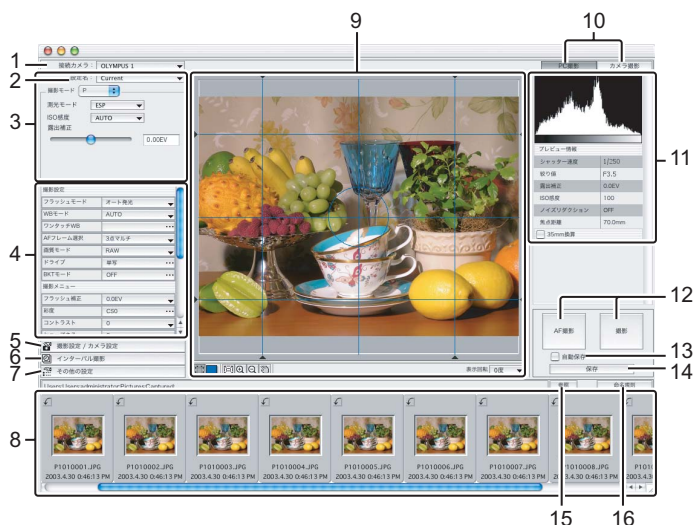
- ブラウズウィンドウからカメラコントロールウィンドウを起動することもできます。ツールバーの「カメラコントロールウィンドウを開く」アイコンをクリックするか、「[ツール] メニューから「カメラコントロールウィンドウを開く」を選択します。
- カメラをパソコンに接続すると、自動的にカメラコントロールウィンドウが起動するように設定することができます。

 「OLYMPUS Studio を自動起動する」P.30

# カメラコントロールウィンドウ

カメラコントロールウィンドウの各部名称と機能について説明します。

## カメラコントロールウィンドウ



番号	項目	内容	参照頁
—	メニューバー	カメラコントロールウィンドウで使用するメニューが表示されます。	P.273
1	接続カメラ	パソコンに接続しているカメラのカメラIDまたはカメラ番号が表示されます。複数のカメラを接続している場合は、プルダウンリストから使用するカメラのカメラIDまたはカメラ番号を選択します。	P.218
2	設定名	カメラの設定内容を保存したファイルがある場合に、ファイル名が表示されます。プルダウンリストからファイルを選択すると、設定内容が読み込まれて、設定値がカメラコントロールウィンドウの各設定項目に反映されます。	P.239
3	基本設定項目 *	撮影モードや露出補正などの基本的なカメラの設定を行います。[撮影設定／カメラ設定] ダイアログでも同じ設定をすることができます。	P.224
4	詳細設定項目 *	よく使う詳細設定項目を[撮影設定／カメラ設定] ダイアログで選択すると、ここに表示されます。	P.227



5	[撮影設定／ カメラ設定]	[撮影設定／カメラ設定] ダイアログが表示されます。このダイアログでカメラの基本設定項目を含む各種設定を行います。また、詳細設定項目に表示させる項目を選択します。	P.221
6	[インターバル 撮影]	撮影間隔と撮影枚数を設定して、一定間隔で撮影を行います。	P.242
7	[その他の設定]	カメラ ID の確認・変更と日時設定を行います。	P.245
8	サムネイル表示 エリア *	[保存先] に表示されたフォルダ内の画像を、サムネイル一覧表示します。撮影後に取り込んだ画像もこのエリアに表示されます。	—
9	プレビュー領域	撮影した画像が表示されます。この領域ではツールボタンを使って、画像の表示を回転したり、拡大したりできます。	P.207
10	[PC 撮影]、 [カメラ撮影]	PC マスターモードとカメラマスターモードを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [PC 撮影]： PC マスターモードに設定します。画面左の基本設定と詳細設定の各項目に現在のカメラの設定内容が表示され、設定内容を変更することができます。[AF 撮影] [撮影] ボタンを使って、撮影することができます。</li> <li>• [カメラ撮影]： カメラマスターモードに設定します。画面左の基本設定と詳細設定の各項目やカメラをコントロールするボタンは淡色表示となり、設定変更や [AF 撮影] [撮影] ボタンによる撮影はできません。撮影、設定内容を変更する場合は、カメラから操作します。</li> </ul>	P.210
11	プレビュー情報 領域	プレビュー領域に表示されている画像の画像情報（ヒストグラムやシャッター速度など）が表示されます。	P.209
12	[AF 撮影] [撮影]	カメラのシャッターボタンと同じ働きをします。PC マスターモードで撮影するときには使用します。	P.215
13	自動保存	チェックマークを付けると、撮影した画像は自動的にパソコンに取り込まれて、保存されます。保存場所は [保存先] に表示されます。カメラマスターモードではチェックマークを外すことはできません。	P.214

14	[保存]	[保存] ボタンをクリックすると、撮影した画像がパソコンに取り込まれて、保存されます。保存場所は [保存先] に表示されます。[自動保存] のチェックマークを外している場合は、[保存] ボタンで画像をパソコンに取り込みます。[自動保存] にチェックマークを付けている場合は、淡色表示となりクリックできません。	P.214
15	参照	[参照] ボタンをクリックして保存先のフォルダを変更することができます。	P.213
16	[命名規則]	取り込んだ画像に付けるファイル名の付け方を設定します。	P.219

\* [表示] メニューで表示／非表示の切り替えができます。



### カメラ ID を変更するには

- カメラ ID は変更することができます。カメラコントロールウィンドウの [その他の設定] ボタンをクリックすると表示される [その他の設定] ダイアログで、カメラ ID の確認と編集を行います。🔍「その他の設定」P.245



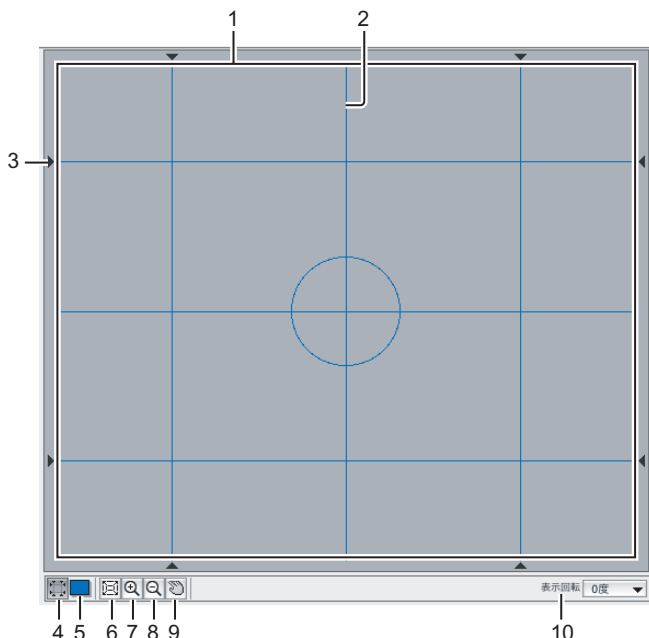
### サムネイル表示エリアの操作

- サムネイル枠には、「ファイル名」、「撮影日時」、「撮影情報」、「回転ボタン」、「RAW アイコン」が表示されます。表示する項目を切り替えるには、[表示] メニューの [サムネイル一覧の表示項目] で表示する項目にチェックマークを付けます。各項目の詳細については、ブラウズウィンドウの章をご覧ください。🔍「サムネイル枠」P.51
- RAW データのみをサムネイル表示エリアに表示させることができます。[表示] メニューの [サムネイル一覧の表示項目—RAW のみ表示] を選択します。
- サムネイル表示エリアの画像は撮影日時順に表示されます。表示順を [昇順]、または [降順] から選択できます。[表示] メニューの [並べ替え] から [昇順] または [降順] を選択します。
- サムネイル表示エリアの画像を回転させることができます。  
🔍「画像の回転」P.60
- サムネイル表示エリアの画像をブラウズウィンドウで開くことができます。サムネイル表示エリアで画像をダブルクリックすると、ブラウズウィンドウがビューモードで開きます。🔍「ビューモード」P.44

## プレビュー領域の操作

プレビュー領域には撮影した画像が表示されます。この領域で画像を確認してから、画像をパソコンに取り込むこともできます。

プレビュー領域



番号	項目	内容
1	プレビュー画像	[AF 撮影] [撮影] ボタンをクリックする、またはカメラのシャッターボタンを押して撮影すると、撮影した画像が表示されます。
2	グリッド	グリッドとは画像上に表示される垂直線、水平線のことです。[グリッドの表示] ボタンでグリッドの表示／非表示の切り替えを行います。
3	[▲] [▼] [▶] [◀] マーク	[▲] [▼] [▶] [◀] マークをドラッグしてグリッドの位置を移動します。[▲] [▼] [▶] [◀] マークが表示されていないグリッドは移動することはできません。
4	[グリッドの表示]	グリッドの表示／非表示を切り替えます。
5	[グリッドの色]	グリッドの色を選択します。[グリッドの色] ボタンをクリックすると、色選択用のダイアログが表示されます。

6	[画面にフィット]	画像がプレビュー領域全体に表示されるように、調整して表示します。
7	[ズームアウトモード]	カーソルが虫眼鏡カーソル（-）に変わります。画像上でクリックすると、縮小表示します。
8	[ズームインモード]	カーソルが虫眼鏡カーソル（+）に変わります。画像上でクリックすると、拡大表示します。
9	[スクロールモード]	カーソルが手のひらカーソルに変わります。画像上でドラッグすると、画像がスクロールします。
10	表示回転	プレビュー画像を回転して表示します。プルダウンリストから、[0度] [右 90度] [左 90度] [180度] を選択します。

### グリッドを操作するには

グリッドを表示するには、[表示] メニューの [グリッド] にチェックマークを付けるか [グリッドの表示] アイコンをクリックします。プレビュー画像の周囲に表示される [▲] [▼] [▶] [◀] マークをドラッグして、グリッド線を移動させることができます。グリッドが判別しづらいときは、グリッドの色を変えることもできます。グリッドの色の変更は、[表示] メニューから [グリッドの色] を選択するか [グリッドの色] アイコンをクリックすると表示される、色選択用のダイアログで行います。

### プレビュー画像を拡大するには

[表示] メニューから [ズームインモード] を選択するか [ズームイン] アイコンをクリックすると、カーソルが虫眼鏡カーソル（+）に変わります。プレビュー画像をクリックすると、画像が拡大表示されます。

ズームアウト、表示回転等の操作を [表示] メニューから [プレビュー表示倍率]、[プレビュー表示回転] を選択して行うこともできます。



注意

- ・プレビュー領域には、[表示回転] で設定した結果が表示されます。
- ・[表示回転] でプレビュー画像の回転を行っても、画像は書き替えられません。



ヒント

- ・プレビュー領域の画像をブラウザウィンドウで開くことができます。プレビュー領域で画像をダブルクリックすると、ブラウザウィンドウがビューモードで開きます。P.44
- ・マルチモニタを設定しているときは、指定したモニタにも撮影と同時にプレビュー領域と同じ画像が全画面表示されます。P.59

## プレビュー情報領域について

撮影した画像（プレビュー領域に表示されている画像）の撮影情報が表示されます。撮影するたびに撮影情報が更新されます。

プレビュー情報領域



項目	内容
ヒストグラム	画像の輝度分布を表示します。左側の境界線より外側に分布が集中しているときは、画像が黒くつぶれ気味であることを示します。右側の境界線より外側に分布が集中しているときは、画像が白くとび気味であることを示します。
シャッター速度	シャッター速度を表示します。
絞り値	絞り値を表示します。
露出補正	露出補正の値が表示されます。
ISO 感度	ISO 感度を表示します。
ノイズリダクション	ノイズリダクションの ON / OFF を表示します。
焦点距離	焦点距離を表示します。
[35mm 換算]	チェックマークを付けると、焦点距離を 35mm 換算で表示します。

# 撮影する

カメラをパソコンに USB ケーブルまたは IEEE1394 (FireWire) ケーブルで接続し、カメラコントロールウィンドウを使って撮影します。撮影した画像は、カメラに挿入されているメディアには保存されずに直接パソコンに保存され、カメラコントロールウィンドウに表示されます。

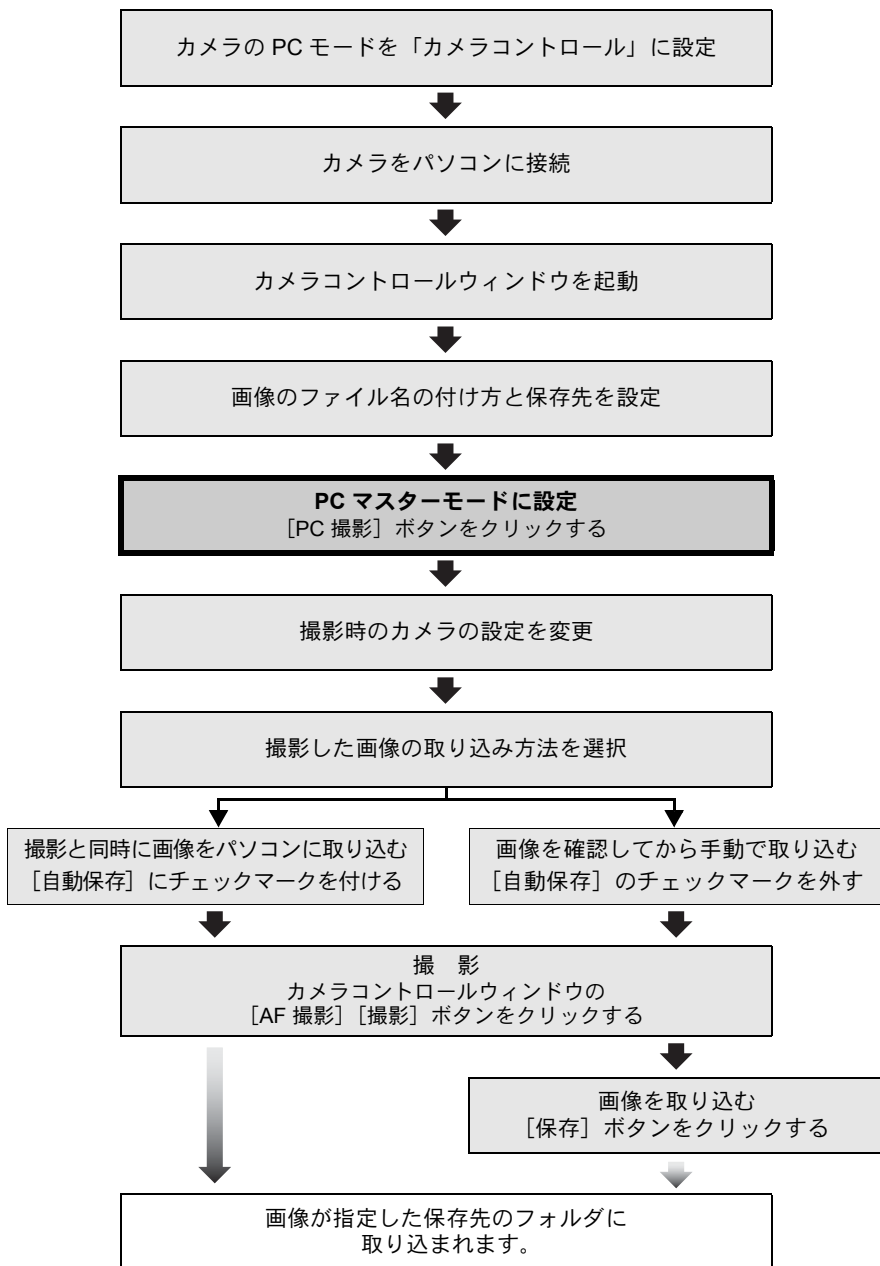
撮影方法として、カメラコントロールウィンドウ上の [AF 撮影] [撮影] ボタンをクリックして撮影する方法 (PC マスターモード) と、カメラのシャッターボタンを押して撮影する方法 (カメラマスターモード) があります。

## PC マスターモードとカメラマスターモード

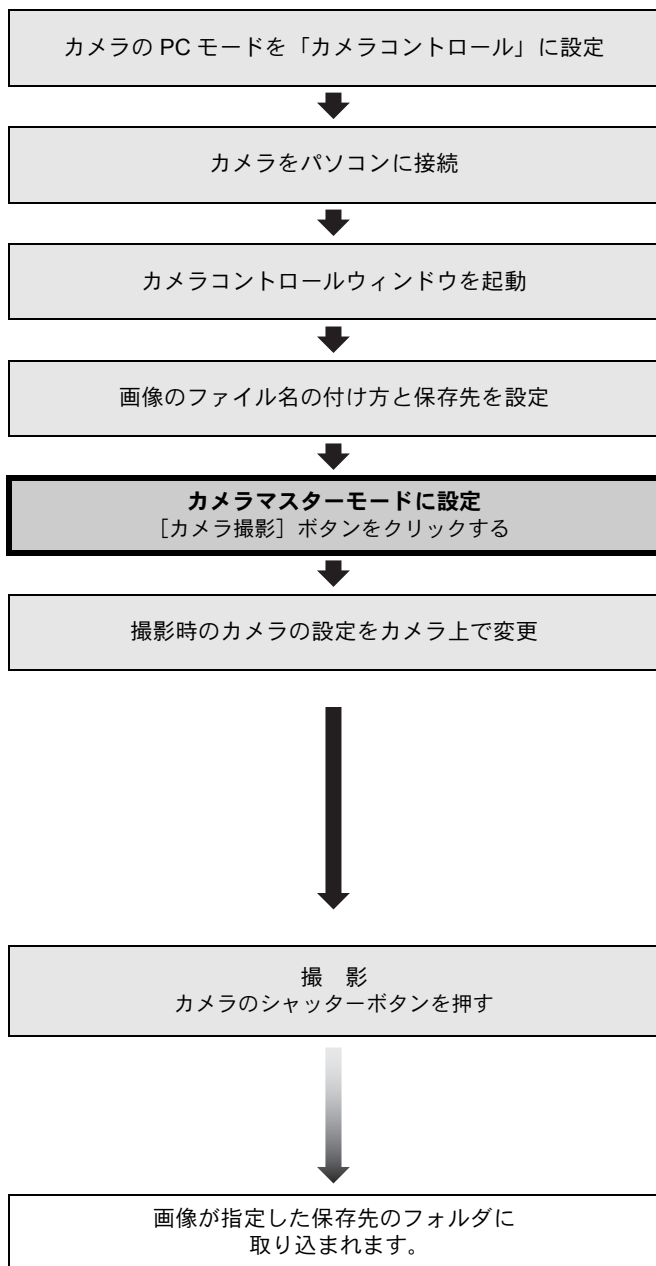
PC マスターモードとカメラマスターモードの撮影および設定に関する相違点は、以下の通りです。

	PC マスターモード	カメラマスターモード
カメラの機能設定	カメラコントロールウィンドウで行います。設定は [撮影設定 / カメラ設定] ダイアログで変更できます。	カメラで行います。カメラのボタンやメニューを使って設定します。
撮影方法	カメラコントロールウィンドウ上の [AF 撮影] [撮影] ボタンをクリックして撮影します。	カメラのシャッターボタンを押して、撮影します。
画像の取り込み方法	撮影した画像は自動的にパソコンに取り込まれます。画像をパソコンの画面で確認してから必要な画像だけを取り込むこともできます。	撮影した画像は自動的にパソコンに取り込まれます。
画像の保存場所	撮影した画像は直接パソコンの指定されたフォルダ内に保存されます。保存先には、パソコンのハードディスクのご使用をおすすめします。カメラ内にメディアが挿入されている場合でも、カメラ内には画像は保存されません。	
制限事項	電源ボタン以外のカメラのボタンはロックされ、操作できません。	パソコンからカメラを操作することはできません。
PC マスターモードとカメラマスターモードの切り替え方法	カメラコントロールウィンドウ上の [PC 撮影] ボタンをクリックします。	カメラコントロールウィンドウ上の [カメラ撮影] ボタンをクリックします。

## PC マスターモードの撮影手順



## カメラマスターモードの撮影手順



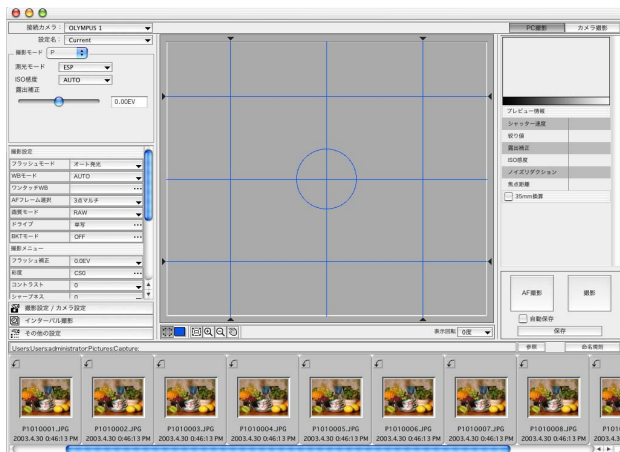


# PC マスターモードで撮影する

## 1 カメラとパソコンを接続して、カメラコントロールウィンドウを起動する。

📷 「カメラコントロールウィンドウの起動と終了」 P.201

### カメラコントロールウィンドウ

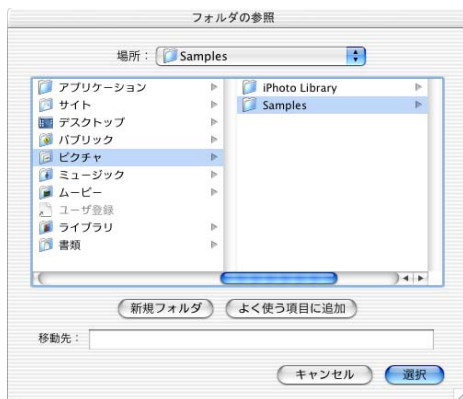



## 2 撮影した画像の保存先を選択する。

### 1 サムネイル表示エリアの上部にある「参照」ボタンをクリックする。

「フォルダの参照」ダイアログが表示されます。

### 「フォルダの参照」ダイアログ



項目	内容
[新しいフォルダ]	撮影した画像の保存先として、新しくフォルダを作成する場合に選択します。フォルダツリー上で選択されているフォルダ内に、新しいサブフォルダが作成されます。
[ショートカット参照]	登録してあるショートカットの一覧を表示する場合にクリックします。一覧から選択すると、フォルダツリーの選択位置がショートカットのリンク先に移動します。  「フォルダのショートカットを作成する」P.109
[OK]	選択したフォルダを保存先として設定します。

## 2 フォルダツリーから保存するフォルダを選択する。


保存先のフォルダは、ハードディスク内をおすすめします。

## 3 [OK] ボタンをクリックする。

サムネイル表示エリアの[保存先]に選択したフォルダの場所が表示されます。

## 3 撮影した画像のファイル名の付け方を指定する。

[命名規則] ボタンをクリックして、[命名規則] ダイアログを表示させます。

「ファイル名を設定する」P.219

## 4 [PC 撮影] ボタンをクリックする。

または、[カメラ] メニューから [PC 撮影] を選択する。

PC マスターモードに設定されます。

## 5 必要に応じて、カメラの各種設定を行う。

「カメラの設定」P.221

## 6 画像を取り込む方法を選択する。

### ・撮影と同時に画像をパソコンに取り込む

[自動保存] にチェックマークを付ける。または、[カメラ] メニューから [自動保存] にチェックマークを付ける。

### ・画像をプレビュー領域で確認してから手動で取り込む

[自動保存] のチェックマークを外す。または、[カメラ] メニューから [自動保存] のチェックマークを外す。

画像を手動で取り込む場合は、手順 2 と 3 の操作を手順 7 で撮影した後に行うこともできます。

## 7 [AF 撮影] ボタンをクリックする。


または、[カメラ] メニューから [AF 撮影] を選択して撮影する。


撮影すると、取り込み中のメッセージが表示され、画像がパソコンに取り込まれます。メッセージが表示されている間は、次の撮影はできません。

画像の取り込み中は、カメラとパソコンの接続ケーブルを絶対に取り外さないでください。

取り込まれた画像は、プレビュー領域とサムネイル表示エリアに表示されます。

プレビュー領域では画像の表示を回転したり、拡大表示したりできます。

 「プレビュー領域の操作」 P.207

プレビュー情報領域では、撮影した画像のヒストグラムやシャッター速度などが確認できます。 「プレビュー情報領域について」 P.209

### ピントを固定して撮影するには

[AF 撮影] ボタンをクリックしてピントを固定した後は、[撮影] ボタンをクリックして、同じピントで続けて撮影することができます。

## 8 手順6で [自動保存] のチェックマークを外した場合は、[保存] ボタンをクリックするか [カメラ] メニューから [保存] を選択して画像を保存する。

手順2で選択した保存先のフォルダに画像が保存され、サムネイル表示エリアに取り込まれた画像が表示されます。

撮影した画像を保存しないで次の撮影をすると、前回撮影した画像は失われます。



注意

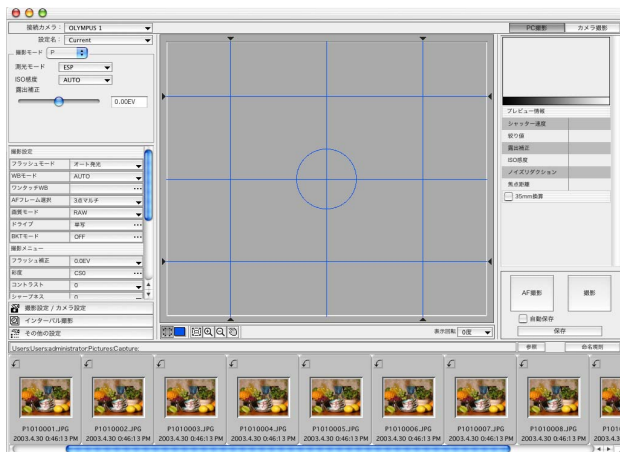
- ・ 詳細設定で [ドライブ] が [連写] に設定されている場合は、[自動保存] チェックマークの状態に関わらず撮影した画像が自動的に取り込まれます。
- ・ [AF 撮影] (マニュアルの場合は [撮影]) ボタンをクリックしたときにピントや露出が固定されなかったときはメッセージが表示され、撮影されません。
- ・ フラッシュが充電中のとき、詳細設定で [リリース優先 S] が [OFF] に設定されている場合は撮影できないことがあります。このときは、しばらく待って充電が完了してから、もう一度撮影してください。

## カメラマスターモードで撮影する

### 1 カメラとパソコンを接続して、カメラコントロールウィンドウを起動する。

📷 「カメラコントロールウィンドウの起動と終了」 P.201

#### カメラコントロールウィンドウ

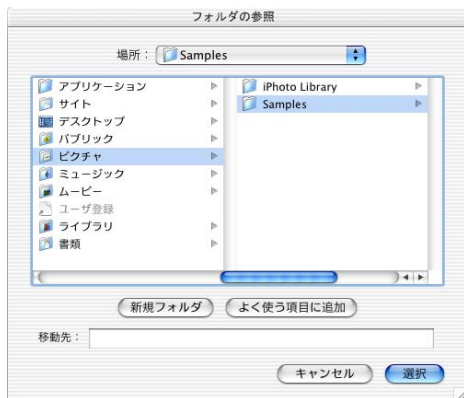



### 2 撮影した画像の保存先を選択する。

#### 1 サムネイル表示エリアの上部にある「参照」ボタンをクリックする。

「フォルダの参照」ダイアログが表示されます。

#### 「フォルダの参照」ダイアログ



項目	内容
[新しいフォルダ]	撮影した画像の保存先として、新しくフォルダを作成する場合に選択します。フォルダツリー上で選択されているフォルダ内に、新しいサブフォルダが作成されます。
[ショートカット参照]	登録してあるショートカットの一覧を表示する場合にクリックします。一覧から選択すると、フォルダツリーの選択位置がショートカットのリンク先に移動します。  「フォルダのショートカットを作成する」P.109
[OK]	選択したフォルダを保存先として設定します。

## 2 フォルダツリーから保存するフォルダを選択する。


保存先のフォルダは、ハードディスク内をおすすめします。

## 3 [OK] ボタンをクリックする。

サムネイル表示エリアの[保存先]に選択したフォルダの場所が表示されます。

## 3 撮影した画像のファイル名の付け方を指定する。

[命名規則] ボタンをクリックして、[命名規則] ダイアログを表示させます。

「ファイル名を設定する」P.219

## 4 [カメラ撮影] ボタンをクリックする。

または、[カメラ] メニューから [カメラ撮影] を選択する。

カメラマスターモードに設定されます。

## 5 必要に応じて、カメラで撮影モードなどの撮影時の設定を変更します。

カメラマスターモードに設定した後は、カメラコントロールウィンドウで設定や撮影等の操作はできません。


## 6 カメラのシャッターボタンを押して撮影する。


撮影すると、取り込み中のメッセージが表示され、画像がパソコンに自動的に取り込まれます。

画像の取り込み中は、カメラとパソコンの接続ケーブルを絶対に取り外さないでください。

取り込まれた画像は、プレビュー領域とサムネイル表示エリアに表示されます。

プレビュー領域では画像の表示を回転したり、拡大表示したりできます。

「プレビュー領域の操作」P.207

プレビュー情報領域では、撮影した画像のヒストグラムやシャッター速度などが確認できます。「プレビュー情報領域について」P.209

カメラの操作については、ご使用のカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

## ● 複数のカメラを接続して撮影する

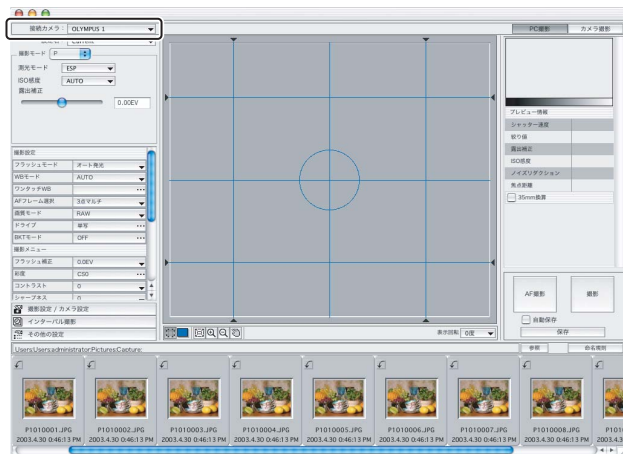
OLYMPUS Studio では、複数のカメラをパソコンに接続した状態で撮影することができます。複数のカメラを接続しているときは、撮影を行う前に使用するカメラを選択します。

### 1 [接続カメラ]から使用するカメラのカメラ ID またはカメラ番号を選択する。

カメラ ID が未設定のときは、カメラ番号（[カメラ #1] [カメラ #2] ...）が表示されます。

カメラが接続されていない場合は、[接続カメラ] に何も表示されません。

#### カメラコントロールウィンドウ



注意

- カメラマスターモードで [接続カメラ] の切り替えを行うと、自動的に PC コントロールモードに切り替わります。

## ファイル名を設定する

撮影した画像をパソコンに保存するときに付けるファイル名を設定します。ファイル名は、[命名規則] ダイアログで設定した規則にしたがって付けられます。

### ●命名規則について

ファイル名を「先頭」「中間」「末尾」の3ブロックに分けて設定します。各ブロックの間には、任意の区切り文字を設定することができます。拡張子は、データ形式を認識して自動的に付けられます。

各ブロックは、以下の5種類からそれぞれ選択します。項目によっては、選択後さらに文字列を入力したり、ボックスから選択したりします。

(無し)	そのブロックを設定しない場合に選択します。
任意文字列	任意の文字列を入力または選択します。下側に表示されるボックスに直接入力するか、過去の入力文字列から選択します。入力文字列は最大5つまでプルダウンリストに表示され、選択することができます。
撮影日	撮影日を設定します。撮影日のフォーマットは下側に表示されるボックスで以下の6種類から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [YYYYMMDD]</li> <li>• [YYMMDD]</li> <li>• [MMDDYYYY]</li> <li>• [MMDDYY]</li> <li>• [DDMMYYYY]</li> <li>• [DDMMYY]</li> </ul>
撮影日時	撮影日時を設定します。撮影日時のフォーマットは、下側に表示されるボックスで以下の6種類から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [YYYYMMDD_HHMMSS]</li> <li>• [YYMMDD_HHMMSS]</li> <li>• [MMDDYYYY_HHMMSS]</li> <li>• [MMDDYY_HHMMSS]</li> <li>• [DDMMYYYY_HHMMSS]</li> <li>• [DDMMYY_HHMMSS]</li> </ul>
連番	最大値9999までの連番を設定します。下側に表示されるボックスから、最大4桁までの桁数を選択します。選択した桁数では足りない場合は、不足したファイルにだけ自動的に桁数が追加されます。



ヒント

- 同じフォルダ内に設定したファイル名がすでに存在する場合は、新しいファイル名の末尾に自動的に連番（\_01、\_02…）が付けられます。

## 1 [命名規則] ボタンをクリックする。

[命名規則] ダイアログが表示されます。

### [命名規則] ダイアログ



項目名	内容
□ (区切り文字)	各ブロックの区切り文字を入力します。未入力時は、区切り文字なしとなります。
(任意文字列設定ボックス)	各ブロックに「任意文字列」を選択した場合に表示されます。直接入力するか、プルダウンリストから過去に入力した文字列を選択します。
(撮影日設定ボックス)	各ブロックに「撮影日」を選択した場合に表示されます。プルダウンリストから撮影日のフォーマットを選択します。
(撮影日時設定ボックス)	各ブロックに「撮影日時」を選択した場合に表示されます。プルダウンリストから撮影日時のフォーマットを選択します。
桁数	各ブロックに「連番」を選択した場合に表示されます。連番の桁数を入力します。入力できる桁数は最大4桁です。
[キャンセル]	命名規則の設定を取り消します。
[OK]	撮影した画像に付けるファイル名の命名規則が設定されます。

## 2 命名規則を設定する。

命名規則の「先頭」「中間」「末尾」の3ブロックをそれぞれ設定します。

「任意文字列」を選択した場合は、下側に表示されるボックスに任意の文字列を入力するか、プルダウンリストから選択します。

「撮影日」、または「撮影日時」を選択した場合は、下側に表示されるプルダウンリストから選択します。

「連番」を選択した場合は、桁数を選択します。

また、必要に応じて各ブロック間に区切り文字を入力します。

## 3 [OK] ボタンをクリックする。

命名規則が設定されます。



# カメラの設定

カメラコントロールウィンドウで接続しているカメラの各種設定を変更します。

設定は、カメラコントロールウィンドウ上で、または[撮影設定／カメラ設定]ダイアログで行います。設定項目は基本設定項目と詳細設定項目に分けて表示されます。

基本設定項目に表示される機能は、カメラコントロールウィンドウと[撮影設定／カメラ設定]ダイアログともに同じで、どちらの画面からも設定することができます。

詳細設定項目の設定は、[撮影設定／カメラ設定]ダイアログで行います。[撮影設定／カメラ設定]ダイアログ上で、よく使う詳細設定項目を選択して、カメラコントロールウィンドウ上に表示させることもできます。カメラコントロールウィンドウに表示させた機能は、カメラコントロールウィンドウと[撮影設定／カメラ設定]ダイアログのどちらの画面からも設定することができます。

基本設定項目および詳細設定項目で設定できる機能は次項の通りです。

## 設定値一覧

接続しているカメラの機種や設定状態によって、画面に表示される項目および設定値は異なります。

### ● 基本設定項目

撮影モード	P（プログラム）、A（絞り優先）、S（シャッター優先）、M（マニュアル）
測光モード	ESP、中央重点、スポット
ISO 感度	AUTO、100、200、400、800、1600、3200
絞り値	F1.0 ～ F91.0
シャッター速度	1/4000 ～ 60 秒（またはバルブ）
露出補正	-5.0EV ～ +5.0EV

## ● 詳細設定項目

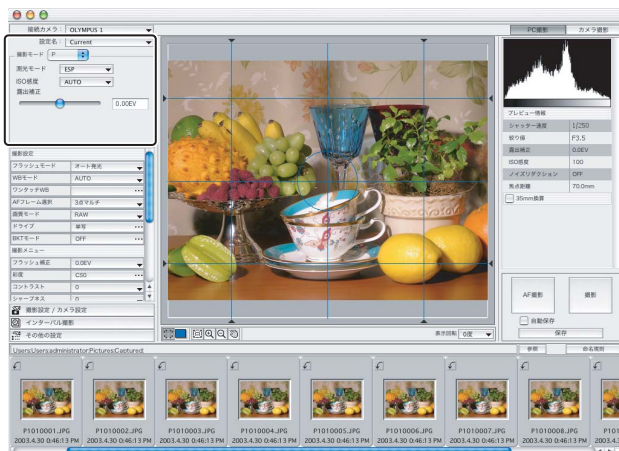
撮影設定	
フラッシュモード	オート発光、赤目軽減、スローシンクロ（先幕効果）、スローシンクロ（赤目・先幕効果）、スローシンクロ（後幕効果）、強制発光、強制発光（赤目軽減）、強制発光（後幕効果）、発光禁止
WB モード	AUTO、3000K（電球）、3300K、3600K（電球らしさ）、3900K、4000K（白色蛍光灯）、4300K、4500K（昼白色蛍光灯）、4800K、5300K（晴天）、6000K（曇天）、6600K（昼光色蛍光灯）、7500K（晴天日陰）、ワンタッチ WB1、ワンタッチ WB2、ワンタッチ WB3、ワンタッチ WB4
ワンタッチ WB	グレー点指定 記憶先：ワンタッチ WB1、ワンタッチ WB2、ワンタッチ WB3、ワンタッチ WB4
AF フレーム選択	3 点マルチ、右、中央、左
画質モード	RAW、TIFF、SHQ、HQ、SQ（+RAW）
ドライブ	ドライブモード：単写、連写 コマ数：選択可能なコマ数は、画質モードなどのカメラの設定状態によって変化します。
BKT モード	AE BKT    コマ数        : 3 コマ、5 コマ 補正ステップ : 1/3EV、1/2EV、1EV WB BKT    コマ数        : 3 コマ 補正ステップ : 2 STEP、4 STEP、6 STEP
撮影メニュー	
フラッシュ補正	-2.0 ~ +2.0
彩度	彩度強調     : CS0 ~ CS4 記憶色強調 : CM1（R 強調）、CM2（G 強調）、CM3（B 強調）、CM4（肌色強調）
コントラスト	-2 ~ +2
シャープネス	-3 ~ +3
カラー設定	sRGB、Adobe RGB
RAW 同時保存	OFF、ON
ノイズフィルタ	OFF、ON
ノイズリダクション	OFF、ON
シェーディング補正	OFF、ON
AF イルミネータ	OFF、ON
低振動モード	OFF ~ 30 秒

<b>カスタムメニュー</b>	
露出ステップ	1/3EV、1/2EV、1EV
ISO 感度拡張	OFF、ON
WB 補正	設定する WB モード 補正ステップ：-7 ～ +7 STEP
SQ 設定	画像サイズ       : 1600 × 1200、1280 × 960、1024 × 768、 640 × 480 圧縮率             : 1/2.7（低圧縮）、1/8（高圧縮）
レリーズ優先 S	OFF、ON
レンズリセット	OFF、ON
<b>セットアップメニュー</b>	
レックビュー	OFF、AUTO、5 秒、20 秒
ピープ音	OFF、ON
スリープ時間	OFF、1 分、3 分、5 分、10 分

## 基本設定項目を設定する

カメラコントロールウィンドウ上、またはカメラコントロールウィンドウで「撮影設定／カメラ設定」ボタンをクリックすると表示される「撮影設定／カメラ設定」ダイアログで、カメラの基本設定項目を設定します。どちらの画面でも、同じ機能の設定ができます。

### 基本設定項目



### 「撮影設定／カメラ設定」ダイアログ基本設定項目



設定できる機能は以下の通りです。

なお、接続しているカメラの機種や設定状態によっては、設定できない項目もあります。各項目の詳細については、ご使用のカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

### 撮影モード

撮影モードをプルダウンリストから選択します。

- [P (プログラム)] : 絞り値とシャッター速度はカメラが自動的に決めて撮影します。フラッシュモードやドライブなどのその他の機能は、自由に設定できます。
  - [A (絞り優先)] : 絞り値を自分で設定して撮影します。シャッター速度はカメラが自動的に設定します。
  - [S (シャッター優先)] : シャッター速度を自分で設定して撮影します。絞り値はカメラが自動的に設定します。
  - [M (マニュアル)] : 絞り値とシャッター速度を自分で設定して撮影します。このモードでは、適正露出にとらわれることなく、独自の撮影意図を反映することができます。
- 撮影モードによって、設定可能な機能および設定値は異なります。
  - Ps (プログラムシフト) は、PC コントロールモードでは設定できません。

### 測光モード

測光する範囲を選択します。測光モードをプルダウンリストから選択します。

### ISO 感度

ISO 感度を [AUTO] に設定しているときは、被写体の条件にあわせて自動的に感度が変わります。ISO 感度の値はプルダウンリストから選択します。

- [カスタムメニュー] の [ISO 感度拡張] を ON に設定すると、[1600] または [3200] の値が選択可能になります。

### 絞り値／シャッター速度／露出補正

それぞれの機能はスライダーで設定します。スライダーの左右の [矢印] アイコンをクリックして、スライダーを動かすこともできます。また、ボックスに直接数値を入力して設定することもできます。絞り値、シャッター速度、露出補正のうちの設定ができるかは、設定している [撮影モード] によって異なります。

絞り値：

絞り値 (F 値) を小さくすると、ピントの合う範囲が狭くなって、背景のぼけが強くなります。絞り値を大きくすると、ピントの合う範囲が前後に広がって、背景にもピントが合いやすくなります。

- [撮影モード] が [A] または [M] のときに、絞り値を設定できます。
- [カスタムメニュー] の [露出ステップ] の設定に応じて、設定可能な絞り値の範囲やステップ幅が変わります。

シャッター速度：

シャッター速度を速くすると、動いている被写体をとまっているように撮影できます。シャッター速度を遅くすると、動いている被写体がぶれて写り、躍動感のある画像になります。

- [撮影モード] が [S] または [M] のときに、シャッター速度が設定できます。
- [撮影モード] が [M] の場合、最長秒の値は「バルブ」になります。
- ボックスに直接数値を入力して設定する場合、1/2000 秒に設定したいときは「2000」と入力します。2 秒に設定したいときは、「2/」と入力します。
- [カスタムメニュー] の [露出ステップ] の設定に応じて、設定可能なシャッター速度の範囲やステップ幅が変わります。

露出補正：

カメラが設定した適正露出値を変更します。

- [撮影モード] が [P]、[A]、[S] のときに、露出補正が設定できます。
- [カスタムメニュー] の [露出ステップ] の設定に応じて、補正のステップ幅が変わります。

## ● 設定値を変更する

- 1 カメラコントロールウィンドウで各項目を設定する。  
または、[撮影設定／カメラ設定] ボタンをクリックして [撮影設定／カメラ設定] ダイアログを表示し、各項目を設定する。



ヒント

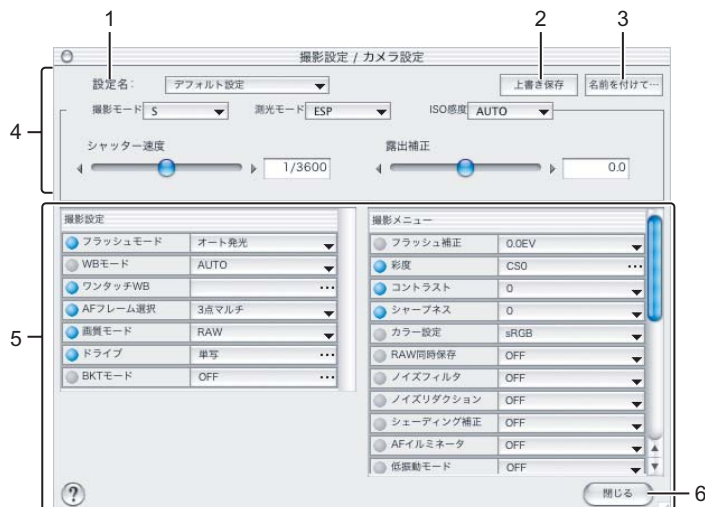
- 設定した内容を保存したい場合は、[撮影設定／カメラ設定] ダイアログで設定します。[保存] ボタンをクリックして「撮影設定／カメラ設定を保存する」P.239

## 詳細設定項目を設定する

詳細設定項目は、[撮影設定／カメラ設定] ダイアログで設定します。カメラコントロールウィンドウにも詳細設定項目が一部表示されており、そこで設定することもできます。

カメラコントロールウィンドウに表示する詳細設定項目は、[撮影設定／カメラ設定] ダイアログで設定します。

### [撮影設定／カメラ設定] ダイアログー詳細設定項目



番号	項目	内容
1	設定名	カメラの設定内容を保存したファイルが表示されます。ファイルを選択すると、その設定内容が読み込まれて、[撮影設定／カメラ設定] ダイアログの各設定項目に反映されます。
2	[上書き保存]	[撮影設定／カメラ設定] ダイアログで変更した設定内容を、[設定名] に表示されているファイルに上書き保存します。
3	[名前を付けて保存]	[撮影設定／カメラ設定] ダイアログに表示されている現在の設定内容を、新しい設定用ファイルとして名前を付けて保存します。
4	基本設定項目	撮影モードや露出補正などの基本的なカメラの設定を行います。カメラコントロールウィンドウの基本設定項目にも同じ項目が表示されます。どちらからも設定を変更することができます。
5	詳細設定項目	フラッシュや画質モード、シャープネスなどのカメラの各種設定を行います。詳細設定項目は [撮影設定] [撮影メニュー] [カスタムメニュー] [セットアップメニュー] の 4 つに分類されて表示されます。項目名が左側に、その設定値が右側に表示されます。設定値の欄を選択すると、設定を行うためのプルダウンリストやダイアログが表示されます。
6	[閉じる]	[撮影設定／カメラ設定] ダイアログを閉じます。



詳細設定項目で設定できる機能は以下の通りです。

接続しているカメラの機種や設定状態によっては設定できない項目もあります。各項目の詳細については、ご使用のカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

## **撮影設定**

### **フラッシュモード**

フラッシュを発光させるときのフラッシュモードを、プルダウンリストから選択します。

- 内蔵フラッシュがポップアップしていないとき、または外部フラッシュが接続されていないときは、自動的に「発光禁止」に設定されます。
- 「撮影モード」の設定によって、設定可能なフラッシュモードが異なります。詳しくはご使用のカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

### **WB モード**

光源に応じてホワイトバランスを変更します。実際の光源とは異なるホワイトバランスを選択し、画像の色調を意図的に変化させることもできます。ホワイトバランスはプルダウンリストから選択します。

## ワンタッチ WB

プレビュー領域に表示された画像から、ホワイトバランスを取得してワンタッチホワイトバランスとして登録します。

### 【ワンタッチ WB】ダイアログ



項目	内容
グレー点指定	<p>プレビュー画像上の任意の点をクリックして、グレー点を取得します。クリックした位置の画像の RGB 平均値は、R、G、B の各項目に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [スポイト] : クリックするとカーソルがスポイト状に変わります。プレビュー画像上にカーソルをおくと、カーソル位置の RGB 平均値が表示されます。プレビュー画像上の任意の点をクリックすると、グレー点が取得されます。</li> <li>・ [やり直し] : プレビュー画像をクリックして取得した RGB 平均値をリセットします。</li> </ul> <p>グレー点取得をキャンセルするには、以下の操作を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [スポイト] ボタンをクリックする。</li> <li>・ プレビュー領域以外をクリックする。</li> <li>・ [Esc] キーを押す。</li> </ul>
記憶先	<p>取得したホワイトバランスの記憶先をプルダウンリストから選択します。すでにホワイトバランスが登録されている記憶先を選択した場合は、上書きされます。</p>

## AF フレーム選択

オートフォーカスで撮影するとき使用する AF ターゲットマークの位置を選択します。AF フレームはプルダウンリストから選択します。

## 画質モード

撮影する画像の画質を選択します。画質モードはプルダウンリストから選択します。

- [SHQ] [HQ] [SQ] で撮影した画像は JPEG 形式で保存されます。
- [カスタムメニュー] の [RAW 同時保存] が ON に設定されているときは、[SHQ] [HQ] [SQ] の後に (+RAW) と表示されます。[SHQ] [HQ] [SQ] いずれかの画質モードで撮影したときは、1 回の撮影で自動的に JPEG 形式と RAW の 2 つの画像が作成されます。
- [SQ] を選択している場合は、さらに画像サイズと圧縮率を選択することができます。画像サイズと圧縮率の設定は [カスタムメニュー] の [SQ 設定]で行います。

## ドライブ

撮影方法の単写、連写の切り替えをします。[連写] を選択した場合は、連写枚数を設定します。

【ドライブ】ダイアログ



項目	内容
ドライブモード	ドライブモードをプルダウンリストから選択します。
コマ数	1 回の撮影で撮影される画像の枚数を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ドライブモード] が [単写] の場合は、コマ数の設定はできません。</li> </ul>

## BKT モード

オートブラケット撮影の設定を行います。[BKT モード] ダイアログでは、2 種類のオートブラケット撮影の設定を行うことができます。露出やホワイトバランスの設定に迷ったり、設定を変えて何度も撮り直せないときに利用できます。

- [ドライブモード] が [単写] のときは、[AE BKT] の [コマ数] で設定した数だけ [撮影] ボタンをクリックして、撮影します。[ドライブモード] が [連写] のときは、1 回の撮影で [コマ数] で設定した枚数だけ画像が撮影されます。

## [BKT モード] ダイアログ



項目	内容
AE BKT	<p>1 コマごとに露出を変えて複数枚の撮影をします。チェックマークを付けた場合は、連続して撮影する枚数と露出差を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コマ数：             <p>連続して撮影する画像の枚数をプルダウンリストから選択します。</p> </li> <li>• 補正ステップ：             <p>コマごとの露出差をプルダウンリストから選択します。</p> </li> </ul>
WB BKT	<p>1 回の撮影でホワイトバランス補正値を変えて処理をした画像を複数枚生成します。チェックマークを付けた場合は、生成する画像の枚数とホワイトバランス補正のステップ幅を選択します。ホワイトバランスの設定は [WB モード] で行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コマ数：             <p>1 回の撮影で生成される画像の枚数が表示されます。</p> </li> <li>• 補正ステップ：             <p>ホワイトバランス補正のステップ幅をプルダウンリストから選択します。</p> </li> </ul>
合計コマ数	<p>[AE BKT] と [WB BKT] 両方のオートブラケット撮影のコマ数を掛けた数が表示されます。1 回の撮影で [合計コマ数] の数だけ画像が生成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ドライブモード] が [単写] のときは、[AE BKT] の [コマ数] で設定した数だけ [撮影] ボタンをクリックして、撮影します。[ドライブモード] が [連写] のときは、1 回の撮影で [コマ数] で設定した枚数だけ画像が撮影されます。</li> </ul>

## 撮影メニュー

### フラッシュ補正

スライダーを使ってフラッシュの発光量を調節します。

- ・ [補正ステップ] の設定に応じて、補正値のステップ幅は変わります。

### 彩度

色再現モードを [彩度強調] と [記憶色強調] から選択します。

#### 【彩度】ダイアログ



項目	内容
彩度強調	スライダーを使って強調のレベルを選択します。
記憶色強調	強調したい記憶色をプルダウンリストから選択します。

### コントラスト

スライダーを使って画像の明暗の差を調節します。

### シャープネス

スライダーを使って画像の鮮鋭度を調節します。

### カラー設定

画像の色再現の方法をプルダウンリストから選択します。

### RAW 同時保存

ON を選択すると、JPEG 形式で画像を撮影する場合（[画質モード] が [SHQ] [HQ] [SQ] の場合）に、RAW データの画像も同時に保存します。1 度の撮影で 2 枚の画像が作成されます。作成された 2 枚の画像のファイル名は、拡張子のみが異なります。

### ノイズフィルタ

ONを選択すると、通常時間露光したときに発生するランダムノイズを軽減します。

### ノイズリダクション

ON を選択すると、長時間露光したときに発生するノイズを軽減します。

## シェーディング補正

ON を選択すると、広角レンズの特性による画像の周辺が暗くなる現象が発生したときの、明るさの補正を行います。

## AF イルミネータ

ON を選択すると、被写体が暗いときに AF イルミネータが自動的に発光します。

## 低振動モード

ON を選択すると、撮影時に低振動モードが作動します。シャッターボタンを押した瞬間には撮影されずに、少し間隔をおいてシャッターが切れます。例えば三脚を使用して撮影している場合、ミラーアップによる振動がおさまってからシャッターを切ることができます。

## カスタムメニュー

### 露出ステップ

露出補正、絞り値、シャッター速度の設定値のステップ幅を選択します。

### ISO 感度拡張

ON を選択すると、[ISO 感度] で [1600] または [3200] の値が選択可能になります。

### WB 補正

[設定する WB モード] で選択したホワイトバランスに対して、補正を行います。[AUTO]（オートホワイトバランス）に対して補正することもできます。

【WB 補正】ダイアログ



項目	内容
設定する WB モード	補正を行うホワイトバランスをプルダウンリストから選択します。
補正ステップ	スライダーを使って調節します。

## SQ 設定

「画質モード」で「SQ」を選択している場合に設定される画像サイズと圧縮率を選択します。

【SQ 設定】ダイアログ



項目	内容
画像サイズ	画像サイズをプルダウンリストから選択します。
圧縮率	画像の圧縮率をプルダウンリストから選択します。

## レリーズ優先 S

フォーカスモードをレリーズ優先にするかフォーカス優先にするか選択します。プルダウンリストで「ON」を選択すると、レリーズ優先になります。「OFF」を選択すると、フォーカス優先になります。

## レンズリセット

ON を選択すると、カメラの電源を切ったときに、レンズが自動的に収納されます。

## セットアップメニュー

### レックビュー

OFF 以外を選択すると、カメラの液晶モニタに撮影直後の画像が表示されます。

### ピープ音

カメラの警告音の ON / OFF をプルダウンリストで選択します。

### スリープ時間

カメラが電池の消耗を防ぐために自動的にスリープモード（待機状態）に入るまでの時間をプルダウンリストで選択します。

- カメラをパソコンに接続して使用しているときは、設定した時間が経過してもスリープモードにはなりません。

## ● 設定値を変更する

〔撮影設定／カメラ設定〕ダイアログで、またはカメラコントロールウィンドウで詳細設定項目の設定値を変更します。

詳細設定項目



- 1 〔撮影設定／カメラ設定〕ボタンをクリックする。  
または、〔カメラ〕メニューから〔撮影設定／カメラ設定〕を選択する。

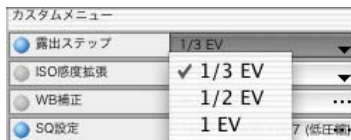
## 2 設定値をクリックする。

プルダウンリスト、スライダー、ダイアログのいずれかの設定変更用コントロールが表示されます。



## 3 設定値を変更する。

プルダウンリストの場合



プルダウンリストから設定値を選択します。

選択と同時に、設定値が変更されます。



## スライダーの場合



スライダーのつまみを左右にドラッグして、設定値を変更します。また、[◀] [▶] マークをクリックして、設定値を 1 段階ずつ変更することができます。スライダーの左右には、設定可能な設定値の最小値と最大値が表示されます。ポップアップ以外をクリックすると、設定値が変更されます。

## ダイアログの場合



[OK] ボタンをクリックすると、設定値が変更され、ダイアログが閉じます。  
[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定値の変更は取り消されます。

## ● 詳細設定項目をカメラコントロールウィンドウに表示する

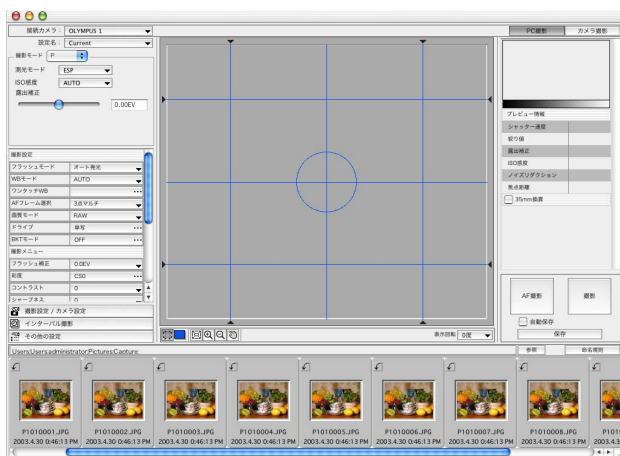
カメラコントロールウィンドウに詳細設定項目として表示する項目を設定します。表示された項目は、カメラコントロールウィンドウと「撮影設定／カメラ設定」ダイアログのどちらからも設定値を変更することができます。よく使う機能をカメラコントロールウィンドウに表示すると、「撮影設定／カメラ設定」ダイアログを表示させることなく設定値を変更でき、便利です。

### 1 「撮影設定／カメラ設定」ダイアログで、項目名の左の余白部分をクリックする。

(例) 「フラッシュモード」をカメラコントロールウィンドウの詳細設定項目に表示する。



余白部分に●マークが表示され、カメラコントロールウィンドウの詳細設定項目に項目が表示されます。



カメラコントロールウィンドウ上の表示を解除するには

「撮影設定／カメラ設定」ダイアログで、項目名の左に付いている●マークをクリックする。

## 撮影設定／カメラ設定を保存する

〔撮影設定／カメラ設定〕ダイアログで、設定した内容を保存します。新たに設定名を付けて保存したり、すでに保存されている内容を変更して上書き保存することもできます。

設定内容を保存しておく、次にカメラコントロールウィンドウを起動したときに、〔設定名〕プルダウンリストから選択して同じ設定にすることができます。「スタジオ撮影用」「フィールド撮影用」など、用途に応じた設定名を付けて保存しておく、と便利です。

設定内容が保存されたファイルの拡張子は \*.ocf です。

### 1 カメラコントロールウィンドウで、〔PC 撮影〕ボタンをクリックする。

PC マスターモードに設定されます。

### 2 〔撮影設定／カメラ設定〕ボタンをクリックする。 または、〔カメラ〕メニューから〔撮影設定／カメラ設定〕を選択する。

〔撮影設定／カメラ設定〕ダイアログが表示されます。

#### 〔撮影設定／カメラ設定〕ダイアログ



### 3 各種設定を変更する。

🔍「詳細設定項目を設定する」P.227

設定を変更すると、設定名の後ろに（変更）と表示されます。（変更）と表示された設定名は、設定内容を変更後、保存されていないことを示します。

## 4 [名前を付けて保存] ボタンをクリックする。

[名前を付けて保存] ダイアログが表示されますので、ファイル名と保存場所を設定します。

設定用ファイルが新しく作成され、[設定名] に新規保存したファイル名が表示されます。




### 既存の設定用ファイルの内容を変更して、上書き保存するには

既存の設定用ファイルの内容を変更すると、設定名の後に（変更）と表示されます。このときに、[上書き保存] ボタンをクリックすると、設定した内容が [設定名] で選択したファイル名で上書き保存されます。

## ● 保存した設定用ファイルを使用してカメラの設定を一括変更するには

保存した設定ファイルを使用して、カメラの設定を一括変更することができます。カメラコントロールウィンドウ、または [撮影設定／カメラ設定] ダイアログの各項目に保存した設定ファイルの設定値を反映します。

### 1 複数のカメラをパソコンに接続している場合は、設定を変更するカメラを [接続カメラ] から選択する。

 「複数のカメラを接続して撮影する」 P.218

設定を変更するカメラは、設定ファイルを保存したときのカメラと同じ機種を選択してください。

## 2 カメラコントロールウィンドウまたは[撮影設定／カメラ設定]ダイアログで、[設定名]のプルダウンリストからファイル名を選択する。

[撮影設定／カメラ設定] ダイアログ [設定名] のプルダウンリスト



設定名	内容
デフォルト設定	設定内容の読み込みを行っていないことを示します。カメラコントロールウィンドウを起動したときは「デフォルト設定」が常に表示され、起動時のカメラの設定内容が設定項目に表示されます。初期設定です。
(設定用ファイル名)	同じフォルダ内に保存されている設定用ファイルのファイル名がプルダウンリストに表示されます。ファイル名を選択すると設定内容が読み込まれて、設定値が各設定項目に反映されます。
参照	別のフォルダに保存されている設定用ファイルを開きます。「参照」を選択すると、「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。ファイルを選択すると設定内容が読み込まれて、設定値が各設定項目に反映されます。



注意

- 設定ファイルを保存したときのカメラと設定ファイルを反映するカメラの機種が異なる場合、エラーメッセージが表示され、設定の変更は行われません。


# インターバル撮影をする

一定間隔をおいて、自動的に撮影が繰り返されます。シャッターボタンを押さなくても、設定した間隔で自動的に撮影されますので、蕾が開花する様子を定点撮影するなどの様々な使い方ができます。インターバル撮影を開始する前に、撮影する間隔や撮影する枚数、撮影終了までの時間を設定します。

## 1 インターバル撮影を始める前に、以下のことを確認してください。

- ・ インターバル撮影中は、パソコンとカメラの電源をオフにしないでください。
- ・ インターバル撮影を行うときは、パソコンの電源を家庭用コンセントから供給してください。
- ・ カメラの電源はご使用のカメラ専用の AC アダプタ (別売) のご使用をおすすめします。

## 2 「PC マスターモードで撮影する」の手順 1～5 を行う。

 「PC マスターモードで撮影する」P.213







インターバル撮影では [自動保存] のチェックマークの状態に関わらず、インターバル撮影が終了後に、自動的に画像がパソコンに取り込まれます。

## 3 [インターバル撮影] ボタンをクリックする。 または、[カメラ] メニューから [インターバル撮影] を選択する。

[インターバル撮影] ダイアログが表示されます。

### [インターバル撮影] ダイアログ



項目	内容
撮影間隔	シャッターがきれる間隔を設定します。[時間]、[分]、[秒]の各項目の数値を  、または  をクリックして設定します。撮影間隔の最長設定値は 99 時間 59 分 59 秒です。
終了条件	<p>終了条件として [枚数] または [時間] を選択します。設定した終了条件に達すると、自動的にインターバル撮影が終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 枚数： 撮影枚数を   をクリックして設定します。設定した枚数を撮影すると撮影が終了します。</li> <li>• 時間： [時間]、[分]、[秒] の各項目の数値を   をクリックして設定します。設定した時間が経過すると撮影が終了します。</li> </ul>
進行状況	<p>インターバル撮影の進行状況を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 撮影開始日時： [撮影開始] ボタンをクリックして 1 枚目を撮影したときの日時が表示されます。</li> <li>• 最後に撮影した日時： 最後にシャッターがきれたときの日時が表示されます。</li> <li>• 撮影済み枚数： 撮影された画像の合計枚数が表示されます。</li> </ul>
[撮影開始]	[撮影間隔] で設定した間隔で撮影を始めます。[撮影開始] ボタンを押した直後に、1 枚目が撮影されます。
[中止]	インターバル撮影を中止します。[終了条件] で設定した枚数、または時間に達する前に、撮影を終了したいときに使用します。
[閉じる]	[インターバル撮影] ダイアログを閉じます。

## 4 [撮影間隔] と [終了条件] を設定する。

## 5 [撮影開始] ボタンをクリックする。

[撮影開始] ボタンをクリックした直後に、1 枚目が撮影され、インターバル撮影が開始します。

撮影した画像が自動的にパソコンに取り込まれ、保存されます。

撮影した画像がサムネイル表示エリアに表示されます。

インターバル撮影中は、ダイアログ右側の [進行状況] で現在の撮影枚数などを確認できます。

[終了条件] で設定した枚数または時間に達する前にインターバル撮影を終了したいときは、[中止] ボタンをクリックします。

## 6 インターバル撮影が終了したら、[閉じる] ボタンをクリックして、[インターバル撮影] ダイアログを閉じる。



注意

- インターバル撮影中は、インターバル撮影の撮影間隔や終了条件を変更することはできません。カメラの設定を変更することもできません。
- [撮影間隔]を極端に短く設定している場合、設定した間隔では撮影できないことがあります。この場合、設定した間隔にできるだけ近い間隔で撮影されます。
- インターバル撮影中にハードディスクの空き容量が不足すると、エラーメッセージを表示し、インターバル撮影を中止します。
- カメラをパソコンに接続中は、[カスタムメニュー]の[スリープ時間]で設定した時間が経過してもカメラはスリープモード（待機状態）にはなりません。
- インターバル撮影中は、フォーカスモードが自動的にレリーズ優先に変更されます。



## その他の設定

カメラの日時設定をパソコンから行います。パソコンの日時設定をそのままカメラに設定することができます。また、カメラ ID を表示して確認・変更することができます。

- 1 **【その他の設定】 ボタンをクリックする。  
または、【カメラ】メニューから【その他の設定】を選択する。**



【その他の設定】ダイアログが表示されます。

### 【その他の設定】ダイアログ

項目	内容
カメラ ID	カメラの ID が表示されます。カメラ ID の初期設定は、「OLYMPUS DIGITAL CAMERA」です。接続しているカメラを識別するために、カメラ ID を編集することができます。半角 31 文字まで入力することができます。カメラ ID は、カメラコントロールウィンドウの [接続カメラ] の項目にも表示されます。

## 日時設定

カメラの日時設定の確認・変更を行うことができます。

- 日付：  
カメラに現在設定されている日付を表示します。日付を変更するには、横のボタンをクリックし選択するかボックスに直接入力します。
- 年月日順序：  
日付の年月日の表示形式を切り替えます。表示順は[Y Y M M D D] [M M D D Y Y] [D D M M Y Y] からプルダウンリストで選択します。
- 時刻：  
カメラに現在設定されている時刻を表示します。時刻を変更するには、[時]、[分]、[秒]の各項目の数値の   をクリックします。
- [表示を更新]：  
日時設定の状態を、カメラから再度読み込んで表示を更新します。
- [PC に合わせる]：  
日時設定の状態を、パソコンから読み込んでカメラに設定します。

[キャンセル] / [閉じる]

カメラ ID および日時設定の変更を取り消します。  
[PC に合わせる] ボタンをクリックしたときは、[キャンセル] ボタンが [閉じる] ボタンに自動的に変わります。  
[閉じる] ボタンをクリックすると、[その他の設定] ダイアログが閉じます。

[OK]

変更したカメラ ID および日時設定をカメラに設定します。

## 2 設定を行う。

### カメラ ID を変更するには

ボックスに直接入力して、カメラ ID を変更します。半角 31 文字まで入力できます。[OK] ボタンをクリックしてカメラ ID を設定します。


### カメラの日時設定を変更するには

[日付]、[年月日順序]、[時刻] の各項目を変更し、[OK] ボタンをクリックします。

### パソコンの日時設定をカメラに設定するには

[PC に合わせる] ボタンをクリックします。カメラにパソコンの日時設定の状態が書き込まれて、[日付]、[年月日順序]、[時刻] の各項目の値が自動的に変わります。[OK]、または [閉じる] ボタンをクリックして [その他の設定] ダイアログを閉じます。



- カメラ ID はブラウザウィンドウのプロパティ領域にも表示されます。  
 「プロパティ領域を表示する」 P.82

# ファームウェアのアップデート

インターネットに接続して、OLYMPUS E-System のボディ、レンズ、フラッシュ等のファームウェアのアップデートを行います。

カメラのモード操作およびカメラとパソコンの接続／取り外し方法については、「OLYMPUS Studio の起動」をご覧ください。P.24

カメラの電源には、フル充電したバッテリーか、別売の AC アダプタを使用してください。

**1** カメラの電源を ON にし、カメラの [PC モード] を [カメラコントロール] に設定する。

**2** USB ケーブルまたは IEEE1394 (FireWire) ケーブルで、カメラとパソコンを接続する。

**3** ブラウズウィンドウの [ヘルプ] メニューから [ファームウェアのアップデート] を選択する。

確認メッセージが表示されます。

画像編集ウィンドウやカメラコントロールウィンドウの [ヘルプ] メニューから [ファームウェアのアップデート] を選択することもできます。

**4** 確認メッセージの内容を確認して [はい] ボタンをクリックする。

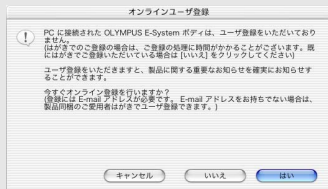
[ファームウェアのアップデート] ダイアログが表示され、[デバイスの選択] リストに接続しているデバイスの現在のバージョンが表示されます。

[ファームウェアのアップデート] ダイアログ - 最新バージョンのチェック前





- 接続されているカメラがユーザ登録されていない場合は、[オンラインユーザ登録] ダイアログが表示されます。



- [はい] ボタンをクリックすると、Web ブラウザが起動し、ユーザ登録ページが表示されます。
- [いいえ] ボタンをクリックすると、ユーザ登録をスキップすることができます。



- ファームウェアのアップデートに対応していないデバイスは、[デバイスの選択] リストに表示されません（ボディのファームウェアをアップデートすることにより、アップデートが可能になる場合があります）。
- レンズ関連アクセサリ（テレコンバータなど）が複数取り付けられている場合は、レンズやアクセサリが [デバイスの選択] リストに表示されない場合があります。

## 5 [最新バージョンをチェック] ボタンをクリックする。

サーバーと通信を行い、[デバイスの選択] リストに各デバイスの最新のバージョンが表示されます。

新しいバージョンが存在するデバイスには、左側に「↑」アイコンが表示されます。

### [ファームウェアのアップデート] ダイアログ - 最新バージョンのチェック後



## 6 [デバイスの選択] リストで、アップデートを行うデバイスを選択する。

選択したデバイスに応じて、[適用するファームウェアの選択] リストの表示が切り替わります。

## 7 [適用するファームウェアの選択] リストで、適用するファームウェアを選択する。

[詳細] ボタンをクリックすると、Web ブラウザが起動し、選択中のファームウェアの詳細説明ページが表示されます。



- [全ての適用可能なバージョンを表示] チェックマークを付けると、現在とは種類が異なる適用可能なファームウェアがサーバー上に存在する場合に限り、これらのファームウェアも表示されるようになります。種類が異なるファームウェアは、左側に「！」アイコンが表示されます（カメラの機能や表示可能な言語が変更される場合がありますので、ご注意ください）。

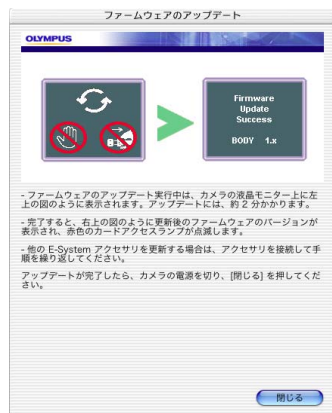
## 8 [アップデートを実行] ボタンをクリックする。

確認メッセージ、および [使用許諾契約] ダイアログの表示後、ファームウェアのダウンロード、およびカメラへの転送が行われます。

## 9 「ファームウェアの転送が成功しました。」というメッセージが表示されたら、画面の指示に従って、カメラから USB ケーブルまたは IEEE1394 (FireWire) ケーブルを抜く。

ケーブルを抜くと、ファームウェアのアップデートが自動的に開始されます。

### [ファームウェアのアップデート] ダイアログ - アップデート実行中



アップデートの実行中は、絶対にカメラの電源を切ったり、カメラのボタンを押したりしないでください。

アップデートが完了すると、カメラの液晶モニターに更新後のファームウェアのバージョンが表示されます。

**10** アップデートが完了したら、画面の指示に従ってカメラの電源を OFF にし、[閉じる] ボタンをクリックする。

# OLYMPUS Studio の環境設定

OLYMPUS Studio の各ウィンドウで共通となる操作環境の設定を行います。

## OLYMPUS Studio の環境設定を行う

- 1 ブラウズウィンドウ、画像編集ウィンドウ、カメラコントロールウィンドウで、[ツール] メニューから [環境設定] を選択する。  
または、ブラウズウィンドウ、画像編集ウィンドウで、ツールバーの [環境設定] をクリックする。

[環境設定] ダイアログが表示されます。

[環境設定] ダイアログに表示される項目は、どのウィンドウから表示しても同じです。

### [環境設定] ダイアログ



項目	内容	参照頁
[一般] タブ	OLYMPUS Studio の自動起動と登録アプリケーションを設定するときに選択します。	P.253
[ブラウズ] タブ	ブラウズウィンドウ上の動作に関する設定を行うときに選択します。	P.255

[全画面表示] タブ	ブラウズウィンドウ上の全画面表示やスライドショーに関する設定を行うときに選択します。	P.257
[分類チェックマーク] タブ	分類チェックマークの色や形の変更、データファイルの削除に関する設定を行うときに選択します。	P.260
[カラーマネージメント] タブ	カラーマネージメントに関する設定を行うときに選択します。	P.263
[キャンセル]	環境設定を取り消します。	—
[適用]	設定した内容を適用します。	—
[OK]	設定した内容を適用し、[環境設定] ダイアログを閉じます。	—

## 2 変更する項目のタブをクリックし、内容を設定する。



「[一般] タブを設定する」P.253

「[ブラウズ] タブを設定する」P.255

「[全画面表示] タブを設定する」P.257

「[分類チェックマーク] タブを設定する」P.260

「[カラーマネージメント] タブを設定する」P.263

## 3 [OK] ボタンをクリックする。

[環境設定] ダイアログが閉じます。



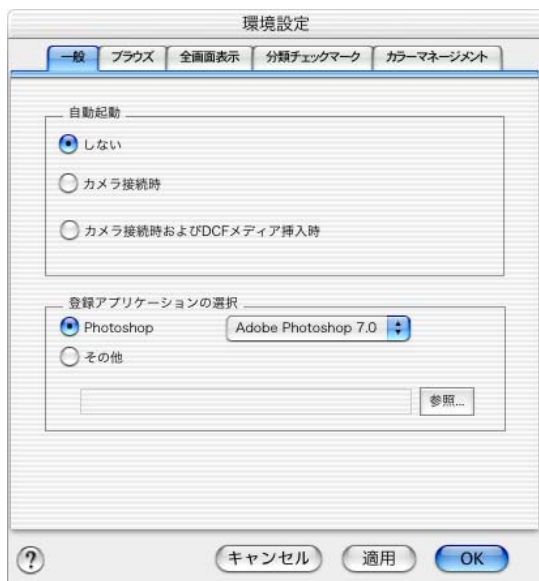
# 【一般】タブを設定する

OLYMPUS Studio の自動起動の設定と登録アプリケーションの選択を行います。

## 1 【環境設定】ダイアログで【一般】タブを選択する。

【一般】タブが表示されます。

### 【環境設定】ダイアログ 【一般】タブ



項目名	内容
自動起動	<p>カメラをパソコンに接続したとき、メディアをパソコンに挿入したときに、OLYMPUS Studio を自動的に起動させるかどうかを設定します。[しない]、[カメラ接続時]または[カメラ接続時および DCF メディア挿入時]を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• しない： 自動起動を行いません。</li><li>• カメラ接続時： オリンパス製カメラをパソコンに接続したときに OLYMPUS Studio が自動的に起動します。</li><li>• カメラ接続時および DCF メディア挿入時： オリンパス製カメラをパソコンに接続したときおよび DCF (Design rule for Camera File System) 準拠で記録されたメディアをパソコンに挿入したときに OLYMPUS Studio が自動的に起動します。</li></ul>

## 登録アプリケーションの選択


ブラウザウィンドウで[編集]メニューから[登録アプリケーションを起動]を選択した場合、および画像編集ウィンドウで[ツール]メニューから[登録アプリケーションを起動]を選択した場合に起動するアプリケーションを設定します。  
[Photoshop] または [その他] を選択します。

- [Photoshop] :  
インストール済みの Photoshop を自動的に認識します。インストールされていない場合は淡色表示されます。バージョンの異なる複数の Photoshop がインストールされている場合は、プルダウンリストに表示されますので、使用する Photoshop を選択します。
- [その他] :  
[参照] ボタンをクリックし、使用するアプリケーションを指定します。

## 2 各項目を設定する。

### 自動起動を設定するには

[カメラ接続時]または[カメラ接続時および DCF メディア挿入時]を選択します。

 「カメラとパソコンを接続する」 P.24

 「OLYMPUS Studio を自動起動する」 P.30

### 画像編集用のアプリケーションを選択するには

[登録アプリケーションの選択] から [Photoshop] または [その他] を選択します。  
[その他] を選択した場合は、[参照] ボタンをクリックしてアプリケーションの実行ファイル (\*.exe) を選択します。



注意

- Windows XP の場合、ストレージモードのカメラを接続したりメディアを挿入すると、[自動起動]の設定に関わらず[自動再生]ダイアログが表示されます。
- Windows XP の場合、[カメラ接続時および DCF メディア挿入時] は淡色表示され、選択できません。



ヒント

- [登録アプリケーションの選択] の設定を変更すると、次の場合に起動するアプリケーションも変更されます。
- ブラウズウィンドウで、[編集] メニューから [登録アプリケーションを起動] を選択した場合。
- 画像編集ウィンドウで、[ツール] メニューから [登録アプリケーションを起動] を選択した場合。
- ブラウズウィンドウおよび画像編集ウィンドウのツールバーの [登録アプリケーションの起動] アイコンをクリックした場合。
- 画像編集ウィンドウで、[名前を付けて保存] ダイアログおよび [バッチ処理] ダイアログの [保存後、登録アプリケーションで開く] にチェックマークを付けて、画像を保存した場合。

# 【ブラウズ】 タブを設定する

ブラウズウィンドウ起動時に最初に表示するフォルダ、サムネイル表示エリアに表示するファイルの種類、Exif 画像に関する設定、回転ボタンの方向など、ブラウズウィンドウに関する環境設定を行います。

## 1 【環境設定】 ダイアログで【ブラウズ】 タブを選択する。

【ブラウズ】 タブが表示されます。

### 【環境設定】 ダイアログ 【ブラウズ】 タブ



項目	内容
起動時のフォルダ	ブラウズウィンドウ起動時に、最初にサムネイル表示エリアに表示するフォルダを設定します。[前回のフォルダ] [指定したフォルダ] のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• [前回のフォルダ] : 最後にブラウズウィンドウで参照したフォルダが表示されます。</li><li>• [指定したフォルダ] : [参照] ボタンをクリックしてフォルダを指定します。</li></ul>
表示するファイルの種類	サムネイル表示エリアに表示するファイルの種類を以下から選択します。 JPEG、TIFF、PICT (Macintosh 版のみ)、Bitmap (Windows 版のみ)、PNG、Photoshop、RAW Data、OLYMPUS Studio 専用形式

Exif 画像の回転	サムネイル表示エリアで Exif 画像の回転を行った場合の動作を設定します。タグの内容のみ変更し、画像データは回転させない場合は [タグのみ変更] を選択します。画像データ自体を回転させる場合は [画像データを回転] を選択します。
回転ボタンの方向	サムネイル枠の [回転] ボタンの回転方向を [左 90 度] [右 90 度] から選択します。

## 2 各項目を設定する。

### 起動時にサムネイル表示エリアに表示されるフォルダを設定するには

[起動時のフォルダ] から [前回のフォルダ] または [指定したフォルダ] を選択します。[指定したフォルダ] を選択した場合は、[参照] ボタンをクリックしてフォルダツリーから表示するフォルダを選択します。

### サムネイル表示エリアに表示されるファイルの種類を設定するには

[表示するファイルの種類] から表示するファイルにチェックマークを付けます。

### Exif 画像の回転方法を設定するには

[Exif 画像の回転] から [タグのみ変更] または [画像データを回転] を選択します。[画像データを回転] を選択して JPEG 画像を回転すると、ロスレス回転が実行されます。📷「画像の回転」P.60

### サムネイル枠の [回転] ボタンの回転方向を設定するには

[回転ボタンの方向] から [左 90 度] または [右 90 度] を選択します。



ヒント

- [Shift] キーを押しながら [回転] ボタンをクリックすることで、一時的に画像の回転方向を逆にすることができます。

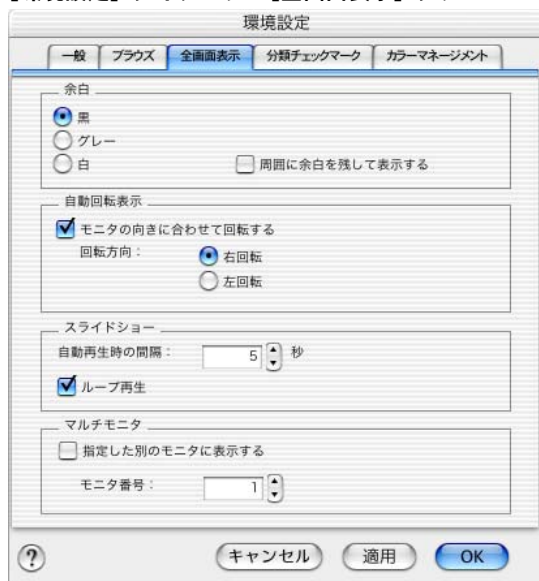
# 【全画面表示】タブを設定する

全画面表示時の余白の色、全画面表示時の自動回転の有無、スライドショーの設定、マルチモニタの設定を行います。

## 1 【環境設定】ダイアログで【全画面表示】タブを選択する。

【全画面表示】タブが表示されます。

### 【環境設定】ダイアログ 【全画面表示】タブ



項目	内容
余白	画像を全画面表示した場合の余白の色を設定します。[黒] [グレー] [白] から選択します。
周囲に余白を残して表示する	チェックマークを付けると、全画面表示した場合、画面の周囲に余白を残して画像が表示されます。
自動回転表示	<ul style="list-style-type: none"><li>モニタの向きに合わせて回転する： チェックマークを付けると、全画面表示した場合、画像がモニターの向きに合わせて自動的に回転して表示されます。</li><li>回転方向： 画像が自動回転する方向を [右回転] [左回転] から選択します。</li></ul>

## スライドショー

- 自動再生時の間隔：  
1つの画像を表示後、次の画像に切り替わるまでの時間を秒数で設定します。
- ループ再生：  
チェックマークを付けると、スライドショーの対象画像を全て表示後、最初の画像に戻って表示が繰り返されます。

## マルチモニタ

- 指定した別のモニタに表示する：  
チェックマークを付けると、以下の操作を行った場合、指定した別のモニタに画像を全画面表示します。
- ブラウズウィンドウのブラウズモードで、サムネイルをダブルクリックする。
- ブラウズウィンドウのライトボックスモードで、画像比較エリア上の画像をダブルクリックする。
- ブラウズウィンドウでスライドショーを実行する。
- カメラコントロールウィンドウで撮影する。
- モニタ番号：  
マルチモニタ設定時、全画面表示するモニタの番号を設定します。

## 2 各項目を設定する。

### 全画面表示時の余白の色を設定するには

[余白] から [黒] [グレー] または [白] を選択します。画面の周囲に常に余白を残して表示したい場合は、[周囲に余白を残して表示する] にチェックマークを付けます。

### 縦画像を横向きで表示することで大きく表示する設定をするには

[自動回転表示] の [モニタの向きに合わせて回転する] にチェックマークを付け、回転方向を [右回転] または [左回転] から選択します。

### スライドショーの再生間隔やループ再生を設定するには

[スライドショー] の [自動再生時の間隔] を秒単位で設定します。繰り返しスライドショーを行う場合は、[ループ再生] にチェックマークを付けます。

### マルチモニタを設定するには

現在OLYMPUS Studioを起動しているモニタとは別のモニタに画像を全画面表示したい場合は、[指定した別のモニタに表示する] にチェックマークを付け、[モニタ番号] にモニタ番号を指定します。モニタの番号はOSの設定にしたがって指定してください。



注意

- [マルチモニタ]を設定するためには、MacintoshまたはWindowsが2台以上のモニタを認識している必要があります。1台のモニタしか認識していない場合は、[マルチモニタ]は淡色表示され、設定できません。



ヒント

- [余白]の設定を変更すると、以下の設定も変更されます。  
ビューモードの単画像領域の余白  
スライドショーを実行した場合の余白
- マルチモニタの設定で指定したモニタの全画面表示を消したい場合は、以下の操作を行います。  
[Esc] キーを押す  
全画面表示上をダブルクリックする

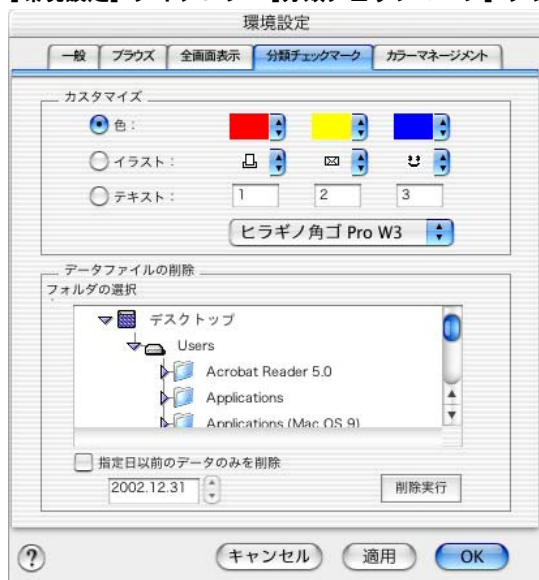
# 【分類チェックマーク】タブを設定する

分類チェックマークの色、形状、文字を設定します。また、分類チェックマークを記憶したデータファイルを削除して、不要になった分類チェックマークを一括して削除することができます。

## 1 【環境設定】ダイアログで【分類チェックマーク】タブを選択する。

【分類チェックマーク】タブが表示されます。

### 【環境設定】ダイアログ 【分類チェックマーク】タブ





項目	内容
カスタマイズ	<p>分類チェックマークのデザインを [色] [イラスト] [テキスト] から選択し、それぞれ詳細を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色： プルダウンリストから色を選択します。プルダウンリストの [参照] を選択すると色選択用のダイアログが表示されますので、任意の色を指定することができます。</li> <li>イラスト： プルダウンリストからイラストを選択します。プルダウンリストの [参照] を選択すると [ファイルを開く] ダイアログが表示されますので、事前に作成した画像ファイルを指定することができます。</li> <li>テキスト： 分類チェックマークとして表示させる 1 文字を入力します。</li> <li>[フォント]： [テキスト] を選択したとき、表示するフォントを設定します。プルダウンリストからフォントを選択します。</li> </ul>
データファイルの削除	<p>分類チェックマークの記憶用データファイルを削除します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フォルダの選択： フォルダツリーから削除したいデータファイルのあるフォルダを指定します。</li> <li>指定日以前のデータのみを削除： チェックマークを付けると、プルダウンリストで指定した日時より以前のデータファイルだけを削除します。</li> <li>[削除実行]： 指定したデータファイルを削除します。</li> </ul>

## 2 各項目を設定する。

### 分類チェックマークをカスタマイズするには

[カスタマイズ] から [色] [イラスト] または [テキスト] を選択します。分類チェックマークは 3 種類ありますので、3 種類の色、イラストまたは文字を選択します。



- [フォント] プルダウンリストでは、使用するフォントのフォント名だけが指定できます。フォントのスタイル（太字や斜体など）やサイズを指定することはできません。

### 分類チェックマークに使用するイラストを作成するには

分類チェックマークに使用したいイラストがある場合は、以下の条件で画像ファイルを作成しておきます。

- 画像形式：TIFF、PICT（Macintosh 版のみ）、Bitmap（Windows 版のみ）
- 色数：黒、白の2色
- 画像サイズ：11 × 11 ピクセル

条件に合わない画像ファイルは、分類チェックマークに使用することができません。条件に合わない画像ファイルを「イラスト」に選択すると、エラーメッセージが表示されます。

### 分類チェックマークの記録用データファイルを削除するには

「データファイルの削除」の「フォルダの選択」から削除したいデータファイルのあるフォルダを選択し、「削除実行」ボタンをクリックします。特定日以前のデータファイルを削除する場合は、「指定日以前のデータのみを削除」にチェックマークを付けてからプルダウンリストで日付を指定します。



注意

- 「フォルダの選択」で指定したフォルダにサブフォルダがある場合、サブフォルダ内のデータファイルも削除されます。
- 他のアプリケーションソフトで分類チェックマークのデータファイルを削除すると、画像に付けられた分類チェックマークが消えてしまいますので注意してください。



ヒント

- 分類チェックマークのデータファイルは、ブラウズウィンドウで画像に分類チェックマークを付けると自動的に作成されます。このデータファイルはチェックマークを付けた画像のあるフォルダ内に保存されます。

# 【カラーマネージメント】タブを設定する

カラーマネージメントに関する設定を行います。

同じ画像であっても、使用するモニタやプリンタなどによって表示される色が変化してすることがあります。こうした色の不一致が発生するのを防ぐシステムを、「カラーマネージメント」といいます。

モニタ、プリンタなどの入出力機器は、表現可能な色再現域を「カラースペース」で定義します。各入出力機器により色再現域は異なるので、「プロファイル」で色の違いを補正します。プロファイルは画像の保存時に自動的に画像に埋め込まれますが、画像のモニタ表示や印刷に使用するプロファイルは、別に OS で設定されています。[カラーマネージメント] タブでは、画像保存時のプロファイル埋め込みを解除したり、OS 設定のプロファイルを使用しないよう設定することができます。OS の設定を確認後、必要に応じて [カラーマネージメント] タブの設定を変更します。

## OS のプロファイル設定を確認する

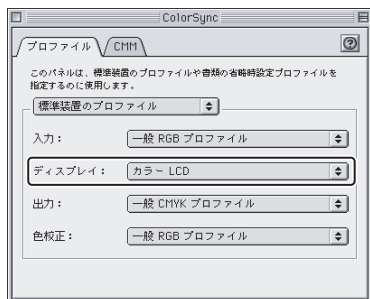
画像をモニタに表示するとき使用するプロファイルと、画像を印刷するとき使用するプロファイルが、OS でどのように設定されているか確認します。それぞれの設定は [カラーマネージメント] タブで設定する [モニタプロファイル] と [プリンタプロファイル] に対応します。

### ● 画像をモニタに表示するとき使用するプロファイルの設定を確認する

#### Mac OS 9 の場合

- 1 [アップル] メニューから [コントロールパネルー ColorSync] を選択する。
- 2 [プロファイル] タブを選択し、[標準装置のプロファイル] の内容から [ディスプレイ] の設定を確認する。

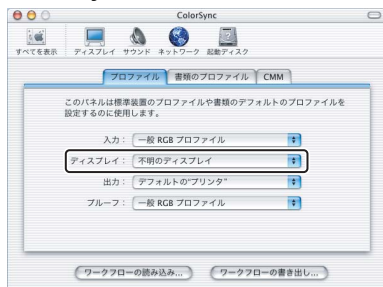
[ColorSync] ダイアログ [プロファイル] タブ (Mac OS 9)



## Mac OS X (10.1) の場合

- 1 [アップル]メニューから[システム環境設定]を選択し、[ColorSync]を選択する。
- 2 [プロファイル]タブを選択し、[ディスプレイ]の設定を確認する。

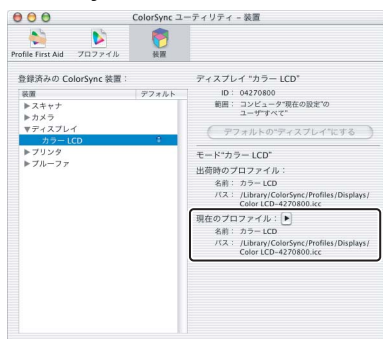
### [ColorSync] ダイアログ [プロファイル] タブ (Mac OS X (10.1))



## Mac OS X (10.2) の場合

- 1 起動ディスクの[アプリケーション-ユーティリティ]フォルダを開き、[ColorSync ユーティリティ]をダブルクリックする。
- 2 [装置]を選択し、装置から[ディスプレイ]を選択して[現在のプロファイル]の設定を確認する。

### [ColorSync ユーティリティ] ダイアログ [装置] (Mac OS X (10.2))



## Windows

- 1 デスクトップを表示した状態で右クリックすると表示されるリストから【プロパティ】を選択する。

【画面のプロパティ】ダイアログが表示されます。

- 2 【画面のプロパティ】ダイアログで【設定】タブを選択する。

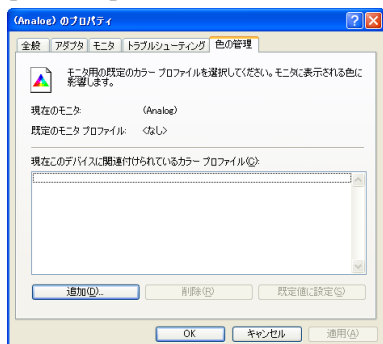
【画面のプロパティ】ダイアログ 【設定】タブ



- 3 【詳細設定】ボタンをクリックすると表示されるダイアログで、【色の管理】タブを選択する。

表示されるダイアログの名称はご使用のモニタによって異なります。

【色の管理】タブ



- 4 【既定のモニタプロファイル】の設定を確認する。

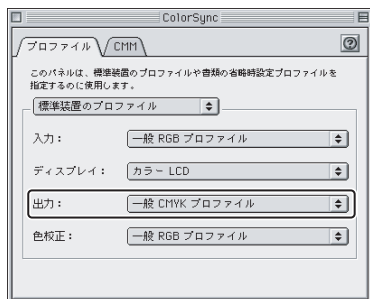
確認が終了したら、【キャンセル】ボタンをクリックして【画面のプロパティ】ダイアログを閉じます。

## ● 画像を印刷するときに使用するプロファイルの設定を確認する

### Mac OS 9 の場合

- 1 [アップル] メニューから [コントロールパネルー ColorSync] を選択する。
- 2 [プロファイル] タブを選択し、[標準装置のプロファイル] の内容から [出力] の設定を確認する。

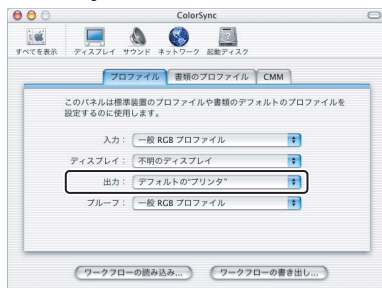
#### [ColorSync] ダイアログ [プロファイル] タブ (Mac OS 9)



### Mac OS X (10.1) の場合

- 1 [アップル]メニューから[システム環境設定]を選択し、[ColorSync]を選択する。
- 2 [プロファイル] タブを選択し、[出力] の設定を確認する。

#### [ColorSync] ダイアログ [プロファイル] タブ (Mac OS X (10.1))

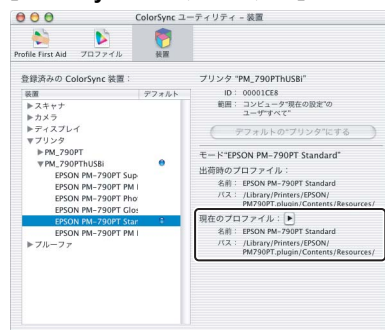


## Mac OS X (10.2) の場合

- 1 起動ディスクの [アプリケーションユーティリティ] フォルダを開き、[ColorSync ユーティリティ] をダブルクリックする。
- 2 [装置] を選択し、装置から [プリンタ] を選択して [現在のプロファイル] の設定を確認する。

複数のプリンタを接続している場合は、[プリンタ] の下に表示されるプリンタ名から使用するプリンタを選択して設定を確認してください。

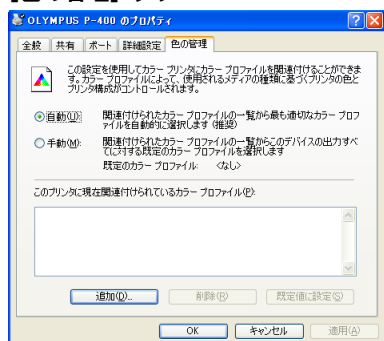
### [ColorSync ユーティリティ] ダイアログ [装置] (Mac OS X (10.2))



## Windows

- 1 タスクバーの [スタート] メニューから [設定-コントロールパネル-プリンタ] を選択し、プリンタを一覧表示する。
- 2 使用しているプリンタを選択して右クリックし、[プロパティ] を選択する。  
ご使用のプリンタのプロパティ設定ダイアログが表示されます。
- 3 プリンタのプロパティ設定ダイアログで[色の管理]タブを選択する。  
表示されるダイアログの名称はご使用のモニタによって異なります。

### [色の管理] タブ



## 4 カラープロファイルの設定を確認する。

確認が終了したら、[キャンセル] ボタンをクリックしてプリンタのプロパティ設定ダイアログを閉じます。



注意

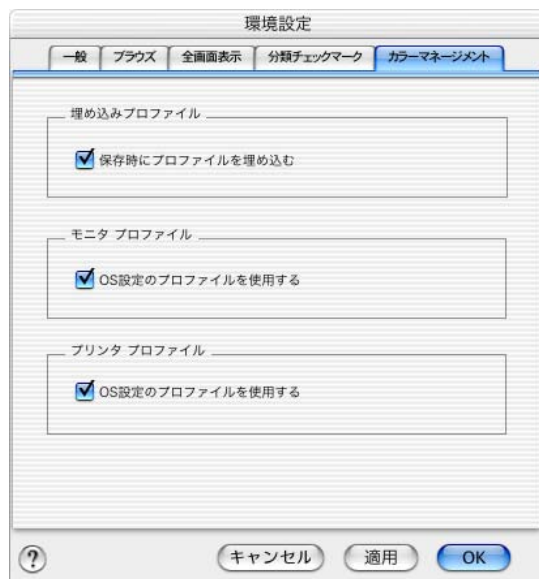
- モニタに表示する色と印刷する色の確認方法は、ご使用の OS のバージョンによって異なる場合があります。
- モニタプロファイル、プリンタプロファイルの指定方法については、ご使用のモニタ、プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。
- Windows でマルチモニタの設定を有効にして使用する場合は、主に画像を表示するモニタに合ったプロファイルを指定してください。



# 【カラーマネージメント】タブの設定

- 1 【環境設定】ダイアログで【カラーマネージメント】タブを選択する。  
【カラーマネージメント】タブが表示されます。

## 【環境設定】ダイアログ 【カラーマネージメント】タブ



項目名	内容
埋め込みプロファイル	〔保存時にプロファイルを埋め込む〕にチェックマークを付けると、画像を保存するときにプロファイルを埋め込みます。
モニタプロファイル	〔OS 設定のプロファイルを使用する〕にチェックマークを付けると、OS で設定されているモニタプロファイルを使用して画像をモニタで表示します。
プリンタプロファイル	〔OS 設定のプロファイルを使用する〕にチェックマークを付けると、OS で設定されているプリンタプロファイルを使用して画像を印刷します。

## 2 各項目を設定する。

### 埋め込みプロファイルを設定するには

画像を保存するときにプロファイルを画像に埋め込む場合は、[保存時にプロファイルを埋め込む] にチェックマークを付けます。埋め込むプロファイルは、保存形式の種類ごとに自動的に判定されます。プロファイルを埋め込まないようにしたい場合は、チェックマークを外します。

### モニタプロファイルを設定するには

OS で設定されているモニタプロファイルを使用してモニタに表示する場合は、[OS 設定のプロファイルを使用する] にチェックマークを付けます。

### プリンタプロファイルを設定するには

OS で設定されているプリンタプロファイルを使用して印刷する場合は、[OS 設定のプロファイルを使用する] にチェックマークを付けます。



- カメラで撮影した画像は、カメラの撮影メニューの [カラー設定] で選択したカラースペースが適用されます。OLYMPUS Studio で現像処理して保存した RAW データは、[RAW 現像設定] パレットの [カラー設定] で選択したカラースペースが適用されます。

### ブラウズウィンドウ

#### ●【ファイル】メニュー

フォルダの新規作成	フォルダツリーで選択しているドライブまたはフォルダの中に、新しいフォルダを作成します。
選択ファイルを新規サブフォルダに移動	選択した画像ファイルが保存されているフォルダに新しいサブフォルダを作成し、選択している画像ファイルをこのフォルダに移動します。
名前の変更	サムネイル表示エリアで選択しているファイルおよびフォルダの名前を変更します。
名前の一括変更	サムネイル表示エリアで選択している複数の画像ファイルの名前を一括変換します。
削除	サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルを削除します。
検索	指定した条件で画像ファイルを検索し、検索結果をサムネイル表示エリアに表示します。
プロパティ	プロパティ領域の表示／非表示を切り替えます。
印刷	ブラウズウィンドウで選択している画像を印刷します。印刷の種類はフォト印刷、インデックス印刷、コンタクトシート印刷から選択できます。
終了	ブラウズウィンドウを閉じます。 (Mac OS X では表示されません。)

## ●【編集】メニュー

画像編集ウィンドウを開く	画像編集ウィンドウを開きます。サムネイル表示エリアで画像を選択しているときは、選択している画像が画像表示ウィンドウに表示されます。
登録アプリケーションを起動	サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルを、登録アプリケーションを起動して開きます。あらかじめ[環境設定]でアプリケーションの登録が必要です。
RAW 現像	露出補正やカラー設定など、RAW データの現像処理を設定できます。
バッチ処理	サムネイル表示エリアで選択した複数の画像ファイルに、設定した画像処理を一括で適用します。
切り取り	サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルを切り取ります。
コピー	サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルをコピーします。
画像コピー	サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルの内容をクリップボードにコピーします。
貼り付け	[コピー] または [切り取り] を行った画像ファイルを、指定したドライブまたはフォルダに貼り付けます。
画像の回転	選択している画像の表示を回転します。回転角度は [右 90 度]、[左 90 度]、[180 度] から選択できます。
すべて選択	サムネイル表示エリアで表示しているすべての画像を選択します。

## ●【表示】メニュー

ブラウズモード	フォルダツリーで選択しているフォルダ内の画像ファイルをサムネイル表示エリアに一覧表示します。
ビューモード	サムネイル表示エリアで選択している画像を拡大して単画像表示エリアに表示します。複数の画像を選択している場合は、最後に選択した画像を表示します。
ライトボックスモード	サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルを画像比較エリアに表示します。
全画面表示／ スライドショー	サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルを画面全体に表示します。スライドショーを表示することもできます。
ツールバーを表示／ 隠す	ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
ショートカット領域を 表示／隠す	ショートカット領域の表示／非表示を切り替えます。
コレクション領域を 表示／隠す	コレクション領域の表示／非表示を切り替えます。
前の画像	サムネイル表示エリアで選択している1つ前の画像ファイルをコピー表示します。
次の画像	サムネイル表示エリアで選択している1つ次の画像ファイルを表示します。
サムネイル表示サイズ	サムネイル表示エリアに表示されるサムネイルの表示サイズを設定します。
サムネイル一覧の表示 項目	サムネイル枠に表示される項目の表示／非表示を切り替えます。
並べ替え	サムネイルの表示順序を指定して並び替えます。
表示倍率	単画像表示エリアおよび画像比較エリアで選択している画像ファイルの表示倍率を変更します。
通常モード	カーソルが矢印カーソルに切り替わります。
ズームインモード	カーソルが虫眼鏡カーソル（+）に切り替わります。単画像表示エリアおよび画像比較エリアに表示されている画像をクリックすると拡大表示します。
ズームアウトモード	カーソルが虫眼鏡カーソル（-）に切り替わります。単画像表示エリアおよび画像比較エリアに表示されている画像をクリックすると縮小表示します。
スクロールモード	カーソルが手のひらツールに切り替わります。単画像表示エリアおよび画像比較エリアに表示されている画像をドラッグするとスクロールします。

分類チェックマーク 絞り込み表示	[絞り込みパレット] の表示／非表示を切り替えます。サムネイル表示エリアに表示される画像ファイルをチェックマークの分類別に切り替えることができます。
最新の情報に更新	フォルダの再読み込みを行い、サムネイル表示エリアの表示を更新します。

## ●【ツール】メニュー

カメラコントロール ウィンドウを開く	カメラコントロールウィンドウを開きます。
画像の取り込み	カメラまたはメディア内の画像をパソコンに取り込みます。
フォーマット変換	サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルを、異なるファイルフォーマットに変換して保存します。
E-mail 送信	ブラウズウィンドウで選択している画像のサイズ変更やフォーマット変換を行い、送信メールに添付します。
ツールバーの カスタマイズ	ツールバーに表示するボタンの種類を設定します。ボタンの追加／削除や、アイコンの大きさを指定することができます。ボタンの並び順も変更することができます。
環境設定	OLYMPUS Studio の全般的な環境設定を行います。

## ●【ヘルプ】メニュー

OLYMPUS Studio ヘルプ	ヘルプで表示させたいトピックの検索を行います。
ソフトウェアの アップデート	ソフトウェアのアップデートを行います。
ファームウェアの アップデート	ファームウェアのアップデートを行います。
オンラインユーザ登録	オンラインユーザ登録を行います。
バージョン情報	OLYMPUS Studio のバージョン情報を表示します。

## 画像編集ウィンドウ

### ●【ファイル】メニュー

開く	画像ファイルを指定して開きます。
閉じる	選択している画像ファイルを閉じます。
初期状態に復帰	編集した画像ファイルを最後に保存した状態に戻します。
上書き保存	選択している画像ファイルを上書き保存します。
名前を付けて保存	選択している画像ファイルを別名で別ファイルとして保存します。
すべて保存	開いている全ての画像ファイルを、一度に名前を付けて保存します。
IPTC 情報の編集	選択している画像ファイルに記録されている IPTC 情報を編集します。
(最近開いたファイル)	画像編集ウィンドウで最近開いたファイルの一覧から選択して開くことができます。
画像編集ウィンドウの終了 (Macintosh)	画像編集ウィンドウを閉じます。
終了 (Windows)	画像編集ウィンドウを閉じます。



## ●【編集】メニュー

元に戻す	編集した画像を1つ前の処理の状態に戻します。
やり直し	〔元に戻す〕で戻した操作をやり直します。
切り取り	矩形選択モードで選択している画像範囲を切り取ります。
コピー	矩形選択モードで選択している画像範囲をコピーします。
貼り付け	〔コピー〕または〔切り取り〕を行った画像範囲を、選択している画像の上に貼り付けます。
すべて選択	画像編集ウィンドウで選択している画像の領域全体を選択します。
選択解除	選択した範囲を解除します。

## ●【表示】メニュー

ツールバーを表示／ 隠す	ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
ナビゲータを表示／ 隠す	ナビゲータウィンドウの表示／非表示を切り替えます。
情報を表示／隠す	情報ウィンドウの表示／非表示を切り替えます。
プロパティを表示／ 隠す	プロパティウィンドウの表示／非表示を切り替えます。
現在の画像の表示倍率	選択している画像表示ウィンドウの表示倍率を変更します。
全ての画像の表示倍率	開いている全ての画像表示ウィンドウの表示倍率を変更します。
矩形選択モード	カーソルが十字カーソルに切り替わります。画像上を斜めにドラッグすると、四角形で囲まれた部分が選択範囲として点線で表示されます。
ズームインモード	カーソルが虫眼鏡カーソル（+）に切り替わります。画像をクリックすると拡大表示します。
ズームアウトモード	カーソルが虫眼鏡カーソル（-）に切り替わります。画像をクリックすると縮小表示します。
スクロールモード	カーソルが手のひらツールに切り替わります。画像をドラッグするとスクロールします。

## ●【画像】メニュー

画像処理バー	画像処理バーの表示／非表示を切り替えます。
全てのパレットを隠す	【画像】メニュー以下の全てのパレットに対して表示／非表示を切り替えます。
RAW 現像設定	露出補正やカラー設定など、RAW データの現像処理を設定できます。
サイズ変更	画像を保存するときの画像サイズをピクセル単位で指定できます。画像ファイルは保存時に指定のサイズに変更されます。
歪み補正	自動または手動で画像の歪みを補正します。
シェーディング補正	自動または手動で画像のシェーディング補正（周辺光量調整）を行います。
ノイズリダクション	自動または手動で画像のノイズの軽減を行います。
フィルタ	カラーフィルタやモノクロ、セピアなどの特殊効果を指定します。
回転・反転	選択している画像の表示を回転または反転します。
トーンカーブ	選択している画像の色調の補正を行います。
明るさ・コントラスト	選択している画像の明るさやコントラスト（明暗の差）を調整します。
ガンマ補正	選択している画像のガンマ補正（中間色の補正）を行います。
カラーバランス	選択している画像の赤・緑・青の3色のバランスを調整します。
シャープネス	選択している画像の鮮鋭度を調整します。
色相・彩度・明度	選択している画像の濃淡と色味、鮮やかさ、明るさを調整します。
テキスト挿入	選択している画像にテキストを入力します。
トリミング	画像保存時にトリミングを行うサイズと範囲を指定します。画像上にトリミング枠が表示されます。
赤目補正モード	赤目補正モードに切り替えます。適用範囲を点または矩形で指定できます。

## ● [ツール] メニュー

バッチ処理	指定した複数の画像ファイルに、設定した画像処理を一括で適用できます。
画像処理ファイルの読み込み	画像処理ファイルを指定して、画像処理の設定内容を選択している画像に適用されます。
画像処理ファイルに保存	設定した画像処理パレットの内容をファイルに保存します。画像処理パレットの [適用する] にチェックが付いている設定のみ保存できます。
登録アプリケーションを起動	選択している画像を、登録アプリケーションを起動して開きます。あらかじめ [環境設定] でアプリケーションの登録が必要です。
ツールバーのカスタマイズ	ツールバーに表示するボタンの種類を設定します。ボタンの追加／削除や、アイコンの大きさを指定することができます。ボタンの並び順も変更することができます。
環境設定	OLYMPUS Studio の全般的な環境設定を行います。

## ●[ウィンドウ] メニュー

重ねて表示	画像編集ウィンドウで開いている画像表示ウィンドウを重ねて表示します。
並べて表示	画像編集ウィンドウで開いている画像表示ウィンドウを並べて表示します。
縦に並べて表示	画像編集ウィンドウで開いている画像表示ウィンドウを縦に並べて表示します。
横に並べて表示	画像編集ウィンドウで開いている画像表示ウィンドウを横に並べて表示します。
すべて閉じる	画像編集ウィンドウで開いている画像表示ウィンドウをすべて閉じます。
(現在開いている子ウィンドウ)	画像編集ウィンドウで開いているファイル名を表示します。ファイルをメニューから選択できます。

## ●[ヘルプ] メニュー

OLYMPUS Studio ヘルプ	ヘルプで表示させたいトピックの検索を行います。
ソフトウェアの アップデート	ソフトウェアのアップデートを行います。
ファームウェアの アップデート	ファームウェアのアップデートを行います。
オンラインユーザ登録	オンラインユーザ登録を行います。
バージョン情報	OLYMPUS Studio のバージョン情報を表示します。

## カメラコントロールウィンドウ

### ●【ファイル】メニュー

ブラウザウィンドウを開く	ブラウザウィンドウを開きます。
削除	サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルを削除します。
カメラコントロールウィンドウの終了 (Macintosh)	カメラコントロールウィンドウを閉じます。
終了 (Windows)	カメラコントロールウィンドウを閉じます。

### ●【編集】メニュー

切り取り	サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルを切り取ります。
コピー	サムネイル表示エリアで選択している画像ファイルをコピーします。
貼り付け	〔コピー〕または〔切り取り〕を行った画像ファイルを、指定したドライブまたはフォルダに貼り付けます。
画像の回転	サムネイル表示エリアで選択している画像の表示を回転します。回転角度は〔右 90 度〕、〔左 90 度〕、〔180 度〕から選択できます。

## ●【表示】メニュー

カメラ設定領域を表示／隠す	カメラ設定領域の表示／非表示を切り替えます。
サムネイル一覧を表示／隠す	サムネイル表示エリアの表示／非表示を切り替えます。
サムネイル一覧の表示項目	サムネイル枠に表示される項目の表示／非表示を切り替えます。
並べ替え	サムネイルの表示順序を指定して並び替えます。
グリッド	グリッドの表示／非表示を切り替えます。
グリッドの色	グリッドの表示色を指定します。
プレビュー表示倍率	プレビュー画像の表示倍率を変更します。
プレビュー表示回転	プレビュー画像の表示を回転します。回転角度は「右 90 度」、「左 90 度」、「180 度」から選択できます。
ズームインモード	カーソルが虫眼鏡カーソル（+）に切り替わります。プレビュー画像をクリックすると拡大表示します。
ズームアウトモード	カーソルが虫眼鏡カーソル（-）に切り替わります。プレビュー画像をクリックすると縮小表示します。
スクロールモード	カーソルが手のひらツールに切り替わります。プレビュー画像をドラッグするとスクロールします。
最新の情報に更新	参照しているフォルダの再読み込みを行い、サムネイル表示エリアの表示を更新します。

## ●【カメラ】メニュー

PC 撮影	カメラを PC マスターモードに切り替えます。パソコン上でカメラの設定変更や撮影ができます。
カメラ撮影	カメラをカメラマスターモードに切り替えます。パソコン上での設定変更や撮影は無効になります。
AF 撮影	撮影時に AF を取得して撮影します。撮影後は AF を保持します。
撮影	AF をロックしたまま撮影します。
インターバル撮影	一定の間隔をおいて、自動的に撮影を繰り返す設定を行います。撮影間隔や終了条件の指定、進行状況の確認ができます。
自動保存	撮影した画像をパソコンに取り込む方法を、自動または手動のどちらかに切り替えます。
保存	手動でプレビュー画像を保存します。画像はあらかじめ指定された保存先フォルダに保存されます。
保存先フォルダの変更	撮影した画像を保存するフォルダを変更します。
保存先フォルダを開く	指定されている保存先フォルダをブラウザウィンドウで開きます。
命名規則	撮影した画像に付けるファイル名を設定します。
撮影設定／カメラ設定	接続しているカメラの各種設定を変更します。設定した内容の保存や書き出しもできます。
その他の設定	接続されているカメラのカメラ ID・撮影日時の変更を行います。



## ● [ツール] メニュー

環境設定	OLYMPUS Studio の全般的な環境設定を行います。
------	--------------------------------

## ● [ヘルプ] メニュー

OLYMPUS Studio ヘルプ	ヘルプで表示させたいトピックの検索を行います。
ソフトウェアの アップデート	ソフトウェアのアップデートを行います。
ファームウェアの アップデート	ファームウェアのアップデートを行います。
オンラインユーザ登録	オンラインユーザ登録を行います。
バージョン情報	OLYMPUS Studio のバージョン情報を表示します。

# 用語解説

## \*.oef

ファイル形式が「OLYMPUS Studio 専用ファイル形式」のデータ。現像処理を行った RAW データを「\*.oef」形式で保存すると、画像処理結果のみが保存され RAW データはそのままの状態に残る。保存した「\*.oef」ファイルを開くと、オリジナルの RAW データに画像処理結果が反映されて表示される。「\*.oef」形式は、RAW データだけに設定可能。

## \*.osf

ファイル形式が「画像処理ファイル」のデータ。特定の画像に適用した画像処理の内容をファイルとして保存したときに設定されるファイル形式。他のファイルに既存の画像処理を適用する場合に使用する。

## Bitmap

ピクセルにアドレスを付けてデータ管理をする方式。Macintoshでは、ピクセルを組み合わせで表わした絵や文字も指す。Windows 環境で標準的に使用されるビットマップファイルフォーマット。

## DCF

Design rule for Camera File System の略。各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための画像フォーマット。

## Exif

Exchangeable Image File Format の略。JPEG 画像のデータ形式をベースとし、サムネイル画像や撮影情報などを埋め込んだ画像ファイル形式。

## IEEE1394 (FireWire)

パソコンと外部の機器を接続するための規格の一つ。この規格に準拠した IEEE1394 (FireWire) ケーブルは、デジタルカメラやデジタルビデオカメラなどの機器を接続する際に使用する。転送速度が400Mbpsと高速であるため、大きなデータを早く転送することができる。一定時間ごとのデータ転送を保証する機能 (Isochronous 転送) がサポートされている。

## JPEG

画像を圧縮して保存するファイル形式の一つ。画像の一部の情報を省略することによって、ファイルサイズを小さく圧縮して記録。圧縮することにより画質がやや劣化するが、同じ記録容量に対してより多くの枚数の画像を保存することができる。

## PICT

画像データの保存形式の一つ。Macintosh 標準のグラフィックフォーマット。ビットマップとドローオブジェクトの両方をもつことができる。24bit カラーや256階調の白黒にも対応している。

## PNG

Portable Network Graphics の略。画像データによっては JPEG だと劣化しやすく、GIF 形式は特許問題があることから、このファイル形式が注目されている。圧縮率もきわめて高い。

## RAW データ

オリンパス製カメラで画質モードを [RAW] に設定して撮影すると、RAW データとして画像が保存される。RAW データはカメラ内で現像処理せず、撮影素子 (CCD) データをそのまま保存したもの。OLYMPUS Studio の画像編集機能を使って現像処理を行うことができる。「OLYMPUS RAW File 形式」のデータの拡張子は「\*.orf」として、現像処理の設定変更を保持した状態で保存される。保存した RAW データを開くと、ヘッダ部の設定が適用された状態で画像が表示される。他のアプリケーションで RAW データを使用する場合は、ファイル形式を JPEG 形式などに変換する必要がある。

## TIFF

画像を保存するファイル形式の一つ。画像を圧縮せずに保存するため、ファイルサイズは大きくなるが、画質の劣化は少ない状態。大きなサイズに引きのばして印刷する画像の保存に適している。

## USB

Universal Serial Bus の略で、パソコンと外部の機器を接続するための規格の一つ。この規格に準拠した USB ケーブルは、デジタルカメラやプリンタなどの機器を接続する際に使用する。電源を入れた状態のままで機器の取り外しが可能で、一度に多数の機器を接続することができる。転送速度が 12Mbps の USB と、480Mbps の USB2.0 の 2 種類がある。

## カラースペース

表現可能な色再現域を定義したもの。プリンタ、モニタなどの入出力機器は、機器ごとに色再現域が異なるので、入力から出力までのカラー環境を整備するには、カラースペースにより各デバイスでの異なる色再現域を管理する必要がある。

## バッチ処理

あらかじめ設定しておいた一連の処理をまとめて実行すること。OLYMPUS Studio の場合は、画像に対する編集作業を複数のファイルやフォルダ単位で一括して行う。

## プロファイル

カラー属性ファイル。入力と出力デバイスの色再現域特性を定義したファイル。カラーマネージメントシステムはプロファイルを使って、画像の入出力時にデバイス間での色の違いを補正してデータ変換を行う。

# 索引

## 英数／記号

*.oef	286
*.osf	286
1 枚の画像を印刷する回数	121
35mm 換算	209
AE BKT	232
AF イルミネータ	234
AF 撮影	205, 284
AF フレーム選択	230
Bitmap	286
Bitmap (*.bmp)	196, 199
BKT モード	232
BKT モードダイアログ	232
ColorSync ダイアログ	263
プロファイルタブ	263, 264
ColorSync ユーティリティ ダイアログ	264, 267
DCF	286
DCIM フォルダ	37
E-mail 送信	49, 275
E-mail 送信ダイアログ	134
Exif	286
Exif-JPEG (*.jpg)	196, 199
Exif-TIFF [8bit/ch] (*.tif)	196, 199
Exif 画像の回転	256
IEEE1394 (FireWire)	286
IPTC 情報	185
IPTC 情報の編集	185, 276
IPTC 情報の編集ダイアログ	185
一般タブ	188
カテゴリタブ	190
キーワードタブ	189
作成元タブ	191
IPTC 情報ファイル	187
ISO 感度	225
ISO 感度拡張	234
JPEG	286
JPEG (*.jpg)	196, 199
JPEG に変換	134
OLYMPUS Studio 専用形式 (*.oef)	196, 199
OLYMPUS Studio ヘルプ	275, 281, 285
PC 撮影	205, 284

PICT	196, 199, 286
PC マスターモード	210
PNG	287
RAW Data (*.orf)	196, 199
RAW Data (*.orf) 形式	155
RAW アイコン	51
RAW 現像	48, 272
RAW 現像設定	152, 279
RAW 現像設定パレット	161
RAW 現像ダイアログ	88
RAW データ	155, 287
RAW 展開エンジン	90, 157
RAW 同時保存	233
RGB 値	149
SQ 設定	223, 235
SQ 設定ダイアログボックス	235
TIFF	287
TIFF [16bit/ch] (*.tif)	196, 199
TIFF [8bit/ch] (*.tif)	196, 199
USB	287
WB BKT	232
WB 補正	234
WB 補正ダイアログ	234
WB モード	229

## あ行

アイコンのオプション	49
青	168
赤	168
赤目補正モード	140, 176, 279
明るさ	166
明るさ・コントラスト	152, 279
明るさ・コントラストパレット	166
明るさ・コントラストボタン	166
新しい名前	96, 101
新しい日時	87
新しいフォルダ	214, 217
圧縮率	91, 108, 134, 196, 199
アプリケーションの事前登録	193
位置	174
一度に追加	75
一度に追加チェックボックス	79
移動先のフォルダ	95
色	122

印刷	48, 117, 271
印刷位置	128
印刷サイズ指定	120
印刷ダイアログ	116
インデックスタブ	124
コンタクトシートタブ	128
フォトタブ	120
インターネットダイアログ	131
電子メールタブ画面	131
メールタブ画面	132
インターネットのプロパティ	
ダイアログ	133
プログラムタブ画面	133
インターバル撮影	205, 284
インターバル撮影ダイアログ	242
ウィンドウメニュー	281
埋め込みプロファイル	269
上書き保存	276
オンラインユーザ登録	
	248, 281, 285

## か行

開始	35
開始番号	100
回転	44, 56, 164
回転・反転	152, 164, 279
回転・反転パレット	164
回転ボタン	51, 60
回転ボタンの方向	256
影を付ける	121, 122
重ねて表示	281
画質モード	231
カスタマイズ	261
カスタムメニュー	223, 234
画像コピー	272
画像サイズ	235
画像情報	84
画像処理	182
画像処理バー	
	139, 140, 151, 153, 279
画像処理パレット	151
画像処理ファイル	177
画像処理ファイルに保存	177, 280
画像処理ファイルの読み込み	
	179, 280
画像の回転	272, 282
画像の取り込み	49, 275

画像の端との間隔	172
画像の保存場所	210
画像比較エリア	46, 75
画像表示ウィンドウ	138
画像編集ウィンドウの終了	276
画像編集ウィンドウを開く	48, 272
画像枚数、ファイルサイズ表示	35
画像メニュー	279
画鋏	75
画鋏ボタン	81
カメラ	34
カメラ ID	206, 245
カメラコントロールウィンドウ	
	23, 204, 282
カメラコントロールウィンドウの	
終了	201, 282
カメラコントロールウィンドウを	
開く	48, 275
カメラコントロールモード	30, 201
カメラ撮影	205, 284
カメラ撮影ボタン	217
カメラ接続時	31
カメラ接続時および DCF メディア	
挿入時	32
カメラ設定領域を表示／隠す	283
カメラ番号	218
カメラマスターモード	210
カメラメニュー	284
画面にフィット	
	45, 56, 75, 140, 145, 208
画面のプロパティダイアログ	265
設定タブ	265
色の管理タブ	265
カラースペース	287
カラー設定	90, 157, 233
カラーバランス	152, 279
カラーバランスパレット	168
カラーバランスボタン	168
カラーフィルタ	162
カラーマネージメント	263
環境設定	49, 141, 275, 280, 285
環境設定ダイアログ	30, 251
カラーマネージメントタブ	269
一般タブ	253
全画面表示タブ	257
ブラウズタブ	255
分類チェックマークタブ	260

ガンマ補正	152, 279
ガンマ補正パレット	167
記憶先	230
記憶色強調	233
機材情報	84
既定のモニタプロファイル	265
起動時のフォルダ	255
輝度を保持する	168
基本設定項目	204, 224, 228
切り取り	277, 282
矩形選択モード	140, 278
グリッド	206, 283
グリッドの色	206, 283
グリッドの表示	207
グレー点指定	230
桁数	100, 220
現在の画像の表示倍率	146, 278
現在の名前	96, 100
現在の日時	87
現在開いている子ウィンドウ	281
検索	271
検索開始	111
検索条件	111
検索ダイアログ	111
検索場所	111
高画質	199
合計コマ数	232
降順	54
コピー	272, 277, 282
コマ数	231
コメント	86, 91
コメントの編集ダイアログ	86
コレクションアイコン	51
コレクション選定ダイアログ	72
コレクションビューモード	71
コレクションボタン	45
コレクション領域	43, 46, 68
コレクション領域非表示	69
コレクション領域を表示	48, 67
コレクション領域を表示／隠す	273
コレクション領域を表示アイコン	67
コントラスト	90, 156, 166, 222, 233

## さ行

最近開いたファイル	276
最後の画像	57
最初の画像	57
最新の情報に更新	274, 283
サイズ	122, 174
サイズ設定	158
サイズ変更	134, 152, 158, 279
サイズ変更パレット	158
彩度	89, 156, 170, 233
彩度強調	233
彩度ダイアログ	233
再読み込み	35, 43, 44, 47
削除	271, 282
撮影	205, 284
撮影開始	243
撮影間隔	243
撮影情報	51, 84
撮影設定	222, 229
撮影設定／カメラ設定	205, 284
撮影設定／カメラ設定ダイアログ	
- 基本設定項目	224
撮影設定／カメラ設定ダイアログ	
- 詳細設定項目	227
撮影日時	51, 219
撮影日時設定ボックス	220
撮影日時の修正ダイアログ	87
撮影日	219
撮影日印刷	121, 122
撮影日で自動フォルダ作成	35
撮影メニュー	222, 233
撮影モード	225
座標情報	149
サムネイル一覧の表示項目	273, 283
サムネイル一覧を表示／隠す	283
サムネイル表示エリア	35, 43, 44, 46, 206
サムネイル表示サイズ	54, 273
サンプル	122
シェーディング補正	152, 234, 279
シェーディング補正パレット	160
色相	170
色相・彩度・明度	152, 170, 279
色相・彩度・明度パレット	170
実サイズで表示	45, 56, 75, 140, 145

指定したサイズに縮小 ..... 134  
 自動 ..... 159, 160, 161  
 自動回転 ..... 121  
 自動回転表示 ..... 257  
 自動起動 ..... 31, 253  
 自動保存 ..... 206, 284  
 絞り込みパレット ..... 43, 64  
 絞り値 ..... 209, 225  
 絞り優先 ..... 225  
 シャープネス  
     ..... 90, 152, 157, 233, 279  
 シャープネスパレット ..... 169  
 シャッター速度 ..... 209, 225  
 シャッター優先 ..... 225  
 周囲に余白を残して表示する ..... 257  
 縦横比固定 ..... 120  
 終了 ..... 271, 276, 282  
 終了条件 ..... 243  
 手動 ..... 159  
 詳細設定項目 ..... 204, 228, 235  
 昇順 ..... 54  
 使用する電子メールアプリケーション  
     ..... 132  
 使用するメールアプリケーション  
     ..... 134  
 焦点距離 ..... 209  
 情報 ..... 138  
 情報ウィンドウ ..... 149  
 情報を隠す ..... 149  
 情報を表示 ..... 149  
 情報を表示／隠す ..... 278  
 ショートカット ..... 109  
 ショートカット参照 ..... 35, 221  
 ショートカット領域 ..... 43  
 ショートカット領域を表示 ..... 109  
 ショートカット領域を表示／隠す  
     ..... 273  
 初期状態に復帰 ..... 276  
 書式 ..... 124, 129  
 進行状況 ..... 243  
 ズームアウトモード  
     ..... 45, 56, 75, 140, 145, 208,  
     273, 278, 283  
 ズームインモード  
     ..... 45, 56, 75, 140, 145, 208,  
     273, 278, 283  
 スキップ ..... 38, 41

スクロールモード... 45, 56, 75, 140,  
 145, 208, 273, 278, 283  
 スタイル ..... 122  
 ステータスボックス... 43, 44, 47, 57  
 ストレージモード ..... 30  
 すべて選択 ..... 272, 277  
 すべて閉じる ..... 281  
 全てに適用 ..... 38, 41  
 全ての画像の表示倍率 ..... 278  
 全てのパレットを隠す ..... 279  
 すべて保存 ..... 198, 276  
 すべて保存ダイアログ ..... 198  
 スライダー ..... 167, 169  
 スライドショー ..... 57, 258  
 スリープ時間 ..... 235  
 接続カメラ ..... 204, 218, 240  
 設定 - コントロールパネル  
     - インターネットオプション  
     - プログラム ..... 129  
 設定名 ..... 205, 228  
 設定する WB モード ..... 234  
 設定名のプルダウンリスト ..... 241  
 設定用ファイル名 ..... 241  
 セットアップメニュー ..... 223, 235  
 セピア ..... 163  
 全画面表示／スライドショー  
     ..... 55, 273  
 選択解除 ..... 277  
 選択で追加 ..... 75  
 選択で追加チェックボックス ..... 79  
 選択ファイルを新規サブフォルダに  
     移動 ..... 271  
 選定方法 ..... 72  
 挿入位置 ..... 172  
 挿入文字列 ..... 172  
 測光モード ..... 225  
 その他の設定 ..... 284  
 その他の設定ダイアログ ..... 245  
 ソフトウェアの  
     アップデート ..... 281, 285

## た行

縦に並べて表示	147, 281
単位	120
単画像表示エリア	44
チャンネル	165
中止	243
通常モード	273
ツールバー	43, 138, 140
ツールバーのカスタマイズ	49, 275, 280
ツールバーの変更	49
ツールバーを表示／隠す	273, 278
ツールパレット全体表示	57
ツールパレットを隠す	57
ツールメニュー	275, 280
次の画像	45, 57, 273
次の画像を追加	76
次の画像を追加ボタン	80
低画質	199
低振動モード	234
データファイルの削除	261
テキスト挿入	152, 279
テキスト挿入パレット	171
適用する	153
デフォルト設定	241
デフォルトメールソフト	132
電子メール	131
登録アプリケーションの選択	254
登録アプリケーションを起動	48, 93, 141, 193, 272, 280
トーンカーブ	152, 165, 279
トーンカーブパレット	165
閉じる	276
ドライブ	222
ドライブダイアログ	231
ドライブモード	231
取り込み後に自動削除	35
取り込みダイアログ	34
取り込み元	36
トリミング	152, 279
トリミング位置	175
トリミング部分を非表示	174
トリミングボタン	174
トリミングパレット	174

## な行

ナビゲータ	138
ナビゲータウィンドウ	148
ナビゲータを隠す	148
ナビゲータを表示	148
ナビゲータを表示／隠す	278
名前の一括変更	48, 271
名前の一括変更ダイアログ	100
名前の変更	271
名前の変更ダイアログ	96
名前を付けて保存	276
名前を付けて保存ダイアログ	178, 195
並べ替え	273, 283
並べて表示	147, 281
日時設定	246
任意文字列	219
ノイズフィルタ	90, 157, 233
ノイズリダクション	152, 209, 233, 280
ノイズリダクションパレット	161

## は行

バージョン情報	275, 281, 285
ハードウェアの取り外し	201
バッチ処理	181, 272, 280, 287
バッチ処理ダイアログ	181
バッチ処理の処理順序	184
バッチ対象	153
貼り付け	277, 282
反転	164
ピープ音	235
ヒストグラム	83, 209
左回転	140
左側／中央／右側 (画面上)	125
左側／中央／右側 (画面下)	125
ビューモード	20, 44, 48, 273
表示位置／フォルダ内の全画像数	45
表示回転	208
表示するファイルの種類	256
表示倍率	56, 273
表示メニュー	273, 278, 283
標準画質	199
表示レイアウト切り替え	76
開く	276
開くダイアログ	142



ファームウェアの	
アップデートダイアログ	247
ファイルの種類	196
ファイル名	91
ファイルメニュー	276, 282
ファイルを開くダイアログ	
	143, 180
フィルタ	152, 279
フィルタパレット	162
フォーマット	108, 199
フォーマット変換	49, 275
フォーマット変換ダイアログ	107
フォルダ	91
フォルダツリー	34, 43
フォルダの参照ダイアログ	
	213, 216
フォルダの新規作成	
	35, 43, 72, 94, 106, 271
フォント	121
フォントダイアログ	122
フォント名	122
付加情報	124, 128
部数	117
ブラウズウィンドウ	19, 271
ブラウズウィンドウを開く	282
ブラウズモード	19, 42
フラッシュ補正	222, 233
フラッシュモード	222, 229
プリンタの設定	116
プリンタの設定ダイアログ	119
プリンタのプロパティ設定ダイアログ	
	268
色の管理タブ	268
プリンタプロファイル	269
プリンタ名	119
プリントダイアログ	123
プレビュー画像	207
プレビュー情報領域	205, 209
プレビュー表示回転	283
プレビュー表示倍率	283
プレビュー領域	89, 116, 205, 207
プログラム	225
プロパティウィンドウ	150
Exifタブ	150
一般タブ	150
プロパティ領域	43, 45, 46, 83
Exifタブ	85
一般タブ	84
プロパティを隠す	150
プロパティを表示	150
プロパティを表示／隠す	278
プロファイル	287
分類チェックマーク	45, 51, 57
分類チェックマーク絞り込み表示	
	64, 48
ページ設定ダイアログ	118
ヘッダ・フッタ	124, 125
ヘッダ・フッタダイアログ	125
ヘルプメニュー	275, 281
変換実行	108
編集メニュー	272, 277, 282
ポインタツール	75
補正ステップ	234
保存	206, 284
保存後、登録アプリケーションで	
開く	92, 183, 196, 199
保存後、登録アプリケーションで	
開くチェックボックス	193
保存先	183, 206
保存先の指定ダイアログ	91
保存先のファイル名	107, 198
保存先のフォルダ	198, 107
保存先フォルダの変更	284
保存先フォルダを開く	284
ホワイトバランス	89, 156
<b>ま行</b>	
前の画像	45, 57, 273
マニュアル	225
マルチモニタ	258
右回転	140
緑	168
明度	170
命名規則	98, 206, 219, 284
命名規則ダイアログ	184, 220
命名規則ボタン	220
メディア	34
メニューバー	43, 138, 204
文字	172
元画像	182
元に戻す	277
モニタプロファイル	269
モノクロ	163

**や行**

やり直し .....	277
歪み補正 .....	152, 279
歪み補正パレット .....	159
歪み補正ボタン .....	159
用紙方向 .....	117
横に並べて表示 .....	147, 281
余白 .....	257
余白が出ないように領域を配置 .....	121
余白を均等にする .....	117, 129
読み込みボタン .....	192

**ら行**

ライトボックスモード .....	21, 46, 48, 77
リセット .....	165
領域全体に印刷 .....	121
領域のタイプ .....	117
レイアウト .....	120
レックビュー .....	235
リリース優先 S .....	235
レンズリセット .....	235
連動 .....	75
連番 .....	219
連番を付加 .....	38, 41
露出ステップ .....	234
露出補正 .....	89, 156, 209, 225

**わ行**

ワンタッチ WB .....	230
ワンタッチ WB ダイアログ .....	230

---

メモ

---

メモ

---

メモ

---

メモ

---

メモ







# お問い合わせ窓口

## 商品に関する技術的なお問い合わせ窓口

オリンパス株式会社 カスタマーサポートセンター  
〒 192-8507 東京都八王子市石川町 2951

フリーダイヤル



**0120-084215**

**携帯電話・PHS からは 0426-42-7499**

**FAX 0426-42-7486**

オリンパスホームページ <http://www.olympus.co.jp/>

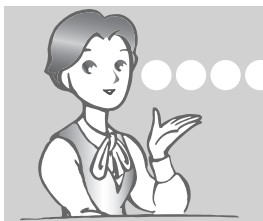
営業時間 平日 9:30 ～ 21:00

土・日・祝日 10:00 ～ 18:00

(年末年始、システムメンテナンス日を除く)

### お問い合わせいただく前に（お願い）

- より迅速、正確にお答えするために、お手数ですが次ページのサポート用カルテの内容をあらかじめご確認ください。
- FAXまたは郵便でお送りいただく場合は、所定の項目は必ずご記入ください。



サポート用カルテ

お名前	フリガナ -----
連絡先 ご住所	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社  〒  電話 FAX E-mail

お問い合わせ日：      年      月      日	お買い上げ日：      年      月      日
製品名（型番）：	
シリアル番号： （製品底面に記載されています）	
問題が発生したときの症状・表示されたメッセージ・症状の再現性など： （より正確・迅速にお答えするために、できるだけ詳しくお知らせください。）	
パソコンが関係する問題は、とくに正確な状況把握が難しいので、お手数ですができるだけ詳しくお知らせください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ご使用のパソコンの種類： （メーカー・型番等）</li><li>● メモリの容量：</li><li>● ハードディスクの空き容量：</li><li>● OS 名とバージョン：</li><li>● ご使用のパソコンのハードウェアドライバ： （Mac OS の場合）コントロールパネルや機能拡張の内容： （Windows の場合）コントロールパネル－システム－ハードウェア－デバイスマネージャーの内容：</li><li>● その他接続されている周辺機器名：</li><li>● 問題のご使用アプリケーションソフト名： バージョン：</li><li>● 問題のご使用弊社ソフト名：OLYMPUS Studio バージョン：</li></ul>	

※ FAX や郵便でのお問い合わせの際は、コピーしてご利用ください。

オリンパス株式会社

〒163-0914 東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

---

## ●ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS 対応の状況、Q&A などの各種情報を当社のホームページでご提供しております。

オリンパスホームページ (<http://www.olympus.co.jp/>) から「サポート」→「デジタルカメラ／プリンタ関連」へ進み、ご利用ください。

---

## ●電話等でのご相談窓口

カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル



**0120-084215**

携帯電話・PHSからは**0426-42-7499**

**FAX 0426-42-7486**

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

**営業時間 平日 9:30～21:00**

**土・日・祝日 10:00～18:00**

**(年末年始、システムメンテナンス日を除く)**

---

## ●修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先

**TEL 0266-26-0330 FAX 0266-26-2011**

〒394-0083 長野県岡谷市長地柴宮3-15-1

**オリンパス岡谷修理センター**

営業時間 9:00～17:00 (土・日・祝日及び弊社休日を除く)

---

## 国内サービスステーション (修理受付窓口)

東 京	〒101-0052	千代田区神田小川町1の3の1	小川町三井ビル (オリンパスプラザ内)	
				Tel.03 (3292) 3403
札 幌	〒060-0034	札幌市中央区北4条東1の2の3	札幌フコク生命ビル	Tel.011 (231) 2320
仙 台	〒981-3133	仙台市泉区泉中央1の13の4	泉エクセルビル	Tel.022 (218) 8421
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦2の19の25	日本生命広小路ビル	Tel.052 (201) 9571
大 阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場2の12の26	オリンパス大阪センター	Tel.06 (6252) 6991
広 島	〒730-0013	広島市中区八丁堀16の11	日本生命広島第2ビル	Tel.082 (228) 3821
福 岡	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通3の6の11	福岡フコク生命ビル	Tel.092 (761) 4466

※ 土・日曜、祝日および年末年始・夏期休暇は原則として休業させていただきます。オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。